

SUPER
FORMULA

JRP
Japan race promotion inc.

2018 SUPER FORMULA MEDIA GUIDE

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next
©日立オートモティブシステムズ

SONY
RX0

WINKI-ICHI
人気酒造

Broadcasting Partner

BSフジ J SPORTS

2018 SUPER FORMULA Media Guide

2018開催日程	3
エントリーリスト	4
賞典	5
メディア配信	6
車両規定抜粋	7
スポーティングレギュレーション抜粋	8
チーム&ドライバー紹介	9
サーキットガイド	32
2017 レースリザルト	35
1996-2017 ポイントランキング	37
歴代チャンピオン	48
SUPER FORMULA記録集	50
肖像権について	53

SUPER FORMULA Official Website メディア会員にご登録ください。

<http://superformula.net> ⇒ メディア

メディア会員専用ページでは、メディアの方向けの広報写真、予選速報、プレスリリース等のサービスを行っております。ご登録の上、ご活用ください。



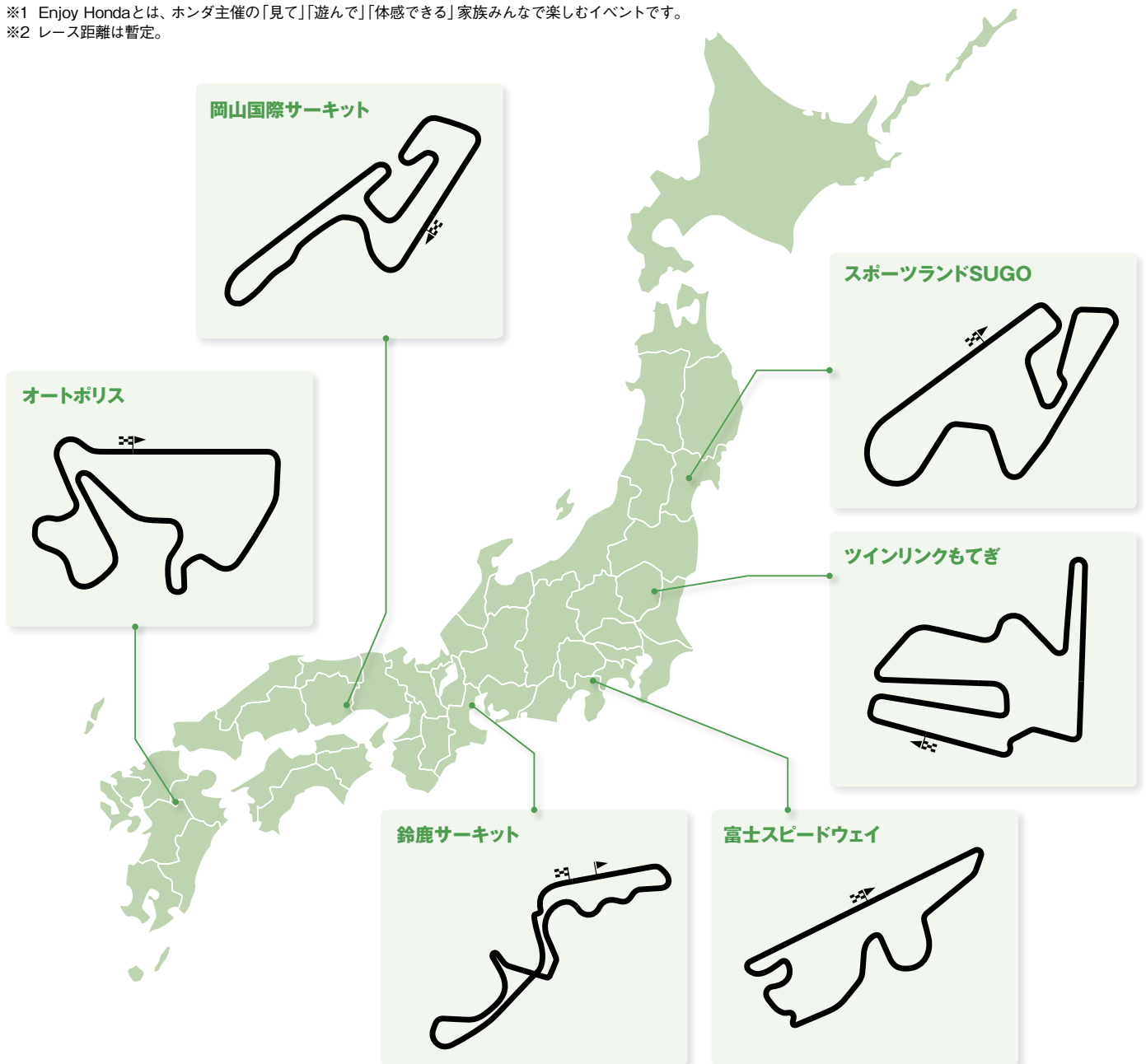
2018 SUPER FORMULA SCHEDULE

2018 SUPER FORMULA 開催日程

ラウンド	日程	開催地	予選方式	レース	チケット販売開始日	備考
第1戦	4/21 (土) ~22 (日)	鈴鹿サーキット 三重県	ノックアウト	300km	2/18 (日)	全日本フォーミュラ3選手権第1戦・第2戦併催 MFJ全日本ロードレース選手権 (JSB1000) 併催 Enjoy Honda併催※1
第2戦	5/12 (土) ~13 (日)	オートポリス 大分県	ノックアウト	250km	3/11 (日)	MFJ全日本ロードレース選手権 (JSB1000) 併催
第3戦	5/26 (土) ~27 (日)	スポーツランドSUGO 宮城県	ノックアウト	250km	3/24 (土)	全日本フォーミュラ3選手権第3戦・第4戦併催 Enjoy Honda併催※1
第4戦	7/ 7 (土) ~ 8 (日)	富士スピードウェイ 静岡県	ノックアウト	250km	5/10 (木)	全日本フォーミュラ3選手権第5戦・第6戦併催 Enjoy Honda併催※1
第5戦	8/18 (土) ~19 (日)	ツインリンクもてぎ 栃木県	ノックアウト	250km	6/23 (土)	全日本フォーミュラ3選手権第10戦・第11戦・第12戦併催 MFJ全日本ロードレース選手権 (JSB1000) 併催 Enjoy Honda併催※1
第6戦	9/ 8 (土) ~ 9 (日)	岡山国際サーキット 岡山県	ノックアウト	250km	8/8 (水) 予定	全日本フォーミュラ3選手権第13戦・第14戦併催 MFJ全日本ロードレース選手権 (JSB1000) 併催 Enjoy Honda併催※1
第7戦	10/27 (土) ~28 (日)	鈴鹿サーキット 三重県	ノックアウト	300km※2	9/2 (日)	FIA ワールド・ツーリングカーカップ (WTCR) 同日開催

※1 Enjoy Hondaとは、ホンダ主催の「見て」「遊んで」「体感できる」家族みんなで楽しむイベントです。

※2 レース距離は暫定。



2018 SUPER FORMULA ENTRY LIST

2018年エントリーリスト

No.	ドライバー	車名	チーム名(読み)	監督	エンジン
1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura 1981/4/23生 日本/東京都	JMS P.MU/ CERUMO・INGING SF14	JMS P.MU/CERUMO・INGING (ジェームス ビーエムユーセルモインギング)	立川 祐路	TOYOTA R14A
2	国本 雄資 Yuji Kunimoto 1990/9/12生 日本/神奈川県	JMS P.MU/ CERUMO・INGING SF14			
3	ニック・キャンディ Nick Cassidy 1994/8/19生 ニュージーランド	ORIENTALBIO KONDO SF14	KONDO RACING (コンドー レーシング)	近藤 真彦	TOYOTA R14A
4	山下 健太 Kenta Yamashita 1995/8/3生 日本/千葉県	ORIENTALBIO KONDO SF14			
5	野尻 智紀 Tomoki Nojiri 1989/9/15生 日本/茨城県	DOCOMO DANDELION M5S SF14	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモチームダンディライアンレーシング)	村岡 潔	HONDA HR-414E
6	松下 信治 Nobuharu Matsushita 1993/10/13生 日本/埼玉県	DOCOMO DANDELION M6Y SF14			
7	ピエトロ・フィッティパルディ Pietro Fittipaldi 1996/6/25生 ブラジル	UOMO SUNOCO SF14	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS (ウオモ スノコ チーム ルマン)	片岡 龍也	TOYOTA R14A
8	大嶋 和也 Kazuya Oshima 1987/4/30生 日本/群馬県	UOMO SUNOCO SF14			
15	福住仁嶺 Nirei Fukuzumi 1997/1/24生 日本/徳島県	TEAM MUGEN SF14	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-417E
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto 1988/7/11生 日本/栃木県				
17	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi 1986/11/20生 日本/栃木県	REAL SF14	REAL RACING (リアル レーシング)	金石 勝智	HONDA HR-417E
18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi 1986/9/13生 日本/兵庫県	KCMG Elyse SF14	carrozeria Team KCMG (カロッツェリア チーム ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA R14A
19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi 1987/12/29生 日本/東京都	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウエネクス チーム インパル)	星野 一義	TOYOTA R14A
20	平川 亮 Ryo Hirakawa 1994/3/7生 日本/広島県	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14			
36	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima 1985/1/11生 日本/愛知県	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	舘 信秀	TOYOTA R14A
37	ジェームス・ロシター James Rossiter 1983/8/25生 イギリス	VANTELIN KOWA TOM'S SF14			
50	千代 勝正 Katsumasa Chiyo 1996/12/9生 日本/東京都	B-Max Racing SF14	B-Max Racing team (ビーマックス・レーシング・チーム)	組田 龍司	HONDA HR-417E
64	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan 1977/1/14生 インド	TCS NAKAJIMA RACING SF14	TCS NAKAJIMA RACING (ティーシーエス・ナカジマレーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-414E
65	伊沢 拓也 Takuya Izawa 1984/6/1生 日本/東京都	TCS NAKAJIMA RACING SF14			

ホンダエンジン使用チーム:5チーム8台 トヨタエンジン使用チーム:6チーム11台 タイヤ:ヨコハマ

シリーズ賞典

スーパーフォーミュラは各レースでの入賞成績に応じてポイントが与えられ、年間の合計でシリーズチャンピオンを決定。ドライバーとチームの2部門に全日本スーパーフォーミュラ選手権のタイトルが懸けられ、チャンピオン獲得者には下記賞典が授与されます。



年間チャンピオンチーム

正賞	副賞	
経済産業大臣杯 (経済産業省)	賞金 (JRP)	日本の産業の基幹である自動車産業を広く内外に示し、フォーミュラカーレースを通して自動車振興に寄与したことを表し授与される。

年間チャンピオンチーム

正賞	副賞	
ドライバーズチャンピオンカップ	賞金 (JRP)	
観光庁長官杯 (観光庁)		自動車競技を通じ、体力の向上ならびに心身の健全育成に寄与し、国内の交流ならびに国際親善、観光振興への貢献を称え授与される。
自由民主党モータースポーツ振興議員連盟杯 (自由民主党)		日本の自動車産業育成およびモータースポーツの普及と育成への貢献を表して授与される。 ※自由民主党モータースポーツ振興議員連盟とは、日本国内の自動車産業ならびに自動車文化の向上、またモータースポーツを通じて社会貢献を行い、その他様々な活動を行うことを目指して設立された連盟。

ルーキー・オブ・ザ・イヤー

正賞	副賞	
トロフィー	賞金 (JRP)	

シリーズパートナー / シリーズサポーター / プロモーションパートナー

Series Partner

HONDA

本田技研工業株式会社
<http://www.honda.co.jp/>

TOYOTA

トヨタ自動車株式会社
<http://www.toyota.co.jp/>

Promotion Partner

HITACHI
 Inspire the Next

日立オートモティブシステムズ

<http://www.hitachi-automotive.co.jp/>

SONY

RX0

ソニー株式会社

<http://www.sony.jp/actioncam/>

NINKI-ICHI
 人気酒造

人気酒造株式会社
<http://www.ninki.co.jp/>

Series Supporter

YOKOHAMA

横浜ゴム株式会社

<http://www.y-yokohama.com>

Broadcasting Partner

BSフジ

株式会社BSフジ




<http://www.bs-fuji.tv/>

J SPORTS



株式会社ジェイ・スポーツ

<http://www.jsports.co.jp/>





TV放映

	シリーズ全7戦の決勝の様を生中継(第1戦のみゴールデンタイムに特別番組)。
	今シーズンから、「スーパーフォーミュラ」の情報を完全網羅する番組としてリニューアル。2018シーズンのレースダイジェストをレギュラーコメンテーターの小林可夢偉とゲスト解説の松田次生がレースを分析。ナレーターは今年で番組3年目となる乃木坂46の樋口日奈が担当。
	シリーズ全7戦の予選と決勝の様をライブで中継。再放送やレースダイジェストも放送します。

映像配信

	大会終了14日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。
	スーパーフォーミュラ公式サイト及び公式FACEBOOKで配信。

インターネット/SNS

スーパーフォーミュラオフィシャルWEBサイト https://superformula.net/sf2	「スーパーフォーミュラ」で 
スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook https://www.facebook.com/superformula.official	「スーパーフォーミュラfacebook」で 
スーパーフォーミュラオフィシャルTwitter https://twitter.com/super_formula	「スーパーフォーミュラtwitter」で 
スーパーフォーミュラ公式アプリ i OS,Android対応無料ライブタイピングアプリ	「SUPERFORMULA」で 

プロモーションサポーター

 <p>ピエール 北川 オフィシャルコメンテーター レースの状況や場内の興奮、バトルの迫力を臨場感あふれる熱い語り口で伝える名レースアナウンサー。2014年からスーパーフォーミュラの全戦で場内実況アナウンサーを務め、JRP主催のトークショーなどの司会進行も担当する。</p>	 <p>水村 リア オフィシャルステージMC スーパーフォーミュラ・オフィシャルステージで、毎戦様々なトークショーやイベントの司会進行を担当。得意の英語力を活かし外国人ドライバーとのトークもこなせば、テクノロジー・ラボラトリーからレースクイーンオンステージまで、硬軟すべての場面で持ち前のバイタリティーを発揮し会場を盛り上げる。</p>
 <p>松田 次生 中継レポーター フォーミュラ・ニッポンから続く21年の歴史の中で唯一、07年08年と連続チャンピオンを獲得。SUPER GTレースでは現在もチャンピオン争いの先頭を走る現役最強ドライバー。そんな現役トップレーシングドライバーが、生中継のビトリポートと「スーパーフォーミュラGO ON!」を担当します。現役ならではの、鋭くわかりやすい解説が好評です。</p>	 <p>東 美樹 中継レポーター 日本テレビ「ZIP!」やWOWOW「ぶらすと」、BS日テレ「旅して Happy」などテレビ出演に多くの経験を持ち、ロンドン留学の経験を活かして語学も堪能。ダイビング、乗馬、ヨガ、ボルダリングなど多趣味でアクティブな東さんが、レポーターマイクを持ち、ピットを縦横無尽に取材します! BSフジのレース生中継、新装なった「スーパーフォーミュラGO ON!」に出演予定です!</p>
 <p>両角 岳彦 TECHNOLOGY LABO.主筆 公式ウェブ「TECHNOLOGY LABORATORY」主筆。「エンジニアたちの作戦計画」では、毎回エンジニアたちの見えない戦いを浮き彫りにします。「SF14」「タイヤ」「エンジン」「空力」など自動車評論家としての独自目線で深掘りし、スーパーフォーミュラという「競争」の真髄を解き明かします。</p>	

ファンクラブ

<p>オフィシャルファンクラブ「CLUB F」</p>	<p>ファンクラブに入会いただくと、前売観戦券や年間パスの会員特別価格での購入やオリジナルグッズのプレゼントなどの会員特典があります。</p>
------------------------------------	---

詳しくは公式サイト <https://superformula.net/sf2>をご覧ください。

2018 SUPER FORMULA 車両規定抜粋

以下はスーパーフォーミュラの基本的な車両規則です。
正確な内容は2018年JAF国内競技車両規則をご覧ください。

シャシー

JAF が認めたスーパーフォーミュラ車両製造者から供給された車両で、現在はイタリアのダラーラ製 SF14 が 2014 年から使用されている。

メーカー	dallara 製 (イタリア)
全長	5,268mm
全幅	1,910mm
全高	960mm
ホイールベース	3,165mm
最低重量	660kg (ドライバー込み)
車体	カーボンコンポジット製
ミッション	6速パドルシフト式
ブレーキ	カーボンディスクローター (ブレンボ製)

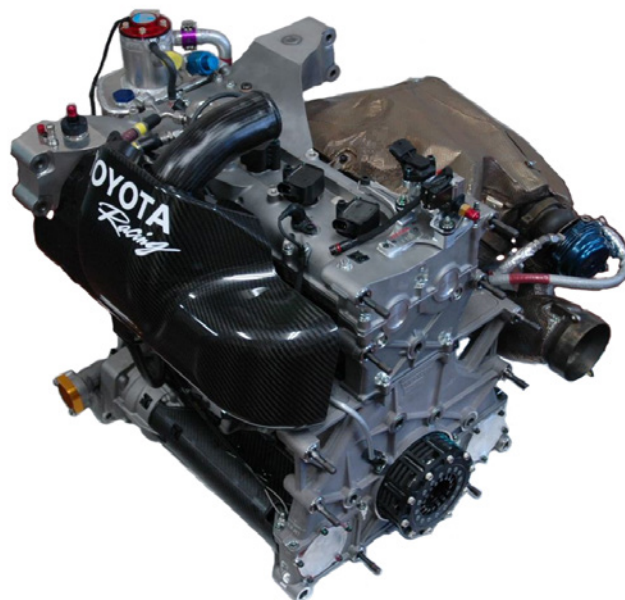


エンジン

エンジンは直噴直列4気筒ターボ、排気量2000cc以下で、現在はHondaとトヨタが開発したNRE (ニッポン・レース・エンジン)が使用される。燃料供給の流量は燃料流量リストラクターによって制限される。



Honda HR-417E



TOYOTA R14A

タイヤ

横浜ゴム製のワンメイク F: 250/620R13 R: 360/620R13 (スリックタイヤ)

オーバーテイクシステム

スーパーフォーミュラでは独自のシステムのひとつとして、決勝中にエンジンのパワーが増すオーバーテイクシステム (OTS) を採用している。これは、オーバーテイクボタンを押すと、20秒間だけ燃料流量が増えて (10kg/h) パワーアップする。システムは1回で20秒間作動し、1レースで使えるのは5回まで。オーバーテイク作動開始から5秒後にドライバーの後ろのロールフープについたランプが点滅する。ポイントリーダーはオーバーテイクランプが赤色 (リーダーズレッド) で、それ以外のドライバーは白色となっている。



2018 SUPER FORMULA 競技規則抜粋

以下はスーパーフォーミュラの基本的な競技規則です。

正確な内容は2018年全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則をご覧ください。

■車両／エンジン／タイヤの使用制限

車両

スペアカーは使用できない。

エンジン

同じエンジンを4大会連続で使用しなければならない。

エンジンを交換した場合

車検開始前	予選結果から10グリッド降格
車検後～決勝日フリー走行終了後1時間まで	予選結果から10グリッド降格
決勝日フリー走行終了後1時間過ぎ～スタート手順開始まで	グリッド最後尾(当該車両の当初のグリッドは空けたまま)
上記3つの場合による2回以上のエンジン交換	決勝レースはピットスタート

タイヤ

1大会で1台につき使用できるドライタイヤは6セット（ニュータイヤ4セット、持ち込タイヤ2セット）、ウエットタイヤは4セット。タイヤウォーマーの使用は禁止される。決勝レースで2種類（ソフトタイヤ、ミディアムタイヤ）の使用が義務付けされている。

■予選方法

予選は全戦ノックアウト方式で行われる。予選をQ1、Q2、Q3の3つのセッションに分け、Q1の上位14台の車両がQ2に進める。そしてQ2の上位8台がQ3に進み、上位8台の最終的な順位を決定する。1大会2レース制の場合、第1レースのグリッドはQ1の結果に基づく。予選通過基準はQ1で記録された1位のタイムの107%以内とする。

■スタート

スタートはスタンディングスタートで、グリッドは1×1のスタaggerドフォーメーション。正式スタートの前に1周のフォーメーションラップを行う。フォーメーションラップに発進できなかった車両は最後尾かピットスタートとなる。ただし、発進が出遅れた車両で最後尾の車両がスタートラインを通過する前までに動き出せた場合は、フォーメーションラップ走行中に自ポジションまで戻ることができる。各車がグリッドに戻ったのちスタートシグナルのレッドライトが点灯し、その消灯がスタートとなる。



■ポイントシステム

各レースの成績に応じてドライバーとチームに得点が与えられ、年間の合計で最高得点者が全日本選手権保持者（チャンピオン）となる（チームの得点は同一チームの車両のうち上位2台が対象）。同点の場合の順位は高得点を得た回数が多い順に決定。それでも同じ場合は、最終戦の前の大会の得点で決定する。それでも同じ場合は、さらにその前の大会の得点と遡って決める。得点の基準は以下のとおり。

- ・予選 ポールポジション（ドライバーのみ）：1点
- ・決勝 各レースの1位から8位までに下記のとおり。また最終戦に限り、1位の者に通常得点とは別に3点が与えられる（ドライバーのみ）

	PP	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
ポイント	1	10	8	6	5	4	3	2	1

レースが途中で中止になった場合の扱い

先頭車両が2周終了前	得点は与えられない
先頭車両が2周以上～レース距離の75%未満	通常得点の半分
先頭車両がレース距離の75%以上	通常得点





2018 SUPER FORMULA 参加チーム&ドライバー



JMS P.MU/CERUMO・INGING



フォーミュラ・ニッポン以前の時代からトップフォーミュラで戦ってきたセルモと2006年参戦開始のインギングが共同体制を組んだのは08年。現在の監督は“セルモのエース”として知られ、SUPER GTでは現役第一線にあり続けている立川祐路だ。ブリヂストンやフェラーリF1で活躍したタイヤのスペシャリスト浜島裕英が総監督。近年の充実は目覚ましく、15年に石浦宏明が個人王座を獲得すると、16年は国本雄資とチームが、昨季は石浦とチームが王座に就き、当代最強陣営の座を確立。今季はドライバー部門4連覇とチーム部門3連覇を狙う。

チーム名	JMS P.MU/CERUMO・INGING ジェームス ピーエムユーセルモインギング
監督	立川 祐路
会社名	株式会社インギング
所在地	〒745-0868 山口県周南市南浦山町2-2 TEL:0834-22-5248 FAX:0834-22-5212
広報担当	高尾 昭 takao@inging.jp 村田 淳一 murata@cerumo.co.jp
Website	http://www.inging.co.jp/
facebook	https://www.facebook.com/ingingmotorsport



チーム監督
立川 祐路



1号車エンジニア
村田 卓児



2号車エンジニア
菅沼 芳成

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	羽根幸浩	14位	12位	—/0ポイント	
1997	光貞秀俊/S.カヴァナ/柴原真介/M.クルム	3位(2回)	3位(3回)	5位/20ポイント	
1998	野田英樹/飯田 章	PP	3位	7位/11ポイント	
1999	立川祐路/飯田 章	4位	4位	10位/6ポイント	
2000	立川祐路/J.ヴィエルチューク	3位(3回)	4位(3回)	7位/9ポイント	
2001	影山正美/荒 聖治	7位(2回)	3位	7位/16ポイント	
2002	B.トレルイエ/立川祐路	8位(2回)	6位	9位/1ポイント	
2003	松田次生/井出有治	3位	2位	5位/26ポイント	
2004	松田次生/影山正美	5位	4位(2回)	7位/7ポイント	
2005	平中克幸/高木虎之介	2位	6位(2回)	7位/2ポイント	
2006	立川祐路(CERUMO)	5位	4位(2回)	8位/10ポイント	
	R.クインタレッリ/横溝直輝(INGING)	2位	4位	9位/6ポイント	
2007	立川祐路(CERUMO)	4位	5位	9位/7ポイント	
	立川祐路/佐々木孝太(RECKLESS CERUMO)	7位	6位	11位/4ポイント	
	R.クインタレッリ/横溝直輝(INGING)	2位	優勝	5位/27ポイント	
2008	R.クインタレッリ/立川祐路	5位	3位	4位/52.5ポイント	
2009	立川祐路	8位	5位	10位/1ポイント	
2010	井口卓人	13位	6位	8位/3ポイント	
2011	国本雄資	8位	4位	6位/6.5ポイント	
2012	平手晃平/国本雄資	4位	5位	6位/10ポイント	
2013	平手晃平/国本雄資	2位	2位	5位/21ポイント	
2014	石浦宏明/国本雄資	2位	2位(2回)	3位/45.5ポイント	
2015	石浦宏明/国本雄資	PP(3回)	優勝(2回)	2位/56ポイント	★
2016	石浦宏明/国本雄資	PP(3回)	優勝(3回)	1位/54ポイント	☆ ★
2017	国本雄資/石浦宏明	PP(2回)	優勝	1位/47.5ポイント	☆ ★

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

1 石浦 宏明

Hiroaki Ishiura

JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14
TOYOTA R14A



- 生年月日 1981年4月23日
- 出身地 東京都
- 血液型 AB型
- Website <http://ameblo.jp/ishiura/>

Race Career

2003	フォーミュラトヨタ シリーズ4位
2004	フォーミュラトヨタ シリーズ6位
2005	フォーミュラトヨタ シリーズ3位 GC-21シリーズチャンピオン
2006	全日本F3選手権 シリーズ9位
2007	全日本F3選手権 シリーズ4位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズチャンピオン 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ16位
2008	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ15位
2009	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位 ニュルブルクリンク24時間レース クラス3位
2012	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位 ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2013	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位 ニュルブルクリンク24時間レース クラス2位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位 ニュルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位 インタープロトシリーズ シリーズ3位 ニュルブルクリンク24時間レース SP-PROクラス優勝 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ5位
2016	日本プロスポーツ大賞功労賞受賞 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位 インタープロトシリーズ シリーズ5位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位 インタープロトシリーズ シリーズ5位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2008	No.8 Team LeMans	16 (9)	—
2009	No.8 Team LeMans	6 (30)	—
2010	No.8 Team LeMans	8 (16)	—
2011	No.8 Team KYGNUS SUNOCO	6 (17)	—
2014	No.38 P.MU/CERUMO・INGING	5 (26)	—
2015	No.38 P.MU/CERUMO・INGING	1 (51.5)	2
2016	No.1 P.MU/CERUMO・INGING	5 (27)	1
2017	No.2 P.MU/CERUMO・INGING	1 (33.5)	1

2 国本 雄資

Yuji Kunimoto

JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14
TOYOTA R14A



- 生年月日 1990年9月12日
- 出身地 神奈川県
- 血液型 B型
- Website <http://mobile.twitter.com.yujikunimoto>

Race Career

2004	全日本カート選手権 ICAクラス シリーズ7位
2005	全日本カート選手権 ICAクラス東地域チャンピオン 全日本カート選手権 ICAクラス シリーズ3位
2006	全日本カート選手権 FAクラス シリーズ8位
2007	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ4位 フォーミュラトヨタ スポット参戦
2008	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズチャンピオン マカオグランプリフォーミュラBMWクラス5位
2009	全日本F3選手権Cクラス シリーズ3位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ8位
2010	全日本F3選手権Cクラス シリーズチャンピオン SUPER GT (GT300クラス) シリーズ4位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ10位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ7位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ13位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ10位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズチャンピオン 日本プロスポーツ大賞功労賞獲得 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位 FIA世界耐久選手権 スポット参戦 (Rd.2, 3) シリーズ29位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2011	No.33 Project μ/cerumo・INGING	10 (6.5)	—
2012	No.39 Project μ/cerumo・INGING	13 (2)	—
2013	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	10 (10)	—
2014	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	7 (19.5)	—
2015	No.39 P.MU/CERUMO・INGING	9 (7.5)	—
2016	No.2 P.MU/CERUMO・INGING	1 (33)	2
2017	No.1 P.MU/CERUMO・INGING	8 (16)	—

KONDO RACING



モータースポーツと芸能活動、その両方に常に全力投球の近藤真彦がチームを率いる。チーム創設の2000年には、当時トップフォーミュラ現役だった近藤自身が自チームのマシンのステアリングを握って参戦した。昨季は全日本F3チャンピオン同士の新人コンビとなるニック・キャッシュディと山下健太の布陣で参戦、両者ともにポールポジションを獲得するなど、ルーキーらしからぬ活躍を見せた。今季もキャッシュディと山下が続投、ふたりが目指すのはもちろん初優勝である。チームとしても08年以来となる優勝が明確に視野に入り、大いに意気上がる。

チーム名	KONDO RACING コンドーレーシング
監督	近藤 真彦
会社名	株式会社エムケイカンパニー
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂2-23-1 アークヒルズフロントタワー-RoP1104 TEL:03-6459-1360 FAX:03-6459-1306
広報担当	河野 初樹 kohno@mk-company.jp
Website	http://www.matchy.co.jp/
facebook	https://www.facebook.com/KONDORacing



チーム監督
近藤 真彦



3号車エンジニア
田中 耕太郎



4号車エンジニア
米林 慎一

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2000	近藤真彦 / 土屋武士 (Rd.9)	14位	7位	—/0ポイント	
2001	立川祐路 / 金石勝智	4位	2位	5位 / 34ポイント	
2002	荒 聖治 / 金石勝智	6位	4位	7位 / 3ポイント	
2003	立川祐路 / D.シュワガー	9位	7位	—/0ポイント	
2004	道上 龍 / 立川祐路	3位	3位	6位 / 10ポイント	
2005	山本左近 / J.ヤニス (~Rd.3) / R.クインタレッリ (Rd.4~)	3位	2位	4位 / 21ポイント	
2006	山本左近 (Rd.3~) / 荒 聖治 (Rd.4~) / 柳田真孝	5位	4位	10位 / 4.5ポイント	
2007	柳田真孝 / J.P.デ・オリベイラ	3位	3位	7位 / 18ポイント	
2008	横溝直輝 / J.P.デ・オリベイラ	PP	優勝	5位 / 44ポイント	
2010	松田次生 (Rd.4~)	8位	8位	9位 / 1ポイント	
2011	A.カルダレッリ	10位	9位	—/0ポイント	
2012	安田裕信	8位	9位	—/0ポイント	
2013	安田裕信	13位	6位	9位 / 3.5ポイント	
2014	J.ロシター	3位	2位	5位 / 22ポイント	
2015	J.ロシター / W.ブラー	3位	6位	8位 / 5ポイント	
2016	J.ロシター / W.ブラー	4位	5位 (2回)	8位 / 12ポイント	
2017	N.キャッシュディ / 山下健太	PP (2回)	3位	7位 / 12.5ポイント	

☆: チームタイトル ★: ドライバータイトル

3 ニック・キャシディ

Nick Cassidy

ORIENTALBIO KONDO SF14
TOYOTA R14A



- 生年月日 1994年8月19日
- 出身地 ニュージーランド
- 血液型 B型
- Website <http://easyinstagram.com/nickcassidy>

Race Career

2008	New Zealand Formula First Winter Series シリーズチャンピオン
2009	New Zealand Formula First シリーズ2位 (新人賞獲得)
2010	New Zealand Formula Ford シリーズ2位 (新人賞獲得)
2011	Toyota Racing Series シリーズ2位 (新人賞獲得)
2012	Toyota Racing Series シリーズチャンピオン
2013	Toyota Racing Series シリーズチャンピオン
2014	Eurocup Formula Renault 2.0 & FIA ヨーロッパF3選手権 スポット参戦 F3マカオGP 3位
2015	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン F3マカオGP 12位
2016	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位 FIA ヨーロッパF3選手権 シリーズ4位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ10位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2017	No.3 KONDO RACING	10(8)	—

4 山下健太

Kenta Yamashita

ORIENTALBIO KONDO SF14
TOYOTA R14A



- 生年月日 1995年8月3日
- 出身地 千葉県
- 血液型 AB型
- Website <http://kentayamashita.jp>

Race Career

2007	モバロ 5StarCup(YAMAHA JUNIOR) シリーズチャンピオン
2008	Open Masters Kart (KRP JUNIOR) シリーズチャンピオン
2009	NTC CUPシリーズ(Jr.MAX) シリーズチャンピオン
2010	Open Masters Kart (ARTAチャレンジ) シリーズ2位
2011	全日本カート選手権(S-KF) シリーズ4位 JAF 地方選手権スーパーFJもてぎシリーズ チャンピオン
2012	CIK/FIA World Karting Championship KF1クラス出場 FINAL1-5位 2013フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズチャンピオン JAF 地方選手権F4東日本シリーズ シリーズチャンピオン
2014	全日本F3選手権 シリーズ2位 全日本F3選手権 シリーズ2位
2015	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ20位 インタープロトシリーズ シリーズ7位
2016	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン F3マカオGP 4位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) スポット参戦 (Rd.2) シリーズ20位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ5位 インタープロトシリーズ シリーズ2位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2017	No.4 KONDO RACING	11(6.5)	—

DOCOMO TEAM DANDELION RACING



1999年にトップフォーミュラ参戦を開始したダンディライアンは、2004年にドライバータイトル、12年にはチームタイトルを獲得するなどしており、ホンダ勢きっての強豪チームとしての地位を確立した。ただ昨季は、ポールポジションを獲得するなど速さは変わらずに見せながらも、決勝成績ペースでは苦戦し、01年以来16年ぶりの表彰台なしという結果に甘んじてしまった。巻き返しを期す今季はチーム5年目となる快速エース・野尻智紀と、GP2~F2で3シーズンを戦ってきた強力新人、ホンダF1候補生のひとりでもある松下信治のコンビで戦う。

チーム名	DOCOMO TEAM DANDELION RACING ドコモチームダンディライアンレーシング
監督	村岡 潔
会社名	有限会社ダンディライアン
所在地	〒662-0076 兵庫県西宮市松生町18-24-101 TEL:0798-70-0048 FAX:0798-70-0049
広報担当	浜田 哲彌 t_hamada@dandelion-racingo.com
Website	http://www.dandelion-racing.com/



チーム監督
村岡 潔



5号車エンジニア
杉崎 公俊



6号車エンジニア
吉田 則光

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1999	R.デルフレー	17位(2回)	9位	—/0ポイント	
2000	道上 龍	2位	7位	—/0ポイント	
2001	野田英樹/J.ヴィエルチューク/光貞秀俊	3位	11位	—/0ポイント	
2002	J.コシェ/R.ライアン	6位	2位	6位/6ポイント	
2003	R.ライアン/服部尚貴	3位(2回)	優勝	6位/23ポイント	
2004	R.ライアン/服部尚貴	PP(6回)	優勝(2回)	3位/40ポイント	★
2005	R.ライアン/服部尚貴	PP(2回)	優勝	2位/37ポイント	
2006	B.ビルドハイム/平中克幸/井出有治	4位	2位	5位/13.5ポイント	
2007	B.ビルドハイム/F.カルボーン	6位	2位	6位/20ポイント	
2008	松浦孝亮/土屋武士	3位	優勝	11位/7.5ポイント	
2009	R.ライアン/伊沢拓也	2位(2回)	2位	6位/25ポイント	
2010	L.デュバル/伊沢拓也	PP(2回)	優勝(2回)	4位/40.5ポイント	
2011	伊沢拓也/塚越広大	PP	3位(2回)	3位/36.5ポイント	
2012	伊沢拓也/塚越広大	PP(3回)	優勝(3回)	1位/78.5ポイント	☆
2013	伊沢拓也/武藤英紀	PP	優勝	7位/14ポイント	
2014	野尻智紀/武藤英紀	2位(2回)	優勝	6位/14ポイント	
2015	野尻智紀/N.カーティケヤン	2位(3回)	3位(3回)	5位/25ポイント	
2016	野尻智紀/S.バンドーン	PP(2回)	優勝(2回)	4位/36.5ポイント	
2017	野尻智紀/伊沢拓也	PP	6位	8位/6ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

5 野尻 智紀

Tomoki Nojiri

DOCOMO DANDELION M5S SF14
Honda HR-417E



- 生年月日 1989年9月15日
- 出身地 茨城県
- 血液型 B型
- Twitter https://twitter.com/tomoki_nojiri

Race Career

2008	鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F) 首席卒業
2009	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ5位 F4西日本シリーズ5位
2010	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ5位
2011	全日本F3選手権 Nクラス シリーズ2位
2012	全日本F3選手権 シリーズ5位
2013	全日本F3選手権 シリーズ4位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ10位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ10位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ15位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ17位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2014	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	10(10)	1
2015	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	7(19)	—
2016	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	9(14.5)	—
2017	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	17(2)	—

6 松下 信治

Nobuharu Matsushita

DOCOMO DANDELION M6Y SF14
Honda HR-417E



- 生年月日 1993年10月13日
- 出身地 埼玉県
- 血液型 B型
- Website <http://www.nobuharu.com>

Race Career

2009	全日本カート選手権KF17位
2010	全日本カート選手権Super-KF 3位
2011	鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)
2012	フォーミュラチャレンジ・ジャパン (FCJ) チャンピオン
2013	全日本F3選手権 シリーズ5位
2014	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
2015	GP2シリーズ 9位
2016	GP2シリーズ 11位
2017	フォーミュラ2選手権 シリーズ6位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
------	------	------------	-----

UOMO SUNOCO TEAM LEMANS



日本レース界有数の老舗名門チーム。フォーミュラ・ニッポン誕生当初には1996年と98年にダブルタイトルを獲得し、黄金時代を築いた。2000年代後半からは苦戦期もあったが、エンジニアリング面の継続的なスタッフ強化策等により復調、13年～14年はチーム部門で2年連続2位に。昨季は奇抜な作戦展開でレースフィールドに旋風を巻き起こし、新人フェリックス・ローゼンクヴィストがシリーズ3位に食い込んだ。今季は1970年代のF1王者エマーソンの孫である新鋭ビエトロ・フィッティパルディとレギュラー復帰2年目になる大嶋和也のコンビ。

チーム名	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS ウオモ スノコ チーム ルマン
監督	片岡 龍也
会社名	株式会社チームルマン
所在地	〒412-0046 静岡県御殿場市保土沢1157-340 TEL:0550-88-5888 / FAX:0550-88-5889
広報担当	村野 正美 murano@teamlmans.co.jp
Website	http://www.teamlmans.co.jp/
facebook	https://www.facebook.com/teamlmans.official



チーム監督
片岡 龍也



7号車エンジニア
スティーブ・クラーク



8号車エンジニア
ライアン・ディンゲル

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	服部尚貴 / R.シューマッハー	PP(3回)	優勝(5回)	1位 / 78ポイント	☆ ★
1997	N.フォンタナ / E.トゥエロ	2位	優勝	3位 / 23ポイント	
1998	N.フォンタナ / 本山 哲	PP(3回)	優勝(4回)	1位 / 66ポイント	☆ ★
1999	本山 哲 / 山西康司	PP(3回)	優勝(3回)	2位 / 52ポイント	
2000	野田英樹 / 五十嵐勇大	PP	2位	5位 / 16ポイント	
2001	A.ユーン / 五十嵐勇大 / 山西康司	6位	5位	9位 / 2ポイント	
2002	影山正美 / 土屋武士 / D.シュワガー	PP(4回)	2位(3回)	5位 / 29ポイント	
2003	金石年弘 / 土屋武士	PP(2回)	優勝	2位 / 38ポイント	
2004	脇阪寿一 / 土屋武士 / 片岡龍也	PP	2位	4位 / 37ポイント	
2005	片岡龍也 / 土屋武士	2位	2位	5位 / 20ポイント	
2006	片岡龍也 / 高木虎之介	5位	3位(3回)	6位 / 13ポイント	
2007	片岡龍也 / 高木虎之介	9位	7位(2回)	8位 / 8ポイント	
2008	本山 哲 / 石浦宏明	PP(2回)	3位	7位 / 22ポイント	
2009	国本京佑 / 石浦宏明	2位	3位	5位 / 31ポイント	
2010	K.コッツォリノ / 石浦宏明	3位	3位	5位 / 24ポイント	
2011	大嶋和也 / 石浦宏明(大嶋和也はTeam LeMansとして参戦)	PP	2位	4位 / 32ポイント	
2012	大嶋和也 / L.デュバル(大嶋和也はTeam LeMansとして参戦)	2位	3位	5位 / 21.5ポイント	
2013	平川 亮 / L.デュバル(Rd.1,7はA.カルダレリ)	PP(2回)	優勝	2位 / 42ポイント	
2014	平川 亮 / L.デュバル(Rd.3はA.カルダレリ)	PP	優勝	2位 / 46ポイント	
2015	平川 亮 / 小林可夢偉	2位	2位	4位 / 33ポイント	
2016	N.カーティケヤン / 小林可夢偉	6位	3位	10位 / 16ポイント	
2017	F.ローゼンクヴィスト / 大嶋和也	6位	2位(2回)	4位 / 34.5ポイント	

☆: チームタイトル ★: ドライバータイトル

7 ピエトロ・フィッティパルディ

Pietro Fittipaldi

UOMO SUNOCO SF14
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1996年6月25日
- 出身地 ブラジル
- 血液型
- Website <https://twitter.com/pifitti>

Race Career

2011	NASCAR Whelen All-American Series シリーズチャンピオン
2012	NASCAR Whelen All-American Series シリーズ5位 Protyr Formula Renault 選手権 シリーズ8位
2013	Protyr Formula Renault Autumn Cup シリーズ6位 BRDC Formula 4 Championship シリーズ15位 BRDC Formula 4 Winter Championship シリーズ6位
2014	Protyr Formula Renault Championship シリーズチャンピオン Formula Renault 2.0 Alps シリーズ9位
2015	FIAフォーミュラ3欧州選手権 シリーズ16位 Masters of Formula 3 シリーズ13位
2016	MRF Challenge Formula 2000 シリーズ1位 Formula V8 3.5 Series シリーズ18位
2017	World Series Formula V8 3.5 シリーズチャンピオン

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win

8 大嶋 和也

Kazuya Oshima

UOMO SUNOCO SF14
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1987年4月30日
- 出身地 群馬県
- 血液型 A型
- Twitter https://twitter.com/oshima_kazuya

Race Career

2001	全日本カート選手権FAクラスチャンピオン
2004	フォーミュラトヨタ シリーズ2位
2005	フォーミュラトヨタ シリーズチャンピオン
2006	全日本F3選手権 シリーズ2位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ15位
2007	全日本F3選手権 シリーズチャンピオン
2008	ユーロF3シリーズ参戦
2009	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ6位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位 ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝 パンセン4時間耐久レース 総合優勝
2013	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位 ニルブルクリンク24時間レース クラス2位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位
2014	ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝 ニル耐久レースシリーズ クラス優勝 全日本選手権スーパーフォーミュラ スポット参戦 (Rd.2)
2015	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位 ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2016	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位 ニルブルクリンク24時間レース クラス優勝
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ12位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位 インタープロトシリーズ シリーズ13位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2009	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	9(13)	-
2010	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	6(24)	1
2011	No.7 Team LeMans	5(19)	-
2012	No.7 Team LeMans	7(21.5)	-
2017	No.8 SUNOCO TEAM LEMANS	12(6)	-

TEAM MUGEN



F1にもエンジンを供給、優勝した実績もある無限。「TEAM MUGEN」としてのトップフォーミュラ参戦は2010年からで、翌11年にはその後チームの柱となってゆく山本尚貴(当時トップフォーミュラ2年目)が加入する。山本とチームは二人三脚で戦力アップし、13年、見事ドライバーズチャンピオンを獲得。3年ぶりに2カー参戦となった昨季は、前年GP2(現F2)王者のピエール・ガスリーが2勝、シリーズ2位の大活躍を演じた。今季はホンダのF1候補生である若手・福住仁嶺が山本とコンビを組んでの参戦、引き続き大きな注目を集めることになる。

チーム名	TEAM MUGEN チーム・ムゲン
監督	手塚 長孝
会社名	株式会社M-TEC
所在地	〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11 TEL:048-462-3151 FAX:048-462-3155
広報担当	渡辺 茂樹 shigeki_watanabe@mugen-power.com
Website	http://www.mugen-power.com/
facebook	https://www.facebook.com/mugen1973/



監督
手塚 長孝



15号車エンジニア
一瀬 俊浩



16号車エンジニア
阿部 和也

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2010	井出有治	8位	8位(2回)	10位/1ポイント	
2011	山本尚貴	PP	5位	7位/4ポイント	
2012	山本尚貴/佐藤琢磨(Rd.6,7)	4位	7位	8位/4ポイント	
2013	山本尚貴/佐藤琢磨(Rd.1,6,7)/小林崇志(Rd.2-4)	PP(2回)	優勝	4位/32.5ポイント	★
2014	山本尚貴/中山友貴	PP(2回)	5位	7位/12.5ポイント	
2015	山本尚貴	PP(2回)	優勝	6位/21ポイント	
2016	山本尚貴	PP	優勝	6位/14.5ポイント	
2017	P.ガスリー/山本尚貴	3位(2回)	優勝(2回)	2位/43.5ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

15 福住仁嶺

Nirei Fukuzumi

TEAM MUGEN SF14
Honda HR-417E



- 生年月日 1997年1月24日
- 出身地 徳島県
- 血液型 B型
- Website https://twitter.com/nirei_fukuzumi

Race Career

2010	鈴鹿選手権シリーズJ-RMC チャンピオン
2011	鈴鹿選手権シリーズJ-RMC チャンピオン、ARTA Jr シリーズチャンピオン
2012	鈴鹿選手権シリーズRMCシリーズ チャンピオン、ARTAチャレンジ シリーズチャンピオン
2013	全日本カート選手権 KF1クラス シリーズチャンピオン 鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)卒業
2014	フォーミュラ4 FCクラス チャンピオン
2015	全日本F3選手権 4位
2016	GP3 シリーズ7位
2017	GP3 シリーズ3位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
------	------	------------	-----

16 山本 尚貴

Naoki Yamamoto

TEAM MUGEN SF14
Honda HR-417E



- 生年月日 1988年7月11日
- 出身地 栃木県
- 血液型 B型
- Website <http://www.naoki-yamamoto.com/>

Race Career

2002	全日本カート選手権FAクラス(7戦中5勝) チャンピオン
2003	ARTA (AUTOBACS RACING TEAM AGURI) 加入 全日本カート選手権東地域FAクラス第1・3戦に参戦 2戦共優勝
2004	FIK イタリアンオープンマスターズFAクラス シリーズ29位 CIK-FIA アジアパシフィック選手権ICAクラス 6位
2005	FIK イタリアンオープンマスターズFAクラス シリーズ5位 CIK-FIA 世界カート選手権FAクラス・ホルタル大会12位
2006	鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F)
2007	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位
2008	全日本F3選手権 シリーズ5位
2009	全日本F3選手権Nクラス シリーズチャンピオン 全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ7位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得
2010	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位 プロ・スポーツ大賞新人賞獲得
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズチャンピオン SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2010	No.31 NAKAJIMA RACING	7 (20.5)	—
2011	No.16 TEAM 無限	11 (5)	—
2012	No.16 TEAM 無限	11 (4)	—
2013	No.16 TEAM 無限	1 (37)	1
2014	No.1 TEAM 無限	9 (14.5)	—
2015	No.16 TEAM 無限	5 (26)	1
2016	No.16 TEAM 無限	7 (15.5)	1
2017	No.16 TEAM MUGEN	9 (10.5)	—

REAL RACING



チームを率いるのは、フォーミュラ・ニッポンでも優勝経験があり、日本のトップカテゴリーで長く活躍した名選手・金石勝智。チーム母体としてのこのカテゴリーへの参戦開始は2009年で、今季は10シーズン目の節目にあたる。参戦2年目の10年には早々に塚越広大が2位を獲得する殊勲を達成。13年に塚越がチーム復帰して以降は通年2台体制で戦っていたが、昨季から塚越の1台にチームのリソースを集中している。塚越にとってはダンディライアン在籍時にタイトルを争った12年以來の2勝目となるチーム初優勝、これが当面のターゲットだ。

チーム名	REAL RACING リアルレーシング
監督	金石勝智
会社名	株式会社リアル
所在地	東京都港区赤坂3-21-15 東都赤坂ビル5F TEL:03-5114-6045 FAX:03-6277-7011
広報担当	南元 由紀 minamimoto@real-racing.jp
Website	http://www.real-racing.jp/
facebook	https://www.facebook.com/realracingweb/



チーム監督
金石 勝智



17号車エンジニア
田坂 泰啓

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2009	塚越広大	3位(4回)	4位(2回)	7位/20ポイント	
2010	塚越広大	5位	2位	6位/9ポイント	
2011	小林崇志 / 武藤英紀 (Rd.4,7)	9位	9位	—/0ポイント	
2012	金石年弘 / 中山友貴 (Rd.4,5)	11位	7位	9位/2ポイント	
2013	塚越広大 / 中山友貴	7位	6位	8位/4ポイント	
2014	塚越広大 / V.リウツィ	4位	4位	8位/10ポイント	
2015	塚越広大 / 伊沢拓也	5位	7位	9位/4.5ポイント	
2016	塚越広大 / 伊沢拓也	3位	2位	7位/14.5ポイント	
2017	塚越広大	5位	6位	9位/3ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

17 塚越 広大 Koudai Tsukakoshi

REAL SF14
Honda HR-417E



- 生年月日 1986年11月20日
- 出身地 栃木県
- 血液型 AB型
- Website <http://www.tsukakoshikoudai.net/>

Race Career

2003	全日本カート選手権FSAクラスシリーズチャンピオン フォーミュラ・ドリーム(4戦3勝 年間最多勝) シリーズ5位
2004	F4西日本シリーズ チャンピオン 鈴鹿レーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F) 首席卒業 フォーミュラ・ドリーム(全戦優勝) シリーズチャンピオン
2005	全日本F3選手権参戦
2006	全日本F3選手権 シリーズ5位
2007	全日本F3選手権 シリーズ5位 F3マカオGP 2位
2008	F3ユーロシリーズ 7位
2009	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ7位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ4位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ2位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ12位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ15位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ12位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ15位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2009	No.10 HFDP RACING	7(20)	—
2010	No.10 HFDP RACING	9(9)	—
2011	No.41 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	4(26.5)	—
2012	No.41 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	2(43)	1
2013	No.10 HP REAL RACING	15(3)	—
2014	No.10 HP REAL RACING	11(8.5)	—
2015	No.10 REAL RACING	—(0)	—
2016	No.10 REAL RACING	11(11)	—
2017	No.10 REAL RACING	15(3)	—

carrozzeria Team KCMG



KCMGは全日本トップフォーミュラのみならず多角的にモータースポーツに取り組んできた陣営で、フォーミュラ・ニッポン～スーパーフォーミュラへの参戦は2010年から。手強い先輩チームたちを相手に1カーで奮闘してきたKCMGにとって、小林可夢偉という強力なドライバーを得た昨季は大きな転機となった。入賞常連となり、最高位は2位、優勝目前に迫った局面も。可夢偉の力が大きいのはもちろんだが、チームも階段をひとつ上がった印象だ。今季はcarrozzeriaがタイトルスポンサーとなり、可夢偉とチームの初優勝に向け、まさに機は熟した。

チーム名	carrozzeria Team KCMG カロツツェリア チーム ケーシーエムジー
監督	土居 隆二
会社名	株式会社ディーティーエム
所在地	〒410-1116 静岡県裾野市千福72-1 TEL:055-992-7000 FAX:055-922-7001
広報担当	石塚 麻依 ishizuka@dtm-racing.com
Website	http://www.kcmg.com.hk/
facebook	https://www.facebook.com/KCMGItld



チーム監督
土居 隆二



エンジニア
笠井 昭則

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2010	平中克幸	8位	7位 (2回)	12位 / 4ポイント	
2011	A.インベラトーリ	12位	7位	9位 / 2.5ポイント	
2012	折目 遼	16位	15位	— / 0ポイント	
2013	R.ブラッドレー	18位	13位	— / 0ポイント	
2014	中山雄一	11位	10位	— / 0ポイント	
2015	中山雄一	4位	6位	11位 / 1.5ポイント	
2016	中山雄一	7位	9位	— / 0ポイント	
2017	小林可夢偉	2位	2位	6位 / 16.5ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

18 小林 可夢偉

Kamui Kobayashi

KCMG Elyse SF14
TOYOTA R14A



- 生年月日 1986年9月13日
- 出身地 兵庫県
- 血液型 AB型
- Website <http://www.kamui-kobayashi.com/>

Race Career

2001	フォーミュラトヨタ・レーシングスクール(FTRS)受講 スカラシップ生に選出
2002	フォーミュラトヨタ参戦
2003	フォーミュラトヨタ シリーズ2位
2004	フォーミュラノイタリア選手権 シリーズ7位(2勝)
2005	フォーミュラノイタリア選手権 シリーズチャンピオン(6勝) フォーミュラノイタリア選手権 シリーズチャンピオン(5勝)
2006	F3ユーロシリーズ 8位 F3マカオGP-予選レース優勝・ポールポジション獲得
2007	F3ユーロシリーズ 4位(1勝) GP2アジアシリーズ6位(2勝:日本人初優勝) GP2シリーズ16位(1勝:日本人初優勝)
2008	F1世界選手権(バナソニック・トヨタ・レーシング)サードドライバー F1世界選手権(バナソニック・トヨタ・レーシング) シリーズ18位
2009	GP2アジア シリーズチャンピオン(2勝) GP2 シリーズ16位(3位 表彰台1回)
2010	F1世界選手権(BMWザウバーF1チーム) シリーズ12位
2011	F1世界選手権(ザウバーF1チーム) シリーズ12位
2012	F1世界選手権(ザウバーF1チーム) シリーズ12位
2013	FIA世界耐久選手権(LMGTE) シリーズ7位
2014	F1世界選手権(ケータハムF1チーム) シリーズ22位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ6位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ17位
2016	FIA世界耐久選手権 シリーズ3位(優勝1回) 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ7位
2017	FIA世界耐久選手権 シリーズ5位 SUPER GT(GT500クラス) スポット参戦(Rd.6) シリーズ17位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2015	No.8 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	6(20)	—
2016	No.8 SUNOCO Team LeMans	17(1)	—
2017	No.18 KCMG	7(16.5)	—

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL



元祖日本一速い男にして“闘将”の異名も有する星野一義が率いるチーム。2001～10年には、10シーズンでドライバーとチームの両タイトルを計7度ずつ獲得という圧倒的な強さを誇り、4冠王・本山哲もこのチームで3度の戴冠を果たした。近年は王座から遠ざかっているが、アグレッシブさを信条とする関口雄飛がルーキーイヤーの16年から2年連続で2勝、いずれのシーズンもチャンピオンを争う活躍を見せている。そして今季の関口の僚友は、スーパーフォーミュラ参戦は3年ぶりとなる若手気鋭の平川亮。攻撃的タッグが名門チームの復権を担う。

チーム名	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL イトウチュウエネクス チーム インバル
監督	星野 一義
会社名	有限会社ホシノレーシング
所在地	〒156-0054 東京都世田谷区桜丘5-32-3 TEL:03-3439-1122(代) FAX:03-3439-5522
広報担当	斉藤 暁一 saito@impul.co.jp 高橋 紳一郎 takahashi@teamimpul.com
Website	http://www.impul.co.jp/
facebook	https://www.facebook.com/IMPUL.official



チーム監督
星野 一義



19号車エンジニア
柏木 良仁



20号車エンジニア
中村 成人

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	鈴木利男／星野一義	PP(2回)	優勝	2位／38ポイント	
1997	黒澤琢弥／影山正彦	PP	優勝	2位／44ポイント	
1998	黒澤琢弥／影山正彦	PP	優勝(2回)	4位／27ポイント	
1999	影山正美／野田英樹	2位	優勝	3位／24ポイント	
2000	本山 哲	PP	優勝	3位／34ポイント	
2001	本山 哲／N.カーティケヤン	PP(3回)	優勝(4回)	2位／51ポイント	★
2002	本山 哲／M.クルム	PP	優勝(5回)	2位／60ポイント	
2003	本山 哲／B.トレレイエ	PP(5回)	優勝(6回)	1位／91ポイント	☆ ★
2004	B.トレレイエ／井出有治	PP(2回)	優勝(3回)	1位／62ポイント	☆ ★
2005	B.トレレイエ／井出有治／本山 哲	PP(5回)	優勝(6回)	1位／101ポイント	☆ ★
2006	B.トレレイエ／松田次生	PP(4回)	優勝(5回)	1位／88ポイント	☆ ★
	本山 哲／星野一樹	2位(4回)	3位(4回)	4位／16ポイント	
2007	B.トレレイエ／松田次生	PP(4回)	優勝	1位／91ポイント	☆ ★
	本山 哲／M.クルム	PP	優勝(3回)	3位／50ポイント	
2008	松田次生／B.トレレイエ	PP(5回)	優勝(4回)	1位／114.5ポイント	☆ ★
	平手晃平(Rd.7はR.ライアン)	4位(2回)	優勝	6位／42ポイント	
2009	松田次生／B.トレレイエ	PP	優勝	3位／50ポイント	
	平手晃平	PP	3位	4位／31ポイント	
2010	J.P.デ・オリベイラ／平手晃平	PP(2回)	優勝(3回)	1位／68ポイント	☆ ★
2011	J.P.デ・オリベイラ／平手晃平	PP(2回)	優勝	2位／41ポイント	
2012	J.P.デ・オリベイラ／松田次生	PP(3回)	優勝	3位／51.5ポイント	
2013	J.P.デ・オリベイラ／松田次生	2位(2回)	2位	3位／37.5ポイント	
2014	J.P.デ・オリベイラ／N.カーティケヤン	PP(2回)	優勝(3回)	4位／39.5ポイント	
2015	J.P.デ・オリベイラ／A.カルダレリ	PP	優勝	3位／37ポイント	
2016	J.P.デ・オリベイラ／関口雄飛	PP(2回)	優勝(3回)	3位／42ポイント	
2017	関口雄飛／J.マーデンポロー	PP(2回)	優勝(2回)	5位／27.5ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

19 関口 雄飛

Yuhi Sekiguchi

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1987年12月19日
- 出身地 東京都
- 血液型 AB型
- Website <http://yuhi-muteki.net/>

Race Career

2002	全日本カート選手権・ICAクラス シリーズチャンピオン
2004	フォーミュラ・トヨタ シリーズ3位
2005	フォーミュラ・トヨタ シリーズ5位
2006	フォーミュラ・トヨタ シリーズチャンピオン FCJ シリーズチャンピオン
2007	全日本F3選手権 シリーズ7位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ10位
2008	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ37位
2009	全日本F3選手権(Nクラス) シリーズ5位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ22位
2010	全日本F3選手権(Cクラス) シリーズ2位 SUPER GT (GT300クラス) シリーズ9位
2011	全日本F3選手権(Cクラス) シリーズチャンピオン SUPER GT (GT300クラス) シリーズ13位
2012	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ6位
2013	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ12位 インタープロトシリーズ シリーズ2位
2014	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位
2015	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ11位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ3位
2016	日本プロスポーツ大賞新人賞受賞 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ4位 全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ4位
2017	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ13位 インタープロトシリーズ シリーズチャンピオン

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2016	No.20 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	3 (28.5)	2
2017	No.19 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	4 (25)	2

20 平川 亮

Ryo Hirakawa

ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1994年3月7日
- 出身地 広島県
- 血液型 O型
- Twitter <https://twitter.com/ryohirakawa>

Race Career

2008	全日本ジュニアカート選手権 ジュニアクラス シリーズチャンピオン 全日本カート選手権 KF2クラスシリーズ フォーミュラトヨタ・レーシングスクール(FTRS)受講 フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ6位
2009	スーパーFJ 日本一決定戦優勝 JAF地方選手権スーパーFJ岡山シリーズチャンピオン フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位 F4 西日本シリーズチャンピオン
2012	全日本F3選手権Cクラス シリーズチャンピオン フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ2位 ボルシェカレラカップジャパン シリーズチャンピオン
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ11位 インタープロトシリーズ プロフェッショナルクラスチャンピオン
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) スポット参戦(Rd.2, 3) シリーズ20位 スーパー耐久(ST-1クラス) シリーズチャンピオン インタープロトシリーズ プロフェッショナルクラスチャンピオン
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位 インタープロトシリーズ プロフェッショナルクラスチャンピオン
2016	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位 ヨーロッパ・ルマンシリーズ(LMP2) シリーズ5位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズチャンピオン
2017	ヨーロッパ・ルマンシリーズ(LMP2) シリーズ4位 インタープロトシリーズ シリーズ8位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2013	No.7 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	11 (9)	—
2014	No.7 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	8 (16.5)	—
2015	No.7 KYGNUS SUNOCO Team LeMans	8 (13)	—

VANTELIN TEAM TOM'S



日本レース界を代表する強豪レーシングチーム。ただ、トップフォーミュラへの継続的フル参戦開始は比較的最近で、2006年のことだった。初年度から初優勝するなど、すぐに上位常連となり、11年には初のダブルタイトルに輝く。そこから15年までの5シーズンでドライバータイトル3回、チームタイトル4回を獲得し、一大王朝期を展開した。ここ2年は無冠に終わっているが、チームは高い競争力を維持し続けており、今季はこのチームで2度の王座獲得経験を誇る中嶋一貴に実力派ジェームス・ロシターを加えた布陣で奪冠に挑む。

チーム名	VANTELIN TEAM TOM'S バンテリン チームトムス
監督	舘 信秀
会社名	株式会社トムス
所在地	〒412-0017 静岡県御殿場市塚原149-6 テクニカルセンター(第1工場) TEL:0550-89-8347 FAX:0550-89-8349
広報担当	渡邊 一郎 i.watanabe@tomsracing.jp
Website	http://www.tomsracing.co.jp/
facebook	https://www.facebook.com/TOMSRacing.co.jp



チーム監督
舘 信秀



36号車エンジニア
小枝 正樹



37号車エンジニア
東條 力

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2006	A.ロッセラー／土屋武士	5位(2回)	優勝(2回)	2位／32ポイント	
2007	A.ロッセラー／荒 聖治	4位(2回)	優勝	4位／48ポイント	
2008	A.ロッセラー／荒 聖治	3位	優勝	3位／58ポイント	
2009	A.ロッセラー／大嶋和也	2位	優勝	2位／52ポイント	
2010	A.ロッセラー／大嶋和也	PP	優勝(2回)	2位／67ポイント	
2011	A.ロッセラー(Rd.2は井口卓人)／中嶋一貴	PP(2回)	優勝(6回)	1位／96ポイント	☆ ★
2012	A.ロッセラー／中嶋一貴	PP(2回)	優勝(4回)	2位／76.5ポイント	★
2013	中嶋一貴／A.ロッセラー(Rd.1,7はJ.ロシター)	PP(2回)	優勝(4回)	1位／58.5ポイント	☆
2014	A.ロッセラー(Rd.4はA.カルダレリ)／中嶋一貴	PP(4回)	優勝(4回)	1位／79.5ポイント	☆ ★
2015	中嶋一貴(Rd.2は大嶋和也)／A.ロッセラー	PP(2回)	優勝(4回)	1位／80.5ポイント	☆
2016	A.ロッセラー／中嶋一貴	PP	2位(5回)	2位／51ポイント	
2017	A.ロッセラー／中嶋一貴	PP(2回)	優勝(2回)	3位／41ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

36 中嶋 一貴

Kazuki Nakajima

VANTELIN KOWA TOM'S SF14
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1985年1月11日
- 出身地 愛知県
- 血液型 A型
- Website <http://www.kazuki-nakajima.com/>

Race Career

2001	全日本カート選手権FAクラス シリーズ7位
2002	全日本カート選手権FAクラス シリーズ3位
2003	フォーミュラヨタ シリーズチャンピオン(3勝)
2004	全日本F3選手権 シリーズ5位(2勝)
2005	全日本F3選手権 シリーズ2位
2006	SUPER GT (GT300クラス) シリーズ8位
2007	ユーロF3シリーズ 7位(1勝)
2007	GP2シリーズ(フランスDAMS) シリーズ5位
2008	AT&Tウィリアムズテストドライバー / F1世界選手権最終戦ブラジルGP出場
2008	F1世界選手権(AT&Tウィリアムズ) シリーズ15位
2009	F1世界選手権(AT&Tウィリアムズ) シリーズ20位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ2位 ルーキー・オブ・ザ・イヤー獲得
2011	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズチャンピオン
2012	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位
2012	FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ13位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ4位
2013	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2013	FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ12位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズチャンピオン
2014	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2014	FIA世界耐久選手権(LMP1) シリーズ8位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ2位
2015	FIA世界耐久選手権 シリーズ7位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ6位
2016	FIA世界耐久選手権 シリーズ8位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ5位
2017	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ6位
2017	FIA世界耐久選手権 シリーズ2位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2011	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	2(42)	1
2012	No.2 PETRONAS TEAM TOM'S	1(46)	2
2013	No.1 PETRONAS TEAM TOM'S	4(24)	2
2014	No.37 PETRONAS TEAM TOM'S	1(46)	2
2015	No.1 PETRONAS TEAM TOM'S	2(45.5)	1
2016	No.37 VANTELIN TEAM TOM'S	6(22)	—
2017	No.37 VANTELIN TEAM TOM'S	5(22)	1

37 ジェームス・ロシター

James Rossiter

VANTELIN KOWA TOM'S SF14
TOYOTA RI4A



- 生年月日 1983年8月25日
- 出身地 イギリス
- 血液型 B型
- Website <https://www.rossiterracing.com>

Race Career

2003	英国フォーミュラ・ルノーシリーズ3位
2004	英国F3選手権シリーズ3位
2004	BARホンダF1育成ドライバー
2005	ユーロF3選手権シリーズ6位
2005	BARホンダF1育成ドライバー
2006	ワールドシリーズ・フォーミュラルノー シリーズ13位
2006	ホンダレーシングF1チーム開発&テストドライバー
2007	ホンダレーシングF1チーム開発&テストドライバー
2007	スーパーアグリ F1チームテスト&リザーブドライバー
2008	ホンダレーシングF1チーム開発&テストドライバー
2008	アメリカン・ル・マン・シリーズ 1勝(1PP)
2008	ロータス・開発&テストワークスドライバー
2011	ル・マン・シリーズ51位
2011	ル・マン 24時間レース 22位
2012	フォースインディアF1チーム 開発&テストドライバー
2012	FIA世界耐久選手権シリーズ44位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ スポット参戦(Rd.1、7) シリーズ16位
2013	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2013	FIA世界耐久選手権シリーズ39位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ6位
2014	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2014	FIA世界耐久選手権シリーズ25位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ12位
2015	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ10位
2016	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2016	SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2017	FIA世界耐久選手権 シリーズ29位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2013	No.2 PETRONAS TEAM TOM'S	16(2.5)	—
2014	No.3 KONDO RACING	6(22)	—
2015	No.3 KONDO RACING	12(5)	—
2016	No.3 KONDO RACING	10(12)	—

B-Max Racing team



全日本F3選手権やSUPER GTでも活躍しているB-Max Racing teamは、F3ドライバーの“DRAGON”こと組田龍司が率いる陣営。スーパーフォーミュラには昨季から挑戦を開始し、今季はドライバーにSUPER GTでもおなじみの実力派、スーパーフォーミュラではルーキーとなる千代勝正を起用して戦う。そして新監督として千代をサポートするのは、スーパーフォーミュラの前身であるフォーミュラ・ニッポンで4度のタイトル獲得を誇る本山哲。千代の走りともども、本山監督の采配も大きな話題となるだろう。まずはチーム初ポイント獲得が今季最初の目標だ。

チーム名	B-MAX Racing team ビーマックス・レーシング・チーム
監督	組田 龍司
会社名	B-MAX RACING 株式会社
所在地	〒252-1107 神奈川県綾瀬市深谷中8-8-2 TEL:0467-39-5960 FAX:0467-39-5940
問い合わせ窓口	吉岡 友紀 y-yoshioka@b-maxracing.co.jp
Website	http://www.b-maxracingteam.com



チーム監督
本山 哲



50号車エンジニア
吉田 正幸

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
2017	小暮卓史	11位	12位	—/0ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

50 千代 勝正

Katsumasa Chiyo

B-Max Racing SF14
Honda HR-417E



- 生年月日 1996年12月9日
- 出身地 東京都
- 血液型 A型
- Website <http://chiyo-katsumasa.com>

Race Career

2005	Japan Open Master RSOクラス シリーズ2位
2006	全日本カート選手権 FAクラス シリーズ9位
	NDDP (Nissan Drivers Development Program) のオーディションに参加。スカラシップを獲得
2007	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ15位
2008	フォーミュラチャレンジ・ジャパン シリーズ3位
2009	全日本F3選手権Nクラス シリーズ6位
2010	全日本F3選手権Nクラス シリーズ3位
2011	全日本F3選手権Nクラス シリーズチャンピオン
2012	SUPER GT 300 シリーズ4位
	SUPER GT 300 シリーズ18位
2013	全日本F3選手権Cクラス シリーズ3位
	スーパー耐久 GT3クラス スポット参戦 (Rd.1,3,4)
	マレーシア12時間レース 6位
	ブランパン・エンデュランスシリーズ プロ・アマカップ シリーズ11位
2014	GTアジアシリーズ スポット参戦 (Rd.3)
	ニュルブルクリンク24時間出場
	パサースト12時間(臺州) 出場
2015	SUPER GT 300 シリーズ2位(チームチャンピオン)
	ブランパン・エンデュランスシリーズ プロカップチャンピオン
2016	パサースト12時間 総合優勝
	SUPER GT GT500 シリーズ12位
2017	全日本F3選手権 Cクラス シリーズ6位
	パサースト12時間 総合2位
2017	SUPER GT GT500 シリーズ11位
	ブランパンGTシリーズ エンデュランスカップ シリーズ20位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win

TCS NAKAJIMA RACING



日本人初のF1フルタイムドライバーとして広く知られる英雄・中嶋悟が率いるチームで、フォーミュラ・ニッポン時代には4度のダブルタイトル獲得歴を誇る名門だ。高木虎之介や小暮卓史といったスターを輩出してきた歴史も有する。2010年開幕戦を最後に優勝がないが、チームはエンジニアリングスタッフ強化策を講じたりしながら、名門復活を目指し進んでいる最中。今季はホンダの中軸ドライバーのひとりである伊沢拓也が加入し、在籍2年目の元F1ドライバー、ナレイン・カーティケヤンとのコンビで臨戦する。大きく前進したいところだ。

チーム名	TCS NAKAJIMA RACING ティーシーエス・ナカジマレーシング
監督	中嶋 悟
会社名	有限会社中嶋企画
所在地	東京都渋谷区渋谷3-5-1 渋谷グランドハイツ1104号 TEL:03-3486-4258 FAX:03-3486-4259
広報担当	山田 美紀 yamada@nakajim racing.co.jp
Website	http://www.nakajim racing.co.jp/
facebook	https://www.facebook.com/nakajim racing



チーム監督
中嶋 悟



64号車エンジニア
加藤 祐樹



65号車エンジニア
岡田 淳

Series Records [1996-2012: Formula NIPPON / 2013-: SUPER FORMULA]

シーズン	ドライバー	予選最高位	決勝最高位	ランキング	タイトル
1996	高木虎之介 / 黒澤琢弥	PP(4回)	優勝(2回)	3位 / 35ポイント	
1997	高木虎之介 / 山西康司	PP(3回)	優勝	4位 / 20ポイント	
1998	山西康司 / T.コロネル	2位	4位	8位 / 10ポイント	
1999	T.コロネル / 光貞秀俊	PP(5回)	優勝(5回)	1位 / 81ポイント	☆ ★
2000	高木虎之介 / 松田次生	PP(6回)	優勝(9回)	1位 / 113ポイント	☆ ★
2001	松田次生 / R.ファーマン	PP(2回)	優勝(2回)	4位 / 37ポイント	
2002	R.ファーマン / 松田次生	PP(2回)	優勝(4回)	1位 / 81ポイント	☆ ★
2003	小暮卓史 / A.ロッテラー	PP	2位(3回)	3位 / 33ポイント	
2004	A.ロッテラー / 小暮卓史	2位	優勝(3回)	2位 / 50ポイント	
2005	A.ロッテラー / 小暮卓史	PP	優勝(2回)	3位 / 35ポイント	
2006	L.デュバル / 武藤英紀	4位	優勝(2回)	3位 / 26ポイント	
2007	L.デュバル / 小暮卓史	PP(4回)	優勝(3回)	2位 / 72ポイント	
2008	L.デュバル / 小暮卓史	2位(2回)	優勝(2回)	2位 / 103ポイント	
2009	L.デュバル / 小暮卓史	PP(5回)	優勝(6回)	1位 / 93ポイント	☆ ★
2010	山本尚貴 / 小暮卓史	PP(2回)	優勝(1回)	3位 / 56.5ポイント	
2011	中嶋大祐 / 小暮卓史	2位	2位	5位 / 18.5ポイント	
2012	中嶋大祐 / 小暮卓史	5位	4位	7位 / 4ポイント	
2013	中嶋大祐 / 小暮卓史	2位(2回)	2位(2回)	5位 / 21ポイント	
2014	中嶋大祐 / 小暮卓史	10位	5位	9位 / 4ポイント	
2015	中嶋大祐 / B.バゲット	3位	5位	7位 / 7ポイント	
2016	中嶋大祐 / B.バゲット	4位(2回)	2位	5位 / 15ポイント	
2017	中嶋大祐 / N.カーティケヤン	4位	7位	10位 / 2ポイント	

☆:チームタイトル ★:ドライバータイトル

64 ナレイン・カーティケヤン

Narain Karthikeyan

TCS NAKAJIMA RACING SF14
Honda HR-417E



- 生年月日 1977年1月14日
- 出身地 インド
- 血液型 A型
- Website <https://twitter.com/narainracing/>

Race Career

1998	イギリスF3選手権 シリーズ12位
1999	イギリスF3選手権 シリーズ6位
2000	イギリスF3選手権 シリーズ4位
2001	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ14位
2002	ワールドシリーズ・バイ・ニッサン シリーズ9位
2003	ワールドシリーズ・バイ・ニッサン シリーズ4位
2004	ワールドシリーズ・バイ・ニッサン シリーズ6位
2005	F1世界選手権(Jordan Grand Prix) シリーズ18位
2006	A1GP(チーム インド) シリーズ19位
2007	A1GP(チーム インド) シリーズ10位
2008	A1GP(チーム インド) シリーズ12位
2010	スーパーリーグ フォーミュラ(PSV Eindhoven) シリーズ16位
2011	F1世界選手権(HRT F1 Team) シリーズ26位
2012	F1世界選手権(HRT F1 Team) シリーズ24位
2013	AUTO GP シリーズ4位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ13位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ11位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ14位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2001	No.20 excite TEAM IMPUL	14(2)	—
2014	No.20 Lenovo TEAM IMPUL	13(5)	—
2015	No.41 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	11(6)	—
2016	No.7 SUNOCO Team LeMans	14(5)	—
2017	No.65 TCS NAKAJIMA RACING	—(0)	—

65 伊沢 拓也

Takuya Izawa

DOCOMO DANDELION M41Y SF14
Honda HR-417E



- 生年月日 1984年6月1日
- 出身地 東京都
- 血液型 B型
- Website <http://www.takuya-izawa.com/>

Race Career

2002	鈴鹿レーシングスクール・フォーミュラ(SRS-F) 首席卒業
2003	フォーミュラノードイツシリーズ7位 フォーミュラドリムシリーズ3位
2004	フォーミュラノードイツ選手権スポット参戦9位 フォーミュラドリムシリーズ4位
2005	全日本F3選手権 シリーズ6位 スーパー耐久十勝24時間レースST-4クラス優勝 全日本F3選手権 シリーズ6位
2007	F3マカオGP 16位 スーパー耐久十勝24時間レースST-4クラス優勝
2008	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ10位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位
2009	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ8位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ2位
2010	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ11位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ8位
2011	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ9位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ9位
2012	全日本選手権フォーミュラ・ニッポン シリーズ3位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ5位
2013	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ7位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ10位 GP2 シリーズ18位
2014	全日本選手権スーパーフォーミュラ スポット参戦(Rd.6~) SUPER GT (GT500クラス) スポット参戦(Rd.8) シリーズ18位
2015	全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ13位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ3位
2016	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ16位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ14位
2017	全日本スーパーフォーミュラ選手権 シリーズ13位 SUPER GT (GT500クラス) シリーズ7位

SUPER FORMULA / FORMULA NIPPON Series

Year	Team	Rank (Pts)	Win
2008	No.56 AUTOBACS RACING TEAM AGURI	10(19)	—
2009	No.41 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	8(14)	—
2010	No.2 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	11(7)	—
2011	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	9(11)	—
2012	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	3(41.5)	2
2013	No.40 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	7(15)	1
2014	No.34 DRAGO CORSE	—(0)	—
2015	No.11 REAL RACING	13(4.5)	—
2016	No.10 REAL RACING	16(3.5)	—
2017	No.41 DOCOMO TEAM DANDELION RACING	13(5)	—

鈴鹿サーキット

SUZUKA CIRCUIT

第1戦 4月21日(土)・22(日) / 第7戦 10月27日(土)・28日(日)

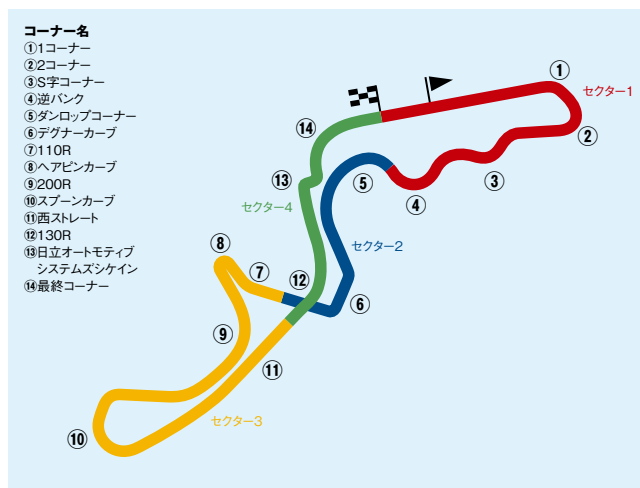
1962年、日本初の本格的サーキットとして誕生。世界的にも珍しい立体交差のある8の字型のレイアウトで低速から高速コーナーまでバランスよく配置されている。1987年にF1日本グランプリを開催してから海外でも広く知られるようになり、リズムカルでチャレンジングなレイアウトは世界でもベストコースのひとつと評価する関係者も多い。



アクセス

- 〔クルマ〕** 東名阪自動車道・鈴鹿ICより。東名阪自動車道・亀山ICより。
- 〔電車〕** 近鉄・白子駅よりバス20分、タクシー15分。近鉄・平田町駅よりタクシー15分。伊勢鉄道・鈴鹿サーキット稲生駅より徒歩30分。

株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット
〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992
TEL:059-378-1111 FAX:059-378-9181 <http://www.suzukacircuit.jp>



コースデータ

全長	5.807km
コース幅	10~16m
ストレート長	800m(メインストレート) 1000m(西ストレート)
コーナー数	18

コースレコード

SF	1'35.907	2017年4月22日(土)
中嶋一貴 / VANTELIN KOWA TOM'S SF14・TOYOTA R14A 2017年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦 鈴鹿サーキット SUZUKA 2&4 RACE		
F1	1'27.319	2017年10月7日(土)
ルイス・ハミルトン / メルセデスAMG M08 2017年 F1日本グランプリ 鈴鹿		
F3	1'50.999	2017年4月22日(土)
高星明誠 / ダラーラF312・トヨタ 2017年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第1戦 鈴鹿サーキット SUZUKA 2&4 RACE		

オートポリス

AUTOPOLIS

第2戦 5月12日(土)・13日(日)

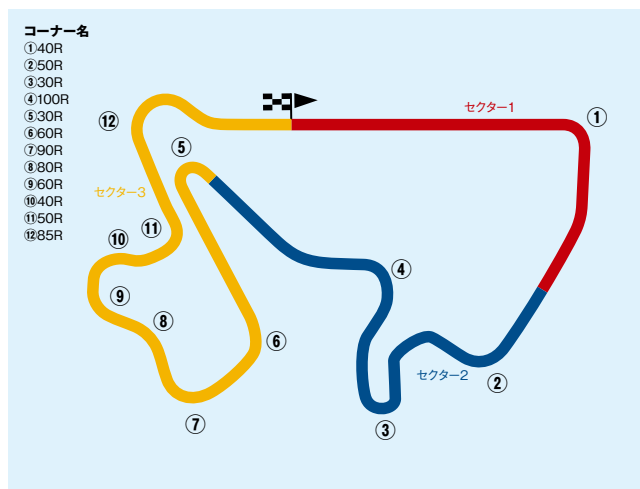
かつてスポーツカー世界選手権 (SWC) も開催された九州で初めての本格的国際格式のサーキット。阿蘇山の近くに位置し、アップダウンに富んだレイアウトが特徴で高低差は50mにも及ぶ。メインストレートは900mと長めだが、コース後半の下り坂からの右コーナーをはじめ、全体的にテクニカル&チャレンジングなコースといえる。



アクセス

- 〔クルマ〕** 大分自動車道・日田ICより70分。大分自動車道・湯布院ICより70分。福岡自動車道・福岡ICより140分。熊本市内より70分。
- 〔飛行機〕** 熊本空港より車で40分。

株式会社オートポリス
〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田1112-8
TEL:0973-55-1111 FAX:0973-55-1113 <http://www.autopolis.jp>



コースデータ

全長	4.674km
コース幅	12~15m
ストレート長	902m(メインストレート)
高低差	52m

コースレコード

SF	1'26.196	2017年9月9日(土)
野尻智紀 / DOCOMO DANDELION M40S SF14・Honda HR-417E 2017年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦 AUTOPOLIS SUPER 2&4 RACE		
グループC	1'27.188	1991年10月26日(土)
テオ・ファビ / ジャガー-XJR-14 1991年 スポーツカー世界選手権第8戦		
F3	1'37.412	2017年9月9日(土)
坪井翔 / ダラーラF317・トヨタ 2017年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第5戦 AUTOPOLIS SUPER 2&4 RACE		

スポーツランドSUGO

SPORTSLAND SUGO

第3戦 5月26日(土)・27日(日)

宮城県仙台郊外の山間にあり、地形を活かした高低差の大きなコース。最終コーナーからメインストレートにかけて10%という急勾配をマシンが駆け上ってくる姿はこのサーキットの特徴的なシーンとして知られる。前半はコーナーが連続するテクニカルなセクターで、後半は中高速のパートとなっている。

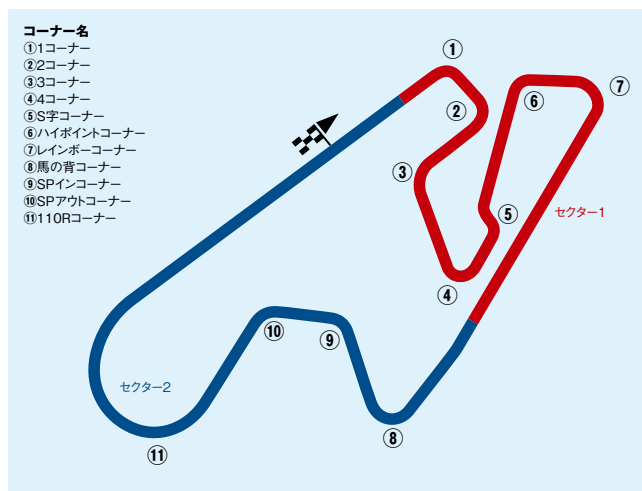


アクセス

- 〔クルマ〕 東北自動車道・村田ICより10分。仙台ICより15分。
- 〔電車〕 東北新幹線・JR仙台駅よりバス60分。
- 〔飛行機〕 仙台空港より車で40分。

株式会社菅生

〒989-1301 宮城県柴田郡村田町菅生6-1
TEL:0224-83-3111 FAX:0224-83-3790 <http://www.sportsland-sugo.co.jp>



コースデータ

全長	3.704km
コース幅	10~12.5m
ストレート	704m
高低差	69.83m

コースレコード

SF	1'04.910	2017年9月23日(土)
ニック・キャッシュディ / FUJI Xraffinee KONDO SF14・TOYOTA R14A 2017年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦		
F3	1'12.588	2017年9月23日(土)
大津弘樹 / ダラーラF316・TODA 2017年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦		

富士スピードウェイ

FUJI SPEEDWAY

第4戦 7月7日(土)・8日(日)

西の鈴鹿、東の富士と日本を代表する2大サーキットのひとつ。歴史も長く、日本のモータースポーツを育て、支えてきただけでなく、F1や世界耐久選手権などビッグイベントも開催してきた。約1.5kmにおよぶ世界屈指の長いストレートを持ち、高速コースとして知られたが、2005年に改修されコース後半はテクニカルなレイアウトとなった。

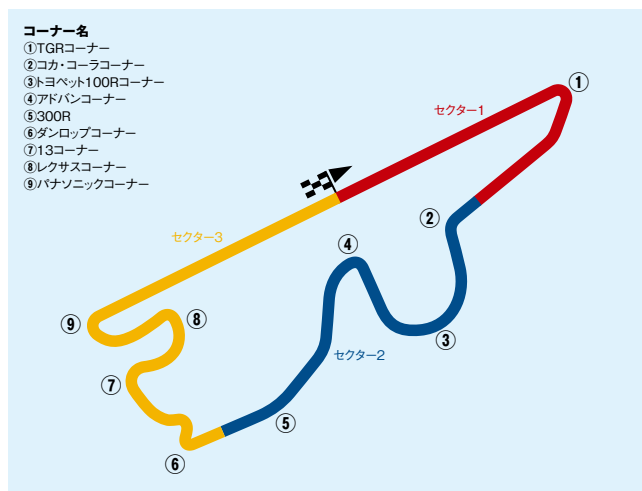


アクセス

- 〔クルマ〕 東名高速道路・御殿場ICより15分。
中央高速道路・河口湖IC~富士五湖道路・須走ICより10分。
- 〔電車〕 JR御殿場線 / 小田急・御殿場駅よりバス25分。

富士スピードウェイ株式会社

〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向694
TEL:0550-78-1234 FAX:0550-78-0205 <http://www.fsw.tv>



コースデータ

全長	4.563km
コース幅	15~25m
ストレート長	1,475m(メインストレート)
コーナー数	16

コースレコード

SF	1'22.572	2014年5月17日(土)
アンドレ・ロッター / ペトロナストムスSF14・トヨタR14A 2014年 全日本選手権スーパーフォーミュラ第2戦		
F1	1'17.287	2008年10月11日(土)
フェリペ・マッサ / フェラーリF2008 2008年 F1世界選手権 フジテレビジョン 日本グランプリレース		
F3	1'33.451	2009年4月4日(土)
井口卓人 / ダラーラF308 2009年 全日本選手権フォーミュラニッポン第1戦		

ツインリンクもてぎ

TWINRING MOTEGI

第5戦 8月18日(土)・19日(日)

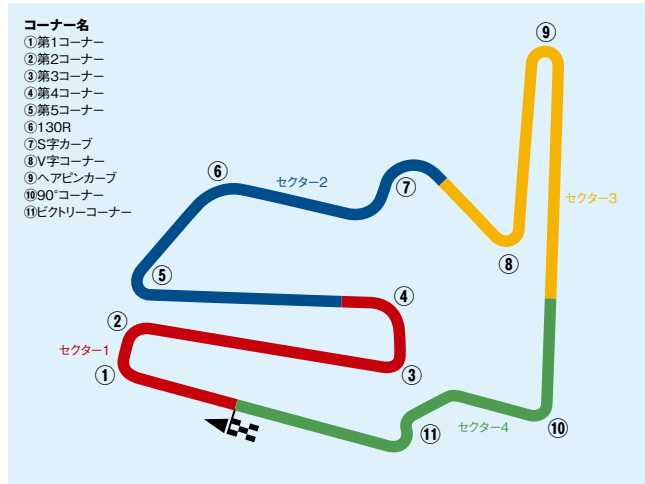
通常のロードコースと日本唯一のオーバル(楕円)コースと、ふたつの異なるタイプを持つ世界的にもまれなサーキット。スーパーフォーミュラで使うロードコースは比較的急なカーブと直線を結んだストップ(減速)&ゴー(加速)の多いレイアウトとなっている。そのため、ブレーキやタイヤの摩耗が厳しい。



アクセス

- 〔クルマ〕** 北関東自動車道・真岡IC、友部ICより。常磐自動車道・水戸IC、那珂IC、水戸北スマートICより。東北自動車道・宇都宮ICより。
- 〔電車〕** 真岡鉄道・茂木駅よりバス20分。東北新幹線・JR宇都宮駅よりバス90分。常磐線・JR水戸駅よりバス90分。

株式会社モビリティランド ツインリンクもてぎ
〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1
TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009 <http://www.twinring.jp>



コースデータ

全長	4.801km
コース幅	14
ストレート長	762m(ダウンヒルストレート)
高低差	30.4m
コーナー数	14

コースレコード

SF	1'31.888	2017年8月20日(土)
野尻智紀 / DOCOMO DANDELION M40S SF14・Honda HR-417E 2017年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦 ツインリンクもてぎ2&4レース		
F3	1'44.078	2013年5月11日(土)
中山雄一 / ダラーラF312 2013年 全日本F3選手権第4戦		

岡山国際サーキット

OKAYAMA INTERNATIONAL CIRCUIT

第6戦 9月8日(土)・9日(日)

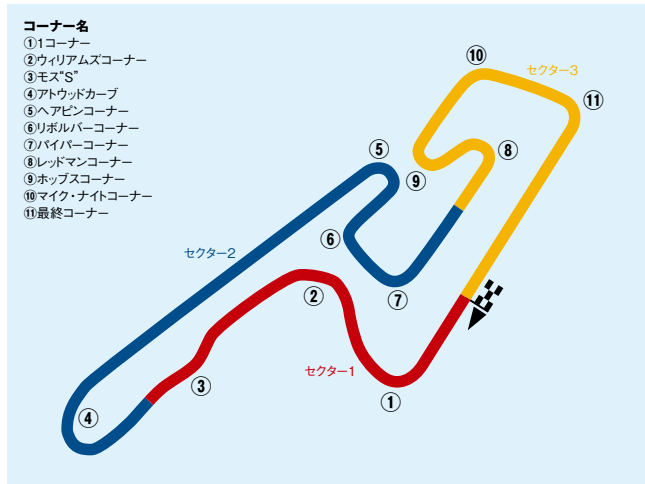
現在、中国地方で唯一のビッグレース開催サーキット。1994、95年にはF1を開催したこともある。コース長は3.7kmで、中低速コーナーの多いこぢんまりとしたテクニカルなレイアウトで観客席との距離が近い。各コーナーは往年のドライバーの名がつけられているのも特徴。一昨年より、2008年以来7年ぶりにスーパーフォーミュラが開催されるようになった。



アクセス

- 〔クルマ〕** 山陽自動車道・備前IC / 和気ICより30分。中国自動車道・美作ICより30分、作東ICより20分
- 〔電車〕** 山陽新幹線・JR岡山駅よりバス+タクシーで80分。山陽本線JR吉永駅より車で20分。
- 〔飛行機〕** 岡山空港より車で60分。

株式会社岡山国際サーキット
〒701-2612 岡山県美作市滝宮1210
TEL:0868-74-3311 FAX:0868-74-2600 <http://www.okayama-international-circuit.jp>



コースデータ

全長	3.703km
コース幅	12~15m
ストレート長	600m(メインストレート) 700m(バックストレート)
高低差	29m
コーナー数	13

コースレコード

SF	1'12.429	2015年5月23日(土)
石浦宏明 / P.MU/CERUMO・INGING DF14・トヨタRI4A 2015年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第2戦		
F1	1'10.218	1994年4月15日(金)
アイルトン・セナ / ウィリアムズFW16・ルノー 1994年 F1世界選手権第2戦 バジフィックGP		
F3	1'20.990	2016年5月28日(土)
ヤン・マーデンポロー / ダラーラF314・フォルクスワーゲン 2016年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第2戦		

2017 SUPER FORMULA RACE RESULT

第1戦 鈴鹿サーキット 2017年4月23日 5.807km×35周=203.25km 天候:晴れ コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	35	1:03:18.440	192.63km/h	1:40.713	1	1'35.907
2	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	35	1:03:23.526	5.086	1:40.796	3	1'36.004
3	1	国本 雄貴	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	35	1:03:27.263	8.823	1:41.407	2	1'35.997
4	2	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	35	1:03:27.848	9.408	1:41.408	4	1'36.018
5	36	アンドレ・ロッター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	35	1:03:29.240	10.800	1:41.637	7	1'36.626
6	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-417E	35	1:03:29.706	11.266	1:40.404	5	1'36.379
7	64	中嶋 大祐	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	35	1:03:35.347	16.907	1:41.203	9	1'36.801
8	41	伊沢 拓也	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-417E	35	1:03:36.747	18.307	1:41.587	10	1'36.815
9	18	小林 可夢偉	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	35	1:03:37.390	18.950	1:41.074	18	1'38.075
10	15	ヒュール・ガスリー	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	35	1:03:40.001	21.561	1:41.873	15	1'36.930
11	7	フェリックス・ローゼンクヴィスト	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	35	1:03:40.555	22.115	1:41.594	8	1'36.610
12	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	35	1:03:42.131	23.691	1:42.265	6	1'37.590
13	65	ナレイン・カーティケヤン	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	35	1:03:42.644	24.204	1:42.212	11	1'36.888
14	4	山下 健太	FUJIXRaffinee KONDO SF14	TOYOTA R14A	35	1:03:43.333	24.893	1:41.963	17	1'37.714
15	50	小暮 卓史	B-Max Racing team SF14	Honda HR-417E	35	1:03:46.838	28.388	1:42.436	19	1'38.306
16	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40S SF14	Honda HR-417E	35	1:03:54.729	36.289	1:42.074	16	1'37.687
17	3	ニック・キャンディ	FUJIXRaffinee KONDO SF14	TOYOTA R14A	34	1:03:48.843	1Lap	1:40.509	14	1'37.139
18	20	ヤン・マーデンポロー	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	31	56:48.676	4Laps	1:41.865	12	1'36.955
19	8	大嶋 和也	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	21	35:56.948	14Laps	1:41.799	13	1'36.964

●ファステストラップ:1'40.404(208.21km/h) No.10 塚越広大 REAL SF14 3周目 ●ポールポジション:1'35.907 No.37 中嶋一貴 VANTELIN KOWA TOM'S SF14
*SC導入:14:21(22Laps)~14:32(26Laps)

第2戦 岡山国際サーキット Race1 5月27日 3.703km×30周=111.090km 天候:曇り コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	36	アンドレ・ロッター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	30	37:58.782	175.499km/h	1:15.233	2	1:13.943
2	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	30	38:00.730	1.948	1:15.307	1	1:13.387
3	3	ニック・キャンディ	FUJIXRaffinee KONDO SF14F	TOYOTA R14A	30	38:06.568	7.786	1:15.298	3	1:14.042
4	18	小林 可夢偉	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	30	38:10.340	11.558	1:15.258	7	1:14.258
5	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	30	38:13.701	14.919	1:15.689	9	1:14.293
6	20	ヤン・マーデンポロー	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	30	38:14.274	15.492	1:15.463	5	1:14.194
7	4	山下 健太	FUJIXRaffinee KONDO SF14	TOYOTA R14A	30	38:16.278	17.496	1:15.467	8	1:14.277
8	2	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	30	38:17.534	18.752	1:15.620	4	1:14.117
9	37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	30	38:24.151	25.369	1:15.845	11	1:14.335
10	1	国本 雄貴	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	30	38:27.747	28.965	1:15.439	10	1:14.313
11	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-417E	30	38:29.911	31.129	1:16.031	12	1:14.387
12	7	フェリックス・ローゼンクヴィスト	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	30	38:31.649	32.867	1:15.072	14	1:14.434
13	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40S SF14	Honda HR-417E	30	38:36.189	37.407	1:16.184	6	1:14.235
14	41	伊沢 拓也	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-417E	30	38:36.805	38.023	1:15.912	15	1:14.451
15	8	大嶋 和也	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	30	38:38.846	40.064	1:16.046	17	1:14.839
16	64	中嶋 大祐	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	30	38:42.896	44.114	1:15.859	19	1:20.662
17	65	ナレイン・カーティケヤン	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	30	38:44.453	45.671	1:15.330	16	1:14.758
18	50	小暮 卓史	B-Max Racing team SF14	Honda HR-417E	29	38:48.525	1 Lap	1:15.727	17	1:14.889
19	15	ヒュール・ガスリー	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	29	38:54.342	1 Lap	1:15.374	18	1:14.424

●ファステストラップ:1'15.072(177.574km/h) No.7 フェリックス・ローゼンクヴィスト SUNOCO TEAM LEMANS SF14 30周目 ●ポールポジション:1'13.387 No.19 関口雄飛 ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14

第2戦 岡山国際サーキット Race2 5月28日 3.703km×51周=188.853km 天候:晴れ コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	51	1:09:02.975	164.102km/h	1:16.142	3	1:14.134
2	2	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	51	1:09:03.383	0.408	1:15.772	1	1:13.918
3	36	アンドレ・ロッター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	51	1:09:05.561	2.586	1:16.076	4	1:14.536
4	7	フェリックス・ローゼンクヴィスト	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	51	1:09:06.227	3.252	1:16.104	15	1:14.959
5	18	小林 可夢偉	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	51	1:09:08.897	5.922	1:15.631	6	1:14.583
6	4	山下 健太	FUJIXRaffinee KONDO SF14	TOYOTA R14A	51	1:09:11.009	8.034	1:16.380	2	1:14.104
7	15	ヒュール・ガスリー	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	51	1:09:13.208	10.233	1:16.191	5	1:14.566
8	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	51	1:09:17.262	14.287	1:16.968	19	1:15.309
9	1	国本 雄貴	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	51	1:09:20.062	17.087	1:16.801	13	1:14.907
10	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40S SF14	Honda HR-417E	51	1:09:20.707	17.732	1:17.108	11	1:14.779
11	3	ニック・キャンディ	FUJIXRaffinee KONDO SF14	TOYOTA R14A	51	1:09:21.592	18.617	1:16.694	17	1:15.204
12	8	大嶋 和也	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	51	1:09:22.055	19.080	1:17.003	8	1:14.585
13	65	ナレイン・カーティケヤン	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	51	1:09:22.545	19.570	1:16.527	14	1:14.955
14	64	中嶋 大祐	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	51	1:09:23.375	20.400	1:17.337	10	1:15.431
15	50	小暮 卓史	B-Max Racing team SF14	Honda HR-417E	51	1:09:24.064	21.089	1:17.417	18	1:15.215
16	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-417E	51	1:09:24.533	21.558	1:17.390	12	1:14.858
17	20	ヤン・マーデンポロー	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	51	1:09:25.167	22.192	1:17.359	16	1:14.964
18	37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	51	1:09:26.099	23.124	1:17.214	9	1:14.596
19	41	伊沢 拓也	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-417E	37	48:24.087	14 Laps	1:16.954	7	1:14.584

●ファステストラップ:1'15.631(176.261km/h) No.18 小林可夢偉 KCMG Elyse SF14 51周目 ●ポールポジション:1'13.918 No.2 石浦宏明 P.MU/CERUMO・INGING SF14
*SC導入:39Laps~42Laps

第3戦 富士スピードウェイ 7月9日 4.563km×55周=250.965km 天候:晴れ コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	2	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	55	1:20:09.046	187.642km/h	1:25.663	2	1:23.107
2	7	フェリックス・ローゼンクヴィスト	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	55	1:20:16.315	7.269	1:25.581	10	1:24.093
3	36	アンドレ・ロッター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	55	1:20:31.888	22.842	1:26.156	12	1:24.202
4	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	55	1:20:50.832	41.786	1:26.625	3	1:23.193
5	15	ヒュール・ガスリー	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	55	1:20:50.867	41.821	1:26.252	8	1:23.902
6	41	伊沢 拓也	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-417E	55	1:20:52.430	43.384	1:26.481	13	1:24.308
7	37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	55	1:20:53.113	44.067	1:26.737	4	1:23.265
8	20	ヤン・マーデンポロー	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	55	1:20:53.407	44.361	1:26.552	9	1:24.081
9	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-417E	55	1:20:53.956	44.910	1:26.790	17	1:24.802
10	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40S SF14	Honda HR-417E	55	1:20:55.238	46.192	1:26.843	11	1:24.173
11	64	中嶋 大祐	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	55	1:21:12.893	1:03.847	1:26.949	15	1:24.612
12	8	大嶋 和也	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	55	1:21:13.595	1:04.549	1:26.735	19	1:24.855
13	50	小暮 卓史	B-Max Racing team SF14	Honda HR-417E	55	1:21:15.563	1:06.517	1:26.755	18	1:24.821
14	65	ナレイン・カーティケヤン	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	55	1:21:23.551	1:14.505	1:26.824	16	1:24.781
15	18	小林 可夢偉	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	55	1:21:30.220	1:21.174	1:26.308	14	1:27.969
16	4	山下 健太	FUJIXRaffinee KONDO SF14	TOYOTA R14A	46	1:08:46.143	9 Laps	1:26.669	6	1:23.516
17	1	国本 雄貴	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	36	56:07.889	19 Laps	1:26.093	1	1:23.044
18	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	25	38:52.625	30 Laps	1:26.455	5	1:23.478
19	3	ニック・キャンディ	FUJIXRaffinee KONDO SF14	TOYOTA R14A	1	1:35.160	54 Laps	1:27.785	7	1:23.785

●ファステストラップ:1'25.581(191.944km/h) No.7 フェリックス・ローゼンクヴィスト SUNOCO TEAM LEMANS SF14 46周目 ●ポールポジション:1'23.044 No.1 国本雄貴 P.MU/CERUMO・INGING SF14

第4戦 ツインリンクもてぎ 8月20日 4.801km×52周=249.652km 天候:曇り コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	15	ヒュール・ガスリー	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	52	1:24:26.817	177.39km/h	1:35.147	4	1:32.129
2	18	小林 可夢偉	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	52	1:24:45.400	18.583	1:34.688	2	1:32.105
3	7	フェリックス・ローゼンクヴィスト	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	52	1:24:46.324	19.507	1:35.660	6	1:32.264
4	2	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	52	1:24:47.012	20.195	1:34.439	17	1:45.272
5	3	ニック・キャンディ	FUJIXRaffinee KONDO SF14	TOYOTA R14A	52	1:24:52.906	26.089	1:34.871	5	1:32.171
6	4	山下 健太	FUJIXRaffinee KONDO SF14	TOYOTA R14A	52	1:25:06.156	39.339	1:35.637	1	1:32.030
7	36	アンドレ・ロッター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	52	1:25:07.715	40.898	1:35.480	14	1:46.235
8	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40S SF14	Honda HR-417E	52	1:25:13.921	47.104	1:35.689	3	1:32.112
9	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-417E	52	1:25:16.507	49.690	1:34.259	15	1:44.209
10	8	大嶋 和也	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	52	1:25:24.159	57.342	1:36.842	19	1:48.649
11	37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	52	1:25:29.256	1:02.439	1:36.623	12	1:33.086
12	64	中嶋 大祐	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	52	1:25:36.332	1:09.515	1:35.826	8	1:32.721
13	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN SF14							

2017 SUPER FORMULA RACE RESULT

第5戦 オートポリス 9月10日 4.674km×54周=252.396km 天候:晴れ コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	15	ビエール・ガスリー	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	54	1:24:28.619	179.093km/h	1:31.923	5	1:26.738
2	7	フェリックス・ローゼンクヴィスト	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	54	1:24:30.177		1:32.087	10	1:27.400
3	8	大嶋 和也	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	54	1:24:36.257	7.638	1:31.533	15	1:29.078
4	2	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	54	1:24:37.174	8.555	1:31.885	8	1:27.200
5	1	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	54	1:24:37.628	9.009	1:32.235	2	1:26.387
6	37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	54	1:24:38.076	9.457	1:30.813	6	1:26.810
7	18	小林 可夢偉	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	54	1:24:43.062	14.463	1:31.470	3	1:26.414
8	20	ヤン・マーデンボロー	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	54	1:24:43.599	14.980	1:30.197	14	1:27.837
9	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-417E	54	1:24:59.769	31.150	1:32.544	19	1:29.870
10	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	54	1:25:13.318	44.699	1:32.896	11	1:27.540
11	64	中嶋 大祐	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	54	1:25:13.493	44.874	1:32.190	17	1:29.227
12	50	小暮 卓史	B-Max Racing team SF14	Honda HR-417E	54	1:25:20.128	51.509	1:30.419	18	1:29.306
13	4	山下 健太	FUJIXRACING KONDO SF14	TOYOTA R14A	54	1:25:21.744	53.125	1:31.385	9	1:27.324
14	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40S SF14	Honda HR-417E	53	1:25:01.502	1 Lap	1:31.899	1	1:26.196
15	41	伊沢 拓也	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-417E	53	1:25:14.763	1 Lap	1:30.368	12	1:27.637
16	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	38	59:56.163	16 Laps	1:31.225	7	1:27.178
3	ニック・キャンディ	FUJIXRACING KONDO SF14	TOYOTA R14A	18	28:51.548	36 Laps	1:32.942	16	1:29.164	
65	ナレイン・カーティケヤン	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	1	2:06.775	53 Laps		13	1:27.677	
36	アンドレ・ロッター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	1	2:26.208	53 Laps		4	1:26.637	

●ファステストラップ: 1'30.197(186.552km/h) No.20 ヤン・マーデンボロー ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14 33周目 ●ポールポジション: 1'26.196 No.40 野尻智紀 DOCOMO DANDELION M40S SF14

第6戦 スポーツランドSUGO 9月24日 3.704km×68周=251.88km 天候:晴れ コース:ドライ

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
1	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	68	1:19:00.439	191.291km/h	1:08.252	2	1:04.988
2	15	ビエール・ガスリー	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	68	1:19:00.682	0.243	1:08.304	3	1:05.080
3	37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	68	1:19:01.613	1.174	1:08.314	7	1:05.313
4	1	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	68	1:19:07.193	6.754	1:08.402	9	1:05.641
5	7	フェリックス・ローゼンクヴィスト	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	68	1:19:11.911	11.472	1:08.757	12	1:05.889
6	2	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	68	1:19:13.085	12.646	1:07.697	8	1:05.357
7	18	小林 可夢偉	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	68	1:19:19.891	19.452	1:08.797	5	1:05.090
8	41	伊沢 拓也	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-417E	68	1:19:21.180	20.741	1:08.606	11	1:05.851
9	20	ヤン・マーデンボロー	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	68	1:19:21.898	21.459	1:08.355	6	1:05.242
10	36	アンドレ・ロッター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	68	1:19:29.410	28.971	1:08.052	4	1:05.089
11	4	山下 健太	FUJIXRACING KONDO SF14	TOYOTA R14A	68	1:19:37.133	36.694	1:08.320	17	1:06.439
12	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40S SF14	Honda HR-417E	68	1:19:41.649	41.210	1:08.198	15	1:06.171
13	65	ナレイン・カーティケヤン	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	68	1:19:45.039	44.600	1:08.311	13	1:05.983
14	50	小暮 卓史	B-Max Racing team SF14	Honda HR-417E	67	1:19:02.367	1 Lap	1:08.963	19	1:06.649
15	8	大嶋 和也	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	67	1:19:13.039	1 Lap	1:08.683	18	1:06.524
16	10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-417E	67	1:19:31.067	1 Lap	1:07.888	14	1:09.444
17	64	中嶋 大祐	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	67	1:20:02.750	1 Lap	1:07.953	10	1:05.747
18	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	66	1:16:59.968	2 Laps	1:08.556	16	1:06.342
19	3	ニック・キャンディ	FUJIXRACING KONDO SF14	TOYOTA R14A	65	1:16:24.801	3 Laps	1:07.875	1	1:04.910

●ファステストラップ: 1'07.697(196.985km/h) No.2 石浦宏明 P.MU/CERUMO・INGING SF14 66周目 ●ポールポジション: 1'04.910 No.3 ニック・キャンディ FUJIXRACING KONDO SF14

※No.3 2017年全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則 第31条4.2(スタート手順)違反により、ドライビングスルールのペナルティを科した。
※No.36 2017年全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則 第26条9.(ピットレーン速度)違反により、ドライビングスルールのペナルティを科した。

第7戦 鈴鹿サーキット Race1 10月22日 5.807km×19周=110.333km

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
36	アンドレ・ロッター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A						1	1'54.395
40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40S SF14	Honda HR-417E						2	1'54.454
37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A						3	1'54.606
2	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A						4	1'54.698
64	中嶋 大祐	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E						5	1'54.865
1	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A						6	1'55.665
20	ヤン・マーデンボロー	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A						7	1'55.946
15	ビエール・ガスリー	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E						8	1'55.997
18	小林 可夢偉	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A						9	1'56.095
41	伊沢 拓也	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-417E						10	1'56.394
65	ナレイン・カーティケヤン	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E						11	1'56.400
10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-417E						12	1'56.453
19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A						13	1'56.479
16	山本 尚貴	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E						14	1'57.208
8	大嶋 和也	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A						15	2'00.378
3	ニック・キャンディ	FUJIXRACING KONDO SF14	TOYOTA R14A						16	2'05.161
4	山下 健太	FUJIXRACING KONDO SF14	TOYOTA R14A						17	2'06.742
50	小暮 卓史	B-Max Racing team SF14	Honda HR-417E						18	2'06.796
7	フェリックス・ローゼンクヴィスト	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A							計測できず

●ポールポジション: 1'54.395 No.36 アンドレ・ロッター VANTELIN KOWA TOM'S SF14

※No.36 予選当該ラップタイム(1'53.664)を削除した。(全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則第19条2.(走路外走行))

第7戦 鈴鹿サーキット Race2 10月22日 5.807km×36周=209.052km

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Time	Delay	Best Time	Qualify Pos.	Qualify Time
20	ヤン・マーデンボロー	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A						1	1'56.961
40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40S SF14	Honda HR-417E						2	1'57.144
41	伊沢 拓也	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-417E						3	1'57.744
64	中嶋 大祐	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E						4	1'58.236
37	中嶋 一貴	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A						5	1'59.382
15	ビエール・ガスリー	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E						6	2'00.238
1	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A						7	2'01.676
65	ナレイン・カーティケヤン	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E						8	2'01.820
2	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A						9	2'02.064
19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A						10	2'02.392
36	アンドレ・ロッター	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A						11	2'04.014
16	山本 尚貴	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E						12	2'04.112
10	塚越 広大	REAL SF14	Honda HR-417E						13	2'05.804
50	小暮 卓史	B-Max Racing team SF14	Honda HR-417E						14	2'07.023
8	大嶋 和也	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A						15	2'07.141
4	山下 健太	FUJIXRACING KONDO SF14	TOYOTA R14A						16	2'07.731
18	小林 可夢偉	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A						17	2'10.239
3	ニック・キャンディ	FUJIXRACING KONDO SF14	TOYOTA R14A						18	9'42.957
7	フェリックス・ローゼンクヴィスト	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A							計測できず

●ポールポジション: 1'56.961 No.20 ヤン・マーデンボロー ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14

※Race2の予選順位は予選のセカンドベストタイムで決定。

1996-2017 DRIVER & TEAM POINT RANKING

1996

TEAM
DRIVER

1996 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	X-JAPAN Racing Team LeMans	78	6	ANABUKI 童夢無限 / avex 童夢無限	21
2	かもめサービスIMPUL/カルソニックIMPUL	38	7	神奈川クリニック STELLAR	9
3	PIAA NAKAJIMA RACING	35	8	ADVAN/バルチェッカーズ / バルチェッカーズ	8
4	SHIONOGI TEAM NOVA	35	9	NAVI CONNECTION RACING TEAM	5
5	FUNAI SUPER AGURI	28	10	TEAM 5ZIGEN	3

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台が得点対象となる。

1996 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Engine	Tire	Rd.01 鈴鹿 4/28	Rd.02 MINE 5/12	Rd.03 富士 5/26	Rd.04 十勝 6/23	Rd.05 鈴鹿 7/7	Rd.06 SUGO 8/4	Rd.07 富士 9/1	Rd.08 MINE 9/15	Rd.09 鈴鹿 9/29	Rd.10 富士 10/20	Total
1	25	R.シューマッハー	X-JAPAN Racing Team LeMans	レイナード96D	無限MF308	BS	4	10	(19)*	10	3	(R)	(R)	10	3*	(R)	40
2	24	服部 尚貴	X-JAPAN Racing Team LeMans	レイナード96D	無限MF308	BS	(8)	(R)	6	4	4	(8)	10*	4	10	(R)	38
3	19	星野 一義	カルソニック RACING TEAM with IMPUL	ローラT96/52	無限MF308	BS	10	(R)	4	3	2	6	(R)	(R)	6	(R)*	31
4	64	高木 虎之介	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード96D	無限MF308	BS	(R)*	4	(R)	(R)*	10*	10*	(R)	(R)	1	(R)	25
5	10	N.フォンタナ	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT96/51	無限MF308	BS	(14)	6	10	(R)	(8)	(R)	6	(R)	(11)	(R)	22
6	8	中野 信治	TEAM avex 童夢 with 無限	童夢F104i	無限MF308	BS	6	(13)	(R)	(9)	1	(7)	4	6	(9)	3	20
7	55	金石 勝智	FUNAI SUPER AGURI	レイナード95D、96D	無限MF308	BS	1	(R)	3	2	(7)	(R)	3	(R)	(R)	10	19
8	9	P.デ・ラ・ロサ	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT96/51	無限MF308	BS	2	(7)	1	1	(R)	(11)	1	(R)	2	6	13
9	65	黒澤 琢弥	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード96D	無限MF308	BS	(R)	(8)	(15)	(7)	6	2	(8)	2	(8)	(R)	10
10	56	本山 哲	FUNAI SUPER AGURI	レイナード95D、94D	無限MF308	BS	(7)	(R)	2	(17)	(12)	4	2	1	(R)	(R)	9
11	7	影山 正美	ADVAN/バルチェッカーズ	ローラT95/50 レイナード96D	無限MF308	YH	(10)	2	(R)	6	(17)	(15)	(9)	(11)	(R)	(R)	8
12	1	鈴木 利男	かもめサービス RACING TEAM with IMPUL	ローラT96/52、T94/50	無限MF308	BS	(18)	(R)	(12)	(11)	(9)	(10)	(7)	3*	4	(R)	7
13	20	A.ギルバートスコット	神奈川クリニック STELLAR	レイナード96D	無限MF308	BS	(R)	(R)	(7)	(15)	(R)	3	(R)	(7)	(R)	2	5
14	27	影山 正彦	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード95D、96D	無限MF308	BS	(R)	(R)	(R)	(R)	(16)	(12)	(R)	(9)	(7)	4	4
15	21	M.クルム	神奈川クリニック STELLAR	レイナード96D、95D	無限MF308	BS	3	1*	(11)	(16)	(11)	(9)	(R)	(R)	(R)	(R)	4
16	5	M.アピチュラ	TEAM 5ZIGEN	レイナード95D、96D	ジャッドKV-II	YH	(12)	3	(8)	(8)	(14)	(13)	(12)	(R)	(10)	(R)	3
17	28	近藤 真彦	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード94D、95D	無限MF308	BS	(R)	(9)	(16)	(14)	(R)	(R)	(14)	—	(R)	1	1
18	2	山本 勝巳	TEAM ANABUKI 童夢 with 無限	童夢F104i	無限MF308	BS	(9)	(R)	(10)	(R)	(R)	1	(R)	(14)	(R)	(R)	1
72	川本 篤	ASAHI KIKO SPORTS	ローラT93/50	コスワースDFV	BS	(R)	(11)	(R)	(13)	(19)	(16)	(13)	(R)	(R)	(7)	0	0
28	T.クリステンセン	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード95D	無限MF308	BS	—	—	—	—	—	—	—	(8)	—	—	—	0
6	光貞 秀俊	TEAM 5ZIGEN	ローラT94/50 レイナード95D	ジャッドKV-II	YH	(R)	(R)	(9)	(R)	(10)	(14)	(10)	(12)	(R)	(R)	(R)	0
31	岡田 秀樹	チーム ガルウイング	ローラT95/50	無限MF308	BS	(11)	(R)	(17)	(10)	(20)	(R)	(11)	(10)	(R)	(R)	(R)	0
17	大西 太一郎	バルチェッカーズ	ローラT94/50	無限MF308	YH	(15)	(10)	(14)	(18)	(15)	(R)	(R)	(R)	(14)	(R)	(R)	0
30	田嶋 栄一	チーム ガルウイング	ローラT94/50	無限MF308	BS	(13)	(12)	(13)	(12)	(18)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(NS)	0
12	羽根 幸浩	スラムビューティハウス CERUMO	ローラT94/50	無限MF308	BS	(16)	(R)	(R)	(R)	(13)	(R)	(16)	(13)	(12)	(R)	(R)	0
15	田中 哲也	ニホンロード ヤマダ	ローラT93/50	無限MF308	YH	—	—	—	—	—	(R)	—	—	(13)	—	—	0
73	玉中 哲二	ASAHI KIKO SPORTS	ローラT93/50	コスワースDFV	BS	(17)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(15)	(R)	(R)	(R)	0
15	山田 政夫	ニホンロード ヤマダ	ローラT93/50	無限MF308	YH	(落)	(落)	(18)	(落)	(落)	—	(15)	(落)	—	(R)	0	

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、落=予選不通過、—は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●タイヤ略号:BS=ブリヂストン、YH=ヨコハマ。

1997

TEAM
DRIVER

1997 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	SHIONOGI TEAM NOVA	89	7	FUNAI SUPER AGURI	17
2	TEAM IMPUL	44	8	TEAM TMS	12
3	Team LeMans	23	9	オートテック STELLAR/STP STELLAR	6
4	PIAA NAKAJIMA RACING	20	10	かもめサービスMIRAI/スーパーノヴァMIRAI	5
5	TEAM CERUMO	20	11	TEAM ANABUKI 童夢 with 無限	4
6	NAVI CONNECTION RACING TEAM	19	12	エースケー アスカ	1

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台が得点対象となる。

1997 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Engine	Tire	Rd.01 鈴鹿 4/27	Rd.02 MINE 5/18	Rd.03 富士 6/1	Rd.04 鈴鹿 7/6	Rd.05 SUGO 8/3	Rd.06 富士 8/31	Rd.07 MINE 9/14	Rd.08 もてぎ 9/28	Rd.09 富士 10/19	Rd.10 鈴鹿 11/9	Total
1	9	P.デ・ラ・ロサ	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT97/51	無限MF308		10	10	6	4	10*	10*	6	10*	6	10*	82
2	19	黒澤 琢弥	TEAM IMPUL	ローラT96/52	無限MF308		6	6	10*	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	6	28
3	1	N.フォンタナ	Team LeMans	レイナード96D、97D	無限MF308		(9)	(8)	1	(R)	(7)	6	10	4	(R)	(R)	21
4	11	光貞 秀俊	TEAM CERUMO	ローラT96/52	無限MF308		4	(7)	3	3	(R)	4	4	(9)	2	—	20
5	27	影山 正美	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード96D、97D	無限MF308		(11)	(9)	(11)	2	1	3	(7)	6	4	3	19
6	64	高木 虎之介	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	無限MF308		(R)*	(R)*	4	10*	(R)	(R)	2*	(R)	(R)	2	18
7	20	影山 正彦	TEAM IMPUL	レイナード96D ローラT95/50	無限MF308		(R)	(R)	2	6	4	(R)	(15)	(R)	(12)	4	16
8	18	R.ファーマン	TEAM TMS	レイナード97D	無限MF308		(R)	3	(15)	1	6	(13)	(R)	2	(R)	(11)	12
9	55	金石 勝智	FUNAI SUPER AGURI	レイナード96D	無限MF308		(7)	(R)	(R)	(10)	(R)	(18)	(8)	(R)	10*	(R)	10
10	10	飯田 章	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT97/51	無限MF308		1	4	(R)	(7)	(R)	2	(10)	(11)	(R)	(13)	7
11	56	本山 哲	FUNAI SUPER AGURI	レイナード94D、97D	無限MF308		3	(R)	(R)	(R)	(R)	1	(R)	3	—	—	7
12	35	M.アピチュラ	オートテック STELLAR	レイナード96D	無限MF308		—	—	—	(8)	2	(8)	3	(R)	1	(8)	6
13	33	鈴木 利男	かもめサービス with MIRAI	レイナード97D、96D	無限MF308		(8)	2	(7)	(R)	3	(16)	(9)	(8)	(R)	(9)	5
14	8	脇阪 寿一	TEAM ANABUKI 童夢 with 無限	童夢F104R	無限MF308		(12)	1	(R)	(R)	3	(7)	(11)	3	(NS)	(R)	4
15	65	山西 康司	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	無限MF308		2	(R)	(8)	(R)	(R)	(R)	(R)	(17)	(R)	(7)	2
16	2	E.トゥエロ	Team LeMans	レイナード96D、97D	無限MF308		(R)	(R)	(9)	(11)	(R)	1	—	—	—	—	1
16	21	田中 哲也	エースケー アスカ	ローラT95/50	無限MF308		(R)	—	—	—	(R)	(11)	(14)	(R)	(13)	1	1
35	11	M.クルム	オートテック STELLAR Team LeMans TEAM CERUMO	レイナード96D レイナード97D ローラT96/52	無限MF308		(R)	(13)	(R)	—	—	—	—	1	—	(10)	1
28	山本 勝巳	NAVI CONNECTION RACING TEAM	レイナード95D、97D、96D	無限MF308		(10)	(R)	(R)	(9)	(R)	(12)	(R)	(14)	(7)	(R)	(R)	0
34	A.ボルドリーニ	STP STELLAR	ローラT96/51	無限MF308		—	—	—	—	—	—	(13)	(7)	—	(R)	0	
3	川本 篤	ASAHI KIKO SPORTS	レイナード96D	無限MF308		(R)	(10)	(16)	(15)	(9)	(R)	(12)	(15)	(8)	(14)	(R)	0
17	近藤 真彦	TEAM TMS	レイナード97D	無限MF308		(15)	(R)	(12)	(14)	(8)	(14)	(R)	(13)	(11)	(R)	(R)	0
6	田嶋 栄一	TEAM 5ZIGEN	レイナード96D	ジャッドKV-II		—	—	—	(13)	(R)	(9)	(R)	(R)	(R)	(12)	(R)	0
2	立川 祐隆	Team LeMans	レイナード96D、97D	無限MF308		—	—	—	—	—	—	—	—	(9)	(R)	(R)	0
5	M.グーセン	TEAM 5ZIGEN	レイナード96D	ジャッドKV-II 無限MF308		(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(10)	(R)	(10)	(R)	(R)	(R)	0
63	D.マラガム	SRI LANKA with TEAM LEYJUN	レイナード96D	無限MF308		(R)	(11)	(14)	(R)	(10)	—	—	—	—	—	—	0
12	柴原 真介	TEAM CERUMO	ローラT94/50	無限MF308		—	—	—	—	—	—	—	(12)	(10)	(R)	0	
6	R.ヴァルタネン	TEAM 5ZIGEN	レイナード95D	ジャッドKV-II		(R)	(R)	(10)	—	—	—	—	—	—	—	—	0
34	A.ギルバートスコット	オートテック STELLAR	ローラT96/51	無限MF308		—	—	—	(12)	—	(R)	—	—	(14)	—	—	0
37	山田 政夫	タカギB-1 RACING TEAM	ローラT94/50	無限MF308		(R)	(12)	(R)	(R)	(失)	(落)	(落)	(落)	(落)	(落)	(落)	0
36	玉中 哲二	タカギB-1 RACING TEAM	ローラT95/50	無限MF308		(13)	(R)	(13)	(16)	(R)	(R)	(R)	(R)	(落)	(落)	(落)	0
12	S.カヴァナ	TEAM CERUMO	レイナード95D	コスワースAC		(14)	(R)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード96D、95D	無限MF308		—	—	—	—	—	(15)	(16)	(16)	(R)	(16)	(R)	0
32	V.ンスピリ	スーパーノヴァ with MIRAI	レイナード97D	無限MF308		—	—	—	—	—	—	—	—	(R)	(15)	(R)	0
62	戸田 哲史	SRI LANKA with TEAM LEYJUN	レイナード94D	無限MF308		—	—	—	(17)	(R)	(17)	—	—	—	—	—	0
34	M.マルティネーニ	オートテック STELLAR	ローラT96/51	無限MF308		—	—	(R)	—	—	—	—	—	—	—	—	0
56	道上 龍	FUNAI SUPER AGURI	レイナード95D	無限MF308		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(NS)	0

1996-2017 DRIVER & TEAM POINT RANKING

1998

TEAM

DRIVER

1998 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	LEMONEd Racing Team LeMans	66	6	JACCS MOONCRAFT M.S.P	11
2	SHIONOGI TEAM NOVA	51	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	11
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	38	8	PIAA NAKAJIMA RACING	10
4	MAZIORA TEAM IMPUL	27	9	TEAM TMS	2
5	TEAM SZIGEN	17	10	BE BRIDES RACING	1

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台が得点対象となる。

1998 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 4/19	Rd.02 MINE 5/17	Rd.03 富士 5/31	Rd.04 もてぎ 6/14	Rd.05 鈴鹿 7/5	Rd.06 SUGO 8/2	Rd.07 富士 8/30	Rd.08 MINE 9/20	Rd.09 富士 10/18	Rd.10 鈴鹿 11/29	Total
1	8	本山 哲	LEMONEd Racing Team LeMans	レイナード97D	(R)	10	10*	6	(R)	3		10	6	(R)*	45
2	1	影山 正美	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT97/51	6	(10)	(R)	4	4	10*		1	3*	10	38
3	56	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ローラT97/51	(R)	6*	(R)	10	3	(R)		(R)	(R)	6	25
4	20	影山 正彦	MAZIORA TEAM IMPUL	ローラT96/52	10	(R)	(R)	(8)	10*	(R)		(R)	(R)	1	21
5	7	N.フォンタナ	LEMONEd Racing Team LeMans	レイナード97D	4	(R)	1	(R)*	(8)	(R)		6	10	(8)	21
6	5	M.ゲーセン	TEAM SZIGEN	レイナード97D	1	3	(R)	(R)	6	(R)		4	(R)	3	17
7	2	R.ファーマン	SHIONOGI TEAM NOVA	ローラT96/51, T97/51 Gフォース98N	(12)*	(R)	(R)	(14)	(R)	6		3	4	(7)	13
8	55	金石 勝智	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ローラT98/51	3	2	6	(R)	(R)	(7)		2	(10)	(R)	13
9	14	道上 龍	JACCS MOONCRAFT M.S.P	レイナード96D	(7)	4	3	(9)	(R)	(R)		(R)	(R)	4	11
10	11	野田 英樹	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	ローラT98/51	2	(R)	2	1	(R)	4		(R)*	(9)	(R)	9
11	65	T.コロネル	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	(8)	1	(R)	3	2	2		(R)	(R)	(14)	8
12	19	黒澤 琢弥	MAZIORA TEAM IMPUL	ローラT98/51	(R)	(R)	4	(R)	(R)	(R)	*	(R)	(R)	2	6
13	12	飯田 章	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	ローラT96/52	-	-	(8)	(R)	(R)	(9)		(R)	2	(12)	2
13	18	立川 祐路	TEAM TMS	レイナード97D	-	-	(9)	2	(R)	(R)		(R)	(R)	(9)	2
15	64	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
15	64	山西 康司	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード97D	(R)	(7)	(R)	(R)	-	1	-	(R)	(R)	(11)	1
15	21	田中 哲也	BE BRIDES RACING	ローラT95/50	(R)	(R)	(7)	(R)	(R)	(11)		(R)	1	(16)	1
17	近藤 真彦	TEAM TMS	レイナード97D	(9)	(8)	(11)	(10)	(7)	(8)		(7)	(7)	(R)	0	0
6	脇阪 薫一	TEAM SZIGEN	レイナード96D	(10)	(R)	(10)	(7)	(R)	(12)		(R)	(R)	(R)	(10)	0
22	石川 朗	BE BRIDES RACING	レイナード94D	(R)	(R)	(R)	(11)	(9)	(10)		(R)	(8)	(15)	0	0
36	玉中 哲二	タカギ B-1 RACING TEAM	ローラT96/51	(R)	(11)	(14)	(13)	(R)	(R)		(8)	(R)	(17)	0	0
63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード95D, 97D	(13)	-	-	(R)	(NS)	(13)		(9)	(R)	(18)	0	0
3	川本 篤	ASAHI KIKO SPORTS	レイナード96D	(R)	(9)	(R)	(R)	(R)	(R)		(R)	(R)	(13)	0	0
62	柴原 真介	TEAM LEYJUN	レイナード95D, 96D	(11)	(R)	(12)	(12)	(R)	(R)		(10)	(11)	(R)	0	0
35	D.マラカムワ	STELLAR INTERNATIONAL	レイナード96D	-	-	-	-	-	-	(落)		(R)	(12)	-	0
63	大西 太一郎	TEAM LEYJUN	レイナード95D	-	(R)	(13)	-	-	-	-		-	-	-	0
18	高橋 毅	TEAM TMS	レイナード97D	(14)	(R)	-	-	-	-	-		-	-	-	0
37	山田 政夫	タカギ B-1 RACING TEAM	ローラT94/50, T95/50	-	(R)	-	(15)	(R)	(落)	-	-	-	-	-	0
35	徳田 季晴	KYOETSU STELLAR	レイナード96D	(R)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、落=予選不通過、-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●第7戦富士は悪天候のため決勝は中止。●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

1999

TEAM

DRIVER

1999 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PIAA NAKAJIMA RACING	81	6	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	17
2	UNLIMITED RACING Team LeMans	52	7	TEAM LEYJUN	16
3	BE BRIDES IMPUL	24	8	TEAM TMS	11
4	SHIONOGI TEAM NOVA	22	9	SPEEDMASTER MOONCRAFT	10
5	TEAM SZIGEN	21	10	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	6

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台が得点対象となる。

1999 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 4/18	Rd.02 もてぎ 5/9	Rd.03 MINE 5/23	Rd.04 富士 6/6	Rd.05 鈴鹿 7/4	Rd.06 SUGO 8/1	Rd.07 富士 9/5	Rd.08 MINE 9/19	Rd.09 もてぎ 10/3	Rd.10 鈴鹿(東) 11/14	Total
1	64	T.コロネル	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	6	(R)*	4	10	6	10*	(R)*	(R)*	4	(R)	50
2	1	本山 哲	UNLIMITED RACING Team LeMans	レイナード99L	10	6	10*	(R)	(R)*	6	4	(R)	10*	(R)	46
3	65	光貞 秀俊	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	4*	10	(8)	(10)	2	(11)	3	10	2	(9)	31
4	9	R.ファーマン	SHIONOGI TEAM NOVA	GフォースGF03	(R)	4	6	(9)	(R)	1	(10)	(9)	(8)	10*	21
5	6	M.クルム	TEAM SZIGEN	レイナード99L	-	2	(R)	4	(11)	3	(9)	3	(R)	6	18
6	19	影山 正美	BE BRIDES IMPUL	ローラB99/51 レイナード99L	(R)	(R)	1	(12)	10	(R)	(R)	(R)	3	3	17
7	56	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ローラB99/51 レイナード99L	(R)	(15)	(10)	(NS)	(9)	2	6	4	(11)	4	16
8	62	P.ダンブレック	TEAM LEYJUN	レイナード99L	3	1	2	6*	(R)	(R)	2	2	(10)	(10)	16
9	18	黒澤 琢弥	TEAM TMS	レイナード99L	(R)	(R)	(12)	2	4	4	-	-	-	-	10
10	14	道上 龍	SPEEDMASTER MOONCRAFT	ローラB99/51	1	(8)	(7)	(8)	(NS)	(R)	(7)	(R)	6	2	9
11	20	野田 英樹	BE BRIDES IMPUL	ローラB99/51 レイナード99L	(R)	(16)	(13)	(14)	1	(R)	(R)	6	(9)	(11)	7
12	2	山西 康司	UNLIMITED RACING Team LeMans	レイナード99L	(NS)	(NS)	3	3	(8)	(9)	(8)	(R)	(16)	(R)	6
13	11	立川 祐路	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	2	3	(R)	(7)	(7)	(R)	(R)	1	(8)	(R)	6
14	6,5	田中 哲也	TEAM SZIGEN	レイナード99L	(R)	-	-	-	3	(R)	(11)	(R)	(14)	(18)	3
15	55	金石 勝智	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ローラB99/51 レイナード99L	(9)	(R)	(R)	(11)	(R)	(8)	1	(R)	(R)	(7)	1
15	15	影山 正彦	SPEEDMASTER MOONCRAFT	ローラB99/51	(R)	(12)	(R)	(13)	(R)	(13)	(R)	1	(12)	(13)	1
15	10	加藤 寛規	SHIONOGI TEAM NOVA	GフォースGF03	(R)	(10)	(R)	(15)	(10)	(12)	(12)	(R)	(7)	1	1
15	17	D.シュワガー	TEAM TMS	レイナード99L	(R)	(7)	(R)	1	(R)	(7)	-	-	-	-	1
3	川本 篤	ASAHI KIKO SPORTS	レイナード99L	(8)	(R)	(11)	(18)	(13)	(R)	(13)	(7)	(R)	(16)	0	0
12	飯田 章	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	(7)	(R)	(R)	(16)	(R)	(10)	(14)	(R)	(13)	(12)	0	0
63	柴原 真介	TEAM LEYJUN	ローラB99/51	-	-	-	-	-	-	(R)	(8)	(15)	(14)	0	0
68	R.デルフラ	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ローラB99/51	(R)	(11)	(9)	(17)	(12)	(14)	(R)	(NS)	(R)	(15)	0	0
5	脇阪 薫一	TEAM SZIGEN	レイナード99L	(R)	(9)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	0	0
36	玉中 哲二	TAKAGI B-1 RACING TEAM	ローラB99/51 レイナード99L	(R)	-	(14)	(19)	(14)	(R)	(R)	(10)	(R)	(17)	0	0
32	近藤 真彦	MIRAI	ローラB99/51	(R)	(13)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	0	0
63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード99L	(R)	(14)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	0	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

1996-2017 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2000

TEAM

DRIVER

2000 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PIAA NAKAJIMA RACING	113	6	Team Morinaga NOVA	9
2	TEAM SZIGEN	45	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	9
3	TEAM IMPUL	34	8	TEAM LEYJUN	5
4	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	27	9	MOONCRAFT	2
5	Team LeMans	16			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2000 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 3/26	Rd.02 もてぎ 4/16	Rd.03 MINE 5/21	Rd.04 富士 6/4	Rd.05 鈴鹿SP 7/2	Rd.06 SUGO 7/30	Rd.07 もてぎ 8/20	Rd.08 富士 9/3	Rd.09 MINE 9/17	Rd.10 鈴鹿 11/5	Total
1	0	高木 虎之介	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード2KL	10	10*	(R)*	10	10*	10*	10*	10	10*	6	86
2	6	M.クルム	TEAM SZIGEN	レイナード99L	6	6	6	(NS)*	4	2	6	2	(R)	3	35
3	19	本山 哲	TEAM IMPUL	レイナード99L	1	3	(R)	(8)	1	3	4	6*	6	10*	34
4	2	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	(12)	4	10	(16)	2	(11)	3	(R)	4	4	27
5	7	野田 英樹	Team LeMans	レイナード99L	(R)	(10)	4	(15)	6	(R)	2	1	(17)	2	15
6	55	金石 勝智	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	3	1	2	4	(R)	4	(11)	(R)	—	—	14
7	56	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	(11)	2	3	6	(8)	(R)	(9)	(R)	1	1	13
8	5	服部 尚貴	TEAM SZIGEN	レイナード99L	4	(7)	1	2	3	(R)	(7)	(8)	(8)	(9)	10
9	9	R.ファーマン	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03B	(R)*	(11)	(R)	1	(7)	6	(10)	(13)	2	(R)	9
10	11	立川 祐路	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	(8)	(R)	(R)	3	(R)	(R)	(R)	3	3	(12)	9
11	62	柴原 真介	TEAM LEYJUN	レイナード2KL	(9)	(12)	(9)	(7)	(9)	1	(R)	4	(13)	(14)	5
12	14	脇阪 薫一	MOONCRAFT	レイナード99L	2	(8)	(R)	(R)	(R)	(8)	(13)	(9)	(R)	(8)	2
13	8	五十嵐 勇大	Team LeMans	レイナード99L	(R)	(15)	(R)	(12)	(12)	(R)	1	(10)	(16)	(R)	1
10	10	山西 康司	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03B	(R)	(9)	(7)	(11)	(14)	(R)	(R)	(R)	(7)	(7)	0
3	近藤 真彦	Olympic KONDO Racing Team	レイナード99L	(7)	(14)	(R)	(13)	(13)	(7)	(R)	(R)	(11)	(10)	0	
68	道上 龍	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード2KL	(R)	(13)	(R)	(R)	(10)	(R)	(8)	(7)	(9)	(R)	0	
12	J.ヴェルチューク	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	(13)	(R)	(8)	(R)	(R)	(R)	(12)	(11)	(12)	(11)	0	
21	A.ユーン	TEAM MALAYSIA	レイナード99L	(NS)	(R)	(R)	(9)	(11)	(9)	(R)	(12)	(R)	(R)	0	
36	玉中 哲二	TAKAGI B-1 RACING TEAM	レイナード99L	(R)	(R)	(10)	(10)	(15)	(10)	(R)	(R)	(14)	(R)	0	
63	OSAMU	TEAM LEYJUN	レイナード99L GフォースGF03	(10)	(R)	(11)	(14)	(R)	—	(14)	(14)	(15)	(13)	0	
4	土屋 武士	Olympic KONDO Racing Team	GフォースGF03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(10)	—	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、—は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

2001

TEAM

DRIVER

2001 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	TEAM SZIGEN	53	6	MOONCRAFT	22
2	excite TEAM IMPUL	51	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	16
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	40	8	Team Morinaga NOVA	5
4	PIAA NAKAJIMA RACING	37	9	Team LeMans	2
5	Olympic KONDO Racing Team	34			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2001 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Car	Rd.01 鈴鹿 3/25	Rd.02 もてぎ 4/22	Rd.03 MINE 5/20	Rd.04 富士 6/3	Rd.05 鈴鹿SP 7/1	Rd.06 SUGO 7/29	Rd.07 富士 9/2	Rd.08 MINE 9/23	Rd.09 もてぎ 10/21	Rd.10 鈴鹿 11/18	Total
1	19	本山 哲	excite TEAM IMPUL	レイナード01L	(R)	(9)*	10*	(R)*	10	10	3	10	6	(R)	49
2	5	服部 尚貴	TEAM SZIGEN	レイナード99L	10*	10	2	10	(8)	(7)	(12)	1	(18)	(10)	33
3	3	立川 祐路	Olympic KONDO Racing Team	レイナード01L	(13)	6	(11)	(R)	3	3	6	4	2	6	30
4	2	R.ファーマン	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード99L	2	(R)	6	1	(R)	(R)	(7)	(8)	10*	10	29
5	55	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	6	(10)	(12)	(14)	1	6*	10*	(失*)	(16)	(R)	23
6	14	道上 龍	MOONCRAFT	レイナード01L	—	(R)	(10)	4	6*	4	(R)	(R)	4	4	22
7	6	M.クルム	TEAM SZIGEN	レイナード99L、01L	(R)	3	3	6	(R)	1	4	(R)	(7)	3	20
8	56	土屋 武士	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	レイナード99L	(10)	(11)	4	(R)	4	(R)	(14)	6	1	2	17
9	11	影山 正美	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	3	2	1	2	(R)	(11)	1	3	(8)	(7)	12
10	1	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	レイナード2KL	(R)	4	(8)	(R)	2	2	(R)	(R)	(9)	(9)*	8
11	10	A.クート	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03C レイナード99L	(R)	(R)	(R)	(12)	(R)	(R)	2	(R)	3	(14)	5
12	12	荒 聖治	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	レイナード99L	4	(R)	(R)	(R)	(9)	(10)	(8)	(R)	(12)	(R)	4
12	4	金石 勝智	Olympic KONDO Racing Team	レイナード99L	(7)	1	(15)	3	(R)	(9)	(11)	(R)	(11)	(13)	4
14	7	山西 康司	Team LeMans	レイナード99L	—	—	—	—	—	—	(10)	2	(10)	(R)	2
14	20	N.カーテイヤン	excite TEAM IMPUL	レイナード99L	1	(7)	(9)	(R)	(R)	(13)	(9)	(R)	(14)	1	2
7	A.ユーン	Team LeMans	レイナード99L	(11)	(R)	(7)	(7)	(10)	(R)	—	—	—	—	0	
8	五十嵐 勇大	Team LeMans	レイナード99L	(9)	(R)	(R)	(11)	(7)	(8)	(17)	(R)	(17)	(8)	0	
36	玉中 哲二	TAKAGI B-1 CAR倶楽部	レイナード2KL、99L	(15)	(NS)	(14)	(8)	(R)	(15)	(15)	(7)	(15)	(R)	0	
9	R.ライアン	Team Morinaga NOVA	GフォースGF03	(8)	(8)	(R)	(9)	(11)	(12)	(R)	(R)	(13)	(12)	0	
37	影山 正彦	TAKAGI B-1 CAR倶楽部	レイナード99L	(12)	(R)	(R)	(10)	(NS)	(14)	(16)	(R)	(R)	(R)	0	
68	野田 英樹	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード2KL	(R)	(R)	(R)	(13)	(12)	(R)	(13)	(R)	(R)	(11)	0	
69	J.ヴェルチューク	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード99L	(14)	(R)	(13)	(NS)	—	—	—	—	—	—	0	
69	光良 秀俊	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	レイナード99L	—	—	—	—	(13)	—	—	—	—	—	0	

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、失=失格、—は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●エンジンは全車無限MF308を使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

1996-2017 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2002

DRIVER

TEAM

2002 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PIAA NAKAJIMA RACING	81	6	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	6
2	XBOX TEAM IMPUL	60	7	Olympic KONDO Racing Team	3
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	44	8	FORWARD NOVA	2
4	TEAM 5ZIGEN	34	9	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	1
5	Team LeMans	29			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2002 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/24	Rd.02 富士 4/7	Rd.03 MINE 5/19	Rd.04 鈴鹿(東SP) 7/7	Rd.05 もてぎ 7/21	Rd.06 SUGO 8/4	Rd.07 富士 9/1	Rd.08 MINE 9/22	Rd.09 もてぎ 10/20	Rd.10 鈴鹿 11/3	Total
1	31	R.ファーマン	PIAA NAKAJIMA RACING	10*	6	(R)*	10	(9)	10	6	6	10	4	62
2	1	本山 哲	XBOX TEAM IMPUL	(R)	10*	10	2	10	(R)	4	10	4	10	60
3	55	脇阪 寿一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	2	4	(R)	4	4*	(R)	10	(8)	6*	3*	33
4	8	土屋 武士	Team LeMans	6	1	4	(NS)*	6	3*	(R)*	(7)*	1	6	27
5	32	松田 次生	PIAA NAKAJIMA RACING	4	(10)	6	(R)	(13)	2	(R)	3	3	1	19
6	6	道上 龍	TEAM 5ZIGEN	3	(NS)	-	-	3	4	3	4	(12)	(11)	17
7	56	金石 年弘	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	(R)	(R)	3	1	2	1	2	2	(R)	(7)	11
8	5	服部 尚貴	TEAM 5ZIGEN	1	(R)	(R)	3	1	(12)	1	1	(8)	2	9
9	6	光貞 秀俊	TEAM 5ZIGEN	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	8
10	68	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	-	-	(7)	(8)	(11)	6	(7)	(R)	(7)	(R)	6
11	3	荒 聖治	Olympic KONDO Racing Team	(8)	3	(9)	(10)	(NS)	(R)	(R)	(9)	(11)	(10)	3
12	7	D.シュワガー	Team LeMans	-	-	(R)	(11)	(R)	(8)	(9)	(10)	2	(R)	2
12	10	黒澤 治樹	FORWARD NOVA	(9)	2	(R)	(14)	(12)	(10)	(12)	(R)	(R)	(12)	2
14	11	B.トレレイエ	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	(11)	(R)	1	(7)	(7)	-	-	-	-	-	1
2	M.クルム	XBOX TEAM IMPUL	(7)	(7)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
14	五十嵐 勇大	MOONCRAFT	(R)	(R)	(11)	(13)	(10)	(7)	(R)	(R)	(13)	(R)	(R)	0
22	伊藤 大輔	Team 22	(10)	(9)	(10)	(9)	(8)	(9)	(8)	(11)	(10)	(8)	(8)	0
4	金石 勝智	Olympic KONDO Racing Team	(12)	(R)	(8)	(12)	(R)	(11)	(10)	(12)	(14)	(9)	(9)	0
68	J.コシェ	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(13)	(8)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
11	立川 祐路	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	-	-	-	-	-	(R)	(11)	(R)	(9)	(R)	(R)	0
9	山本 清大	ソノ・オン・デマンド NOVA	(15)	(11)	(12)	(R)	(R)	(R)	(13)	(NS)	(15)	(13)	(13)	0
7	影山 正美	Team LeMans	(14)	(R)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●マシンはレイナード99L~2KL~01L、エンジンは無限MF308を全車が使用。タイヤはブリヂストンのワンメイク。

2003

DRIVER

TEAM

2003 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	TEAM IMPUL	91	6	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	23
2	Forum eng. ARTA Team LeMans	38	7	TEAM 5ZIGEN	17
3	PIAA NAKAJIMA RACING	33	8	CARROZZERIA Team MOHN	1
4	TEAM 22	31			
5	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	26			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2003 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/23	Rd.02 富士 4/6	Rd.03 MINE 4/27	Rd.04 もてぎ 6/8	Rd.05 鈴鹿 7/6	Rd.06 SUGO 7/27	Rd.07 富士 8/31	Rd.08 MINE 9/21	Rd.09 もてぎ 10/19	Rd.10 鈴鹿 11/2	Total
1	19	本山 哲	TEAM IMPUL	10	10*	10*	(9)	(14)	10	6*	(13)*	6	4*	56
2	20	B.トレレイエ	TEAM IMPUL	(R)	6	(R)	(R)	6	3	10	10	(9)	(R)	35
3	22	脇阪 寿一	TEAM 22	(R)	2	(R)	10*	4	4	(R)	1	(R)	10	31
4	7	金石 年弘	Forum eng. ARTA Team LeMans	4	(8)	2	(7)	(R)	(8)	(R)	6	10*	(R)	22
4	2	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	6	3	(7)	1	(R)	6*	4	(9)	2	(R)	22
6	40	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(9)	(R)	(R)	4	10	2	(R)	(R)	4	(9)	20
7	12	井出 有治	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	3	(7)	4	6	(7)	(10)	(R)	4	(12)	2	19
8	8	土屋 武士	Forum eng. ARTA Team LeMans	(R)	(R)	6	3	2*	(7)	1	(12)	1	3	16
9	5	道上 龍	TEAM 5ZIGEN	(R)*	4	3	2	3	(R)	(R)	(R)	(13)	1	13
10	1	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	(12)	1	(R)	(R)	1	(R)	(R)	(14)	3	6	11
11	11	松田 次生	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	2	(9)	(R)	(R)	(15)	1	2	2	(14)	(R)	7
12	41	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(8)	(R)	(R)	(11)	(8)	(9)	(9)	3	(7)	(11)	3
12	6	J.コートニー	TEAM 5ZIGEN	-	-	-	-	-	-	3	(7)	(R)	(R)	3
14	28	野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	1	(10)	(8)	(R)	(12)	(R)	(R)	(10)	(R)	(10)	1
14	6	福田 良	TEAM 5ZIGEN	(7)	(R)	1	(R)	(13)	-	-	-	-	-	1
4	D.シュワガー	Olympic KONDO Racing Team	(R)	(R)	(R)	(R)	(8)	(9)	(11)	(7)	(8)	(10)	(8)	0
10	加藤 寛規	OIZUMI TEAM NOVA	-	-	-	-	-	-	-	-	(R)	(11)	(7)	0
3	立川 祐路	Olympic KONDO Racing Team	(10)	(12)	(10)	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	(8)	(R)	(R)	0
10	五十嵐 勇大	TEAM NOVA	-	-	-	-	(10)	(12)	(8)	-	-	-	-	0
9	黒澤 治樹	PLANEX EBRO NOVA	(R)	(R)	(9)	(10)	(11)	(R)	(R)	(R)	(11)	(R)	(12)	0
10	藤澤 哲也	カッチャオ TCPRO NOVA	(11)	(11)	(R)	(12)	-	-	-	-	-	-	-	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●マシンはローバB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車無限MF308を使用。

1996-2017 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2004

DRIVER

TEAM

2004 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast TEAM IMPUL	62	6	Yellow Hat KONDO Racing Team	10
2	PIAA NAKAJIMA RACING	50	7	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	7
3	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	40			
4	Team LeMans/Team LeMans Spirit	37			
5	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	26			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2004 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 鈴鹿 3/28	Rd.02 SUGO 5/2	Rd.03 もてぎ 6/6	Rd.04 鈴鹿 7/4	Rd.05 SUGO 8/1	Rd.06 MINE 8/29	Rd.07 セブン 9/19	Rd.08 もてぎ 10/24	Rd.09 鈴鹿 11/7	Total
1	40	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(8)	10*	(8)*	10*	3*	(8)	(9)	6	4*	33
2	31	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	6	3	10	(8)	(R)	(R)	10	4	(7)	33
3	20	井出 有治	mobilecast TEAM IMPUL	(12)*	6	6	4	(7)	(7)	(10)	10	6	32
4	19	B.トレルイエ	mobilecast TEAM IMPUL	(R)	1	3	6	(10)	10*	(7)	(R)	10	30
5	7	脇坂 寿一	Team LeMans	(13)	4	(R)	2	4	6	4	(R)*	3	23
6	1	本山 哲	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	2	(12)	2	3	10	1	(R)	2	1	21
7	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	10	(9)	(9)	(7)	6	(R)	1	(9)	(8)	17
8	25	片岡 龍也	Team LeMans Spirit	(10)	(11)	4	(13)	(R)	3	2	3	(12)	12
9	41	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	(7)	(7)	(R)	(10)	1	(10)	6*	(R)	(10)	7
10	3	道上 龍	Yellow Hat KONDO Racing Team	4	2	1	(R)	(R)	(11)	(8)	(10)	(13)	7
11	11	松田 次生	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	3	(R)	(12)	(9)	(失)	(12)	3	1	(R)	7
12	2	金石 年弘	TEAM ADIRECT 5ZIGEN	1	(13)	(10)	(R)	(12)	4	(R)	(R)	(11)	5
13	8	土屋 武士	Team LeMans	(11)	(10)	(7)	(11)	(8)	2	(R)	(R)	2	4
14	4	立川 祐路	Yellow Hat KONDO Racing Team	(R)	(R)	(R)	1	2	(9)	(R)	(7)	(9)	3
28		野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	(9)	(8)	(11)	(R)	(11)	(R)	(R)	(11)	(14)	0
27		山西 康司	CARROZZERIA Team MOHN	—	—	—	(12)	(9)	—	—	(8)	—	0
12		影山 正美	COSMO OIL RACING TEAM CERUMO	—	—	—	—	—	(R)	(11)	(R)	(15)	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、—は不出場。●*はポールポジション ●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●マシンはローラB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車が無限MF308を使用。

2005

DRIVER

TEAM

2005 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast IMPUL/arting IMPUL	101	6	TEAM 5ZIGEN	14
2	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	37	7	TEAM CERUMO	2
3	PIAA NAKAJIMA RACING	35			
4	KONDO Racing Team	21			
5	Forum Engineering Team LeMans	20			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2005 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Rd.01 もてぎ 4/3	Rd.02 鈴鹿 4/17	Rd.03 SUGO 5/15	Rd.04 富士 6/5	Rd.05 鈴鹿 7/3	Rd.06 MINE 7/31	Rd.07 富士 8/28	Rd.08 もてぎ 10/23	Rd.09 鈴鹿 11/27	Total
1	23	本山 哲	arting RACING TEAM with IMPUL	3	3	10	6	10*	4	(13)	10*	6	52
2	20	井出 有治	mobilecast TEAM IMPUL	6*	10	2	(7)	(8)	10	4	3	4	39
3	1	R.ライアン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	10	2	6	3*	4	(R)	3*	(13)	2	30
4	31	A.ロッテラー	PIAA NAKAJIMA RACING	(11)	(R)	(9)	(R)	(R)	(10)	10	(R)	10	20
5	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	(R)	4	4*	(8)	6	(R)	(11)	(9)	1	15
6	19	B.トレルイエ	mobilecast TEAM IMPUL	1	(9)*	(R)	10	(R)	(失)*	(12)	(11)	3	14
7	5	松田 次生	TEAM 5ZIGEN	(10)	6	(R)	4	1	3	(9)	(10)	(8)*	14
8	8	土屋 武士	Forum Engineering Team LeMans	2	(R)	3	(R)	(R)	2	2	4	(R)	13
9	4	R.クインレルリ	KONDO Racing Team	—	—	—	2	2	6	(R)	2	(10)	12
10	3	山本 左近	KONDO Racing Team	(14)	(R)	(R)	(R)	3	(8)	(R)	6	(11)	9
11	7	片岡 龍也	Forum Engineering Team LeMans	(7)	(8)	(8)	(R)	(R)	(7)	6	1	(7)	7
12	2	服部 尚貴	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	4	1	1	(10)	(7)	1	(7)	(7)	(14)	7
13	11	平中 克幸	TEAM CERUMO	(8)	(R)	(R)	1	(R)	(R)	1	(12)	(9)	2
4		J.ヤニス	KONDO Racing Team	(12)	(7)	(7)	—	—	—	—	—	—	0
12		高木 虎之介	TAKAGI PLANNING with CERUMO	(9)	(R)	(11)	(9)	(10)	(9)	(8)	(R)	(12)	0
28		野田 英樹	CARROZZERIA Team MOHN	(R)	(R)	(10)	(R)	(9)	(R)	(10)	(8)	(13)	0
27		加藤 正将	CARROZZERIA Team MOHN	(13)	—	—	—	—	—	—	—	—	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、—は不出場。●*はポールポジション ●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。
●マシンはローラB351、タイヤはブリヂストンのワンメイク。エンジンは全車が無限MF308を使用。

1996-2017 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2006

DRIVER

TEAM

2006 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast TEAM IMPUL	88	6	Team LeMans	13
2	DHG TOM'S RACING	32	7	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	12
3	PIAA NAKAJIMA RACING	26	8	TEAM CERUMO	10
4	arting RACING TEAM with IMPUL	16	9	Team BOSS INGING Formula Nippon	6
5	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	13.5	10	KONDO RACING	4.5

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2006 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/2	Rd.02 鈴鹿 4/16	Rd.03 もてぎ 5/28	Rd.04 鈴鹿 7/9	Rd.05 オートポリス 8/6	Rd.06 富士 8/27	Rd.07 SUGO 9/17	Rd.08 もてぎ 10/22	Rd.09 鈴鹿 11/19	Total
1	19	B.トレルイエ	mobilecast TEAM IMPUL	トヨタRV8J	5*	4*	6	10*	(7)	10	6	10	(R)	51
2	20	松田 次生	mobilecast TEAM IMPUL	トヨタRV8J	3	(9)	2	6	10	(7)	4	6	6*	37
3	36	A.ロッテラー	DHG TOM'S RACING	トヨタRV8J	(8)	2	10	2	(8)	6	(R)	(R)	10	30
4	31	L.デュバル	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	(11)	10	1	(R)	(18)	(9)	10	3	1	25
5	1	本山 哲	arting RACING TEAM with IMPUL	トヨタRV8J	2	(8)	4	4	(R)	4	2	(R)	(R)	16
6	40	B.ビルドハイム	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	1.5	6	3	(R)	1	1	1	(11)	(9)	13.5
7	7	片岡 龍也	Team LeMans	トヨタRV8J	(13)	(7)	(R)	1	4	(R)	(9)	4	4	13
8	11	立川 祐路	TEAM CERUMO	トヨタRV8J	(12)	(R)	(10)	3	3	2	(7)	2	(R)	10
9	55	金石 年弘	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(16)	(R)	(R)	(R)	6	3	(R)	(R)	(7)	9
10	33	R.クインタレリ	Team BOSS INGING Formula Nippon	トヨタRV8J	1	(R)	(R)	(R)	2	(10)	3	(9)	(12)	6
11	3	山本 左近	KONDO RACING	トヨタRV8J	0.5	3	(14)	—	—	—	—	—	—	3.5
12	56	小暮 卓史	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(10)	(17)	(R)*	(9)	(19)*	(NS)*	(失)*	(R)*	3	3
13	37	土屋 武士	DHG TOM'S RACING	トヨタRV8J	(9)	(10)	(R)	(7)	(9)	(R)	(8)	(8)	2	2
14	32	武藤 英紀	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	(19)	1	(8)	(R)	(17)	(16)	(10)	(10)	(R)	1
14	4	柳田 真孝	KONDO RACING	トヨタRV8J	(7)	(R)	(9)	(13)	(13)	(12)	(R)	1	(13)	1
5	道土 龍	TEAM RECKLESS 5ZIGEN	ホンダHF386E	(20)	(18)	(7)	(R)	(11)	(15)	(12)	(R)	(11)	0	0
34	横溝 直輝	Team BOSS INGING Formula Nippon	トヨタRV8J	(14)	(13)	(R)	(11)	(R)	(R)	(11)	(7)	(R)	0	0
8	高木 虎之介	Team LeMans	トヨタRV8J	(22)	(16)	(11)	(8)	(16)	(8)	(R)	(R)	(R)	0	0
6	J.P.デ・オリベラ	TEAM 5ZIGEN	ホンダHF386E	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(8)	0
3	荒 聖治	KONDO RACING	トヨタRV8J	—	—	—	(10)	(10)	(18)	(13)	(R)	(R)	0	0
41	井出 有治	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	—	—	—	(12)	(12)	(11)	(R)	(R)	(10)	0	0
41,17	平中 克幸	DoCoMo TEAM DANDELION RACING EMS Racing	ホンダHF386E	(17)	(11)	(R)	—	(15)	(14)	(R)	(R)	(R)	0	0
6	折目 遼	M&O with TEAM 5ZIGEN	ホンダHF386E	(21)	(15)	(12)	(R)	(R)	(17)	(失)	(12)	—	0	0
27	密山 祥吾	DPR Direxiv	ホンダHF386E	(15)	(12)	(13)	(R)	—	—	—	—	—	0	0
2	星野 一樹	arting RACING TEAM with IMPUL	トヨタRV8J	(18)	(14)	(R)	(R)	(14)	(13)	(R)	(R)	(14)	0	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、失=失格、—は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~6位まで10-6-4-3-2-1点。

●第1戦富士は雨によるレース途中中止のため、規定により通常得点の半分。●マシンはFN06、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

2007

DRIVER

TEAM

2007 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	mobilecast TEAM IMPUL	91	7	CARCHS KONDO RACING	18
2	PIAA NAKAJIMA RACING	72	8	Forum Engineering Team LeMans	8
3	Arabian Oasis TEAM IMPUL	50	9	TEAM CERUMO	7
4	DHG TOM'S RACING	48	10	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	6
5	INGING MOTORSPORT	27	11	TEAM RECKLESS CERUMO	4
6	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	20			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。

2007 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/1	Rd.02 鈴鹿 4/15	Rd.03 もてぎ 5/20	Rd.04 岡山 6/10	Rd.05 鈴鹿 7/8	Rd.06 富士 8/26	Rd.07 SUGO 9/16	Rd.08 もてぎ 10/21	Rd.09 鈴鹿 11/18	Total
1	2	松田 次生	mobilecast TEAM IMPUL	トヨタRV8J	8	8*	6*	6	5*	(13)	4	4	5	46
2	1	B.トレルイエ	mobilecast TEAM IMPUL	トヨタRV8J	10*	(R)	5*	8	(R)	8	8	6	(R)	45
3	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	1	6	10	4*	(17)	(R)	10*	10*	(失)*	41
4	19	本山 哲	Arabian Oasis TEAM IMPUL	トヨタRV8J	(R)	10	3	(10)	10	(R)*	5	(11)	10	38
5	36	A.ロッテラー	DHG TOM'S RACING	トヨタRV8J	(R)	4	8	(R)	(13)	10	2	5	8	37
6	31	L.デュバル	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	6	5	(R)	(19)	(11)	6	6	8	(R)	31
7	33	R.クインタレリ	INGING MOTORSPORT	トヨタRV8J	4	3	4	10	(R)	2	1	3	(14)	27
8	4	J.P.デ・オリベラ	CARCHS KONDO RACING	トヨタRV8J	(失)	(14)	1	5	2	3	(R)	1	6	18
9	40	B.ビルドハイム	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	5	(13)	(11)	(11)	8	1	(R)	2	1	17
10	20	M.クルム	Arabian Oasis TEAM IMPUL	トヨタRV8J	3	2	2	1	4	(R)	(R)	(15)	(R)	12
11	37	荒 聖治	DHG TOM'S RACING	トヨタRV8J	(11)	(R)	(15)	2	(10)	5	(R)	(13)	4	11
12	11	立川 祐路	TEAM RECKLESS CERUMO	トヨタRV8J	(16)	1	(12)	3	(12)	4	3	(9)	(13)	11
13	55	井出 有治	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(14)	(10)	(16)	(R)	6	(16)	(R)	(R)	(10)	6
14	7	片岡 龍也	Forum Engineering Team LeMans	トヨタRV8J	2	(R)	(R)	(9)	(R)	(R)	(10)	3	5	5
15	41	F.カルボーン	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	(15)	(15)	(R)	(13)	3	(15)	(9)	(18)	(R)	3
16	8	高木 虎之介	Forum Engineering Team LeMans	トヨタRV8J	(R)	(12)	(9)	(16)	1	(9)	(10)	(12)	2	3
34	横溝 直輝	INGING MOTORSPORT	トヨタRV8J	(10)	(9)	(13)	(12)	(19)	(10)	(13)	(R)	(12)	0	0
56	金石 年弘	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(12)	(17)	(10)	(R)	(9)	(11)	(R)	(14)	(R)	0	0
3	柳田 真孝	CARCHS KONDO RACING	トヨタRV8J	(9)	(18)	(R)	(15)	(14)	(12)	(12)	(16)	(R)	0	0
5	平中 克幸	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(R)	(11)	(17)	(14)	(18)	(14)	(11)	(17)	(11)	0	0
6	吉本 大樹	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(13)	(19)	(18)	(17)	(15)	(17)	(R)	(R)	(15)	0	0
12	佐々木 孝太	TEAM RECKLESS CERUMO	トヨタRV8J	(17)	(16)	(14)	(18)	(16)	—	—	—	—	0	0
27	T.カーナン	KANAAN RACING	ホンダHF386E	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(6)	—

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、—は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。

●第9戦鈴鹿のNo.27 T.カーナンは特別参加のためポイント対象外。●マシンはFN06、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

1996-2017 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2008

TEAM
DRIVER

2008 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	LAWSON TEAM IMPUL	114.5	7	Team LeMans	22
2	PIAA NAKAJIMA RACING	103	8	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	21
3	PETRONAS TEAM TOM'S	58	9	STONEMARKET-BLAAK CERUMO/INGING	11
4	CERUMO/INGING	52.5	10	SG team 5ZIGEN	9
5	KONDO RACING	44	11	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	7.5
6	TP Checker TEAM IMPUL	42			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2008 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/6	Rd.02 鈴鹿 5/11	Rd.03 もてぎ 5/25	Rd.04 岡山 6/8	Rd.05 鈴鹿 7/13	Rd.06 もてぎ 8/10	Rd.07 富士 8/31	Rd.08 SUGO 9/21	Total			
1	1	松田 次生	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8J	16*	16*	16*	1(R)*	11*	(8)	9*	4	5	0.5	15	93.5
2	31	L.デュバル	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	1	1	10	15	3	4	10	(R)	8	(7)	10	62
3	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8J	(R)	10	12	12	8	2	(11)	(7)	4	1	(12)	49
4	20	平手 晃平	TP Checker TEAM IMPUL	トヨタRV8J	(R)	12	5	10	4	5	(R)	(NS)	—	—	6	42
5	32	小暮 卓史	PIAA NAKAJIMA RACING	ホンダHF386E	5	6	(R)	2	6	(7)	4	(R)	6	(6)	12	41
6	4	J.P.オベラ	KONDO RACING	トヨタRV8J	(R)	(R)	2	(11)	5	1	6	3	11*	(8)	5	33
7	48	立川 祐路	CERUMO/INGING	トヨタRV8J	12	(17)	4	8	(17)	(12)	5	2	(9)	(9)	(15)	31
8	2	B.トレルイエ	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8J	8	4	(R)	3	(R)	(13)	(15)	(R)	2	2	8	27
9	47	R.クインテッリ	CERUMO/INGING	トヨタRV8J	6	3	(R)	4	(10)	(9)	(R)	(13)	3	1.5	4	21.5
10	56	伊沢 拓也	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	(R)	2	8	6	(12)	(R)	(R)	(12)	(18)	(17)	3	19
11	7	本山 哲	Team LeMans	トヨタRV8J	(R)	8	(16)	(R)	1	3	(9)	1	(14)	(14)	1(R)*	14
12	3	横溝 直輝	KONDO RACING	トヨタRV8J	(R)	5	(11)	5	2	(6)	(R)	(11)	(12)	(12)	(R)	12
13	67	R.ストレイト	STONEMARKET-BLAAK CERUMO/INGING	トヨタRV8J	10	(15)	(R)	(R)	(11)	(10)	(R)	(9)	(19)	(18)	1	11
14	5	金石 年弘	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(11)	(R)	6	(14)	(R)	(14)	3	(R)	(16)	(20)	(11)	9
15	37	荒 聖治	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8J	(R)	(11)	1	1	(13)	(11)	2	5	(10)	(10)	(16)	9
16	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8J	4	(13)	3	(R)	(14)	(R)	(13)	(8)	(17)	(16)	2	9
17	41	土屋 武士	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	3	(14)	(14)	(12)	(16)	(R)	1	(14)	(11)	(11)	(14)	4
18	40	松浦 孝亮	DoCoMo TEAM DANDELION RACING	ホンダHF386E	(12)	(16)	(12)	(13)	(9)	(R)	(10)	(6)	1	2.5	(13)	3.5
19	55	井出 有治	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	ホンダHF386E	2	(18)	(15)	(R)	(15)	(R)	(12)	(R)	(R)	(19)	(17)	2
6		吉本 大樹	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	—	—	—	—	(18)	(15)	(14)	(10)	—	—	—	0
6		平中 克幸	SG team 5ZIGEN	ホンダHF386E	(R)	(12)	(13)	(15)	—	—	—	—	(15)	(15)	(R)	0
20	R.ライアン	TP Checker TEAM IMPUL	トヨタRV8J	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(13)	(13)	—	0

●数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。—は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~10位まで15-12-10-8-6-5-4-3-2-1点。予選ポールポジションにも1点。
●1大会2レースの場合、第1レースの得点は1~8位に10-8-6-5-4-3-2-1点。第2レースは1~5位に5-4-3-2-1点。●1大会2レースの第2レースは、第1レースの結果でスターティンググリッドが決まるため、ポールポジションの得点はなし。
●第7戦富士の第2レースは雨によるレース途中中止のため、規定により通常得点の半分。●マシンはFN06、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

2009

TEAM
DRIVER

2009 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	NAKAJIMA RACING	93	6	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	25
2	PETRONAS TEAM TOM'S	52	7	HFDP RACING	20
3	LAWSON TEAM IMPUL	50	8	CERUMO/INGING	9
4	ahead TEAM IMPUL	31			
5	Team LeMans	31			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2009 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 富士 4/5	Rd.02 鈴鹿 5/17	Rd.03 もてぎ 5/31	Rd.04 富士 6/28	Rd.05 鈴鹿 7/12	Rd.06 もてぎ 8/9	Rd.07 オートポリス 8/30	Rd.08 SUGO 9/27	Total
1	31	L.デュバル	NAKAJIMA RACING	ホンダHR09E	5	10	(R)	11*	11*	8	6	11*	62
2	2	B.トレルイエ	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8K	10	9*	8	(R)	6	6	1	(9)	40
3	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(10)	6	4	1	2	10	8	8	39
4	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR09E	1	(R)	11*	2	8	4*	11*	(10)	37
5	20	平手 晃平	ahead TEAM IMPUL	トヨタRV8K	7*	5	(R)	4	4	1	5	6	32
6	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8K	(11)	1	6	5	5	5	4	4	30
7	10	塚越 広大	HFDP RACING	ホンダHR09E	3	4	5	3	(9)	(10)	(R)	5	20
8	41	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR09E	8	2	(NS)	(R)	1	(9)	3	(11)	14
9	37	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	2	(R)	(R)	8	(10)	(11)	(9)	3	13
10	40	R.ライアン	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR09E	(R)	3	2	6	(13)	(R)	(10)	(13)	11
11	1	松田 次生	LAWSON TEAM IMPUL	トヨタRV8K	(R)	(R)	3	(R)	(12)	4	2	2	11
12	48	立川 祐路	CERUMO/INGING	トヨタRV8K	4	(R)	(R)	(9)	3	2	(R)	(12)	9
13	7	国本 京佑	Team LeMans	トヨタRV8K	(9)	(9)	(NS)	(10)	(11)	(R)	(11)	1	1

●数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。—は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

1996-2017 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2010

TEAM

DRIVER

2010 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	Mobil 1 TEAM IMPUL	68	6	HFDP RACING	9
2	PETRONAS TEAM TOM'S	66	7	KCMG	4
3	NAKAJIMA RACING	56.5	8	DELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING	3
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	40.5	9	KONDO RACING	1
5	Team LeMans	24	10	MOTUL TEAM 無限	1

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レース制の勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

2010 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/18	Rd.02 もてぎ 5/23	Rd.03 富士 7/18	Rd.04 もてぎ 8/8	Rd.05 SUGO 9/26	Rd.06 オートポリス 10/17	Rd.07 鈴鹿 11/7	Total	
1	19	J.P.デ・オリベラ	Mobil 1 TEAM IMPUL	トヨタRV8K	8	11*	6	3	(11)	8	2.5	9*	47.5
2	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	6	6	8	(R)	6	10	3	4	43
3	1	L.デュバル	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	3	5	1(14)*	10	9*	(R)	9*	2.5	39.5
4	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	11*	3	4	9*	4	(R)	4	3	38
5	20	平手 晃平	Mobil 1 TEAM IMPUL	トヨタRV8K	5	2	10	6	(12)	1	(9)	1.5	25.5
6	37	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(12)	1	5	4	10	1(R)*	2	1	24
7	31	山本 尚貴	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	2	4	2	5	(R)	4	1.5	2	20.5
8	8	石浦 宏明	Team LeMans	トヨタRV8K	(10)	(R)	3	1	5	6	1	(10)	16
9	10	塚越 広大	HFDP RACING	ホンダHR10E	1	8	(11)	(10)	(R)	(失)	(10)	(12)	9
10	7	K.コッツォリーノ	Team LeMans	トヨタRV8K	(R)	(10)	1	(13)	2	5	(13)	(14)	8
11	2	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	4	(11)	(9)	(11)	3	(R)	(11)	(11)	7
12	18	平中 克幸	KCMG	トヨタRV8K	(R)	(R)	(13)	2	(R)	2	(12)	(13)	4
13	29	井口 卓人	DELIZIEFOLLIE/CERUMO-INGING	トヨタRV8K	(11)	(R)	(12)	(12)	(10)	3	(R)	(R)	3
14	3	松田 次生	KONDO RACING	トヨタRV8K	-	-	-	(R)	1	(R)	(14)	(9)	1
15	16	井出 有治	MOTUL TEAM 無限	ホンダHR10E	(9)	(9)	(10)	(9)	(9)	(R)	0.5	0.5	1

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2-1.5-1-0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

2011

TEAM

DRIVER

2011 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	90	6	Project μ/cerumo-INGING	6.5
2	TEAM IMPUL	41	7	TEAM 無限	4
3	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	36.5	8	Team KYGNUS SUNOCO	3
4	Team LeMans	32	9	SGC by KCMG	2.5
5	NAKAJIMA RACING	18.5			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントを合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レース制の勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

2011 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 5/15	Rd.02 オートポリス 6/5	Rd.03 富士 7/17	Rd.04 もてぎ 8/7	Rd.05 鈴鹿 9/4	Rd.06 SUGO 9/25	Rd.07 もてぎ 11/6	Total	
1	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	10	-	10	8		10	9*	9*	56
2	37	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	6	10	6	6		6	4	4	42
3	1	J.P.デ・オリベラ	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	3	5	6*	11*		(失)	(9)	3	28
4	41	塚越 広大	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	2	7*	4	5		5	3	0.5	26.5
5	7	大嶋 和也	Team LeMans	トヨタRV8K	4	8	(12)	1		4*	(R)	2	19
6	8	石浦 宏明	Team KYGNUS SUNOCO	トヨタRV8K	1	(10)	3	2		8	1.5	1.5	17
7	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	8	(R)	2	(R)		2	2	2.5	16.5
8	2	平手 晃平	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	(9)	1	8	4		1	1	(R)	15
9	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR10E	5	3	(10)	3		(失)	(R)	(10)	11
10	33	国本 雄資	Project μ/cerumo-INGING	トヨタRV8K	(13)	(11)	(15)	(12)		4	2.5	(失)	6.5
11	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR10E	1(R)*	4	(9)	(14)		(11)	(12)	(R)	5
12	18	A.インベトリー	SGC by KCMG	トヨタRV8K	(10)	2	(R)	(11)		(12)	0.5	(R)	2.5
13	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR10E	(11)	(R)	1	(9)		(10)	(11)	1	2
	10	小林 崇志	HP REAL RACING	ホンダHR10E	(R)	(9)	(11)	(15)		(R)	(10)	(11)	0
	11	武藤 英紀	HP REAL RACING	ホンダHR10E	-	-	-	(10)		-	(R)	(9)	0
	3	A.カルダレリ	KONDO RACING	トヨタRV8K	(R)	(R)	(13)	(13)		(9)	(R)	(R)	0
	62	嵯峨 宏紀	Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(12)	(R)	(14)	(16)		(13)	(13)	(R)	0
	36	井口 卓人	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	-	(12)	-	-		-	-	-	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、失=失格、-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2-1.5-1-0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●第5戦鈴鹿は悪天候のため中止。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

1996-2017 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2012

TEAM
DRIVER

2012 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	78.5	6	Project μ/cerumo・INGING	10
2	PETRONAS TEAM TOM'S	76.5	7	NAKAJIMA RACING	4
3	TEAM IMPUL	51.5	8	TEAM 無限	4
4	Team KYGNUS SUNOCO	25	9	HP REAL RACING	2
5	Team LeMans	21.5			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点および2レースの勝者に与えられる別ポイントは加算されない。

2012 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/15	Rd.02 もてぎ 5/13	Rd.03 オートボリス 5/27	Rd.04 富士 7/15	Rd.05 もてぎ 8/5	Rd.06 SUGO 9/23	Rd.07 鈴鹿 11/4	Total	
1	2	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	10	6	4	9*	5	4	(12)	8	46
2	41	塚越 広大	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	8	4	11*	(9)	6	8	3	3	43
3	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	4*	5	8	(13)	4	11*	8	1.5	41.5
4	1	A.ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	4	11*	(R)	10	8	(10)	2	0.5	35.5
5	19	J.P.デ・オリベラ	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	6	8	(R)	3	11*	3	2.5	1(R)*	34.5
6	8	L.デュバル	Team KYGNUS SUNOCO	トヨタRV8K	(9)	(11)	6	5	3	6	1	4	25
7	7	大嶋 和也	Team LeMans	トヨタRV8K	5	1	3	6	(R)	5	0.5	1	21.5
8	20	松田 次生	TEAM IMPUL	トヨタRV8K	1	3	5	4	2	(R)	5*	(R)	20
9	38	平手 晃平	Project μ/cerumo・INGING	トヨタRV8K	(10)	(R)	2	2	1	1	(9)	2	8
10	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(15)	(R)	(10)	(10)	(13)	(R)	1.5	2.5	4
11	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR12E	2	2	(9)	(12)	(R)	(14)	(15)	(R)	4
12	10	金石 年弘	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(12)	(13)	(12)	(R)	(11)	2	(14)	(14)	2
13	39	国本 雄資	Project μ/cerumo・INGING	トヨタRV8K	(14)	(9)	1	1	(10)	(13)	(11)	(12)	2
3	安田 裕信	KONDO RACING	トヨタRV8K	(11)	(12)	(13)	(16)	(9)	(11)	(13)	(9)	0	
15	佐藤 琢磨	TEAM 無限	ホンダHR12E	—	—	—	—	—	(9)	(17)	(10)	0	
31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(16)	(10)	(11)	(11)	(12)	(12)	(10)	(11)	0	
62	嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(13)	(14)	(R)	(14)	(R)	(15)	(16)	(13)	0	
11	中山 友貴	HP REAL RACING	ホンダHR12E	—	—	—	(15)	(14)	—	—	—	0	
18	折目 遼	SGC by KCMG	トヨタRV8K	(17)	(15)	(R)	(R)	(R)	(R)	(18)	(15)	0	

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。但し、優勝者には別に3点が与えられる。●マシンはFN09、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

2013

TEAM
DRIVER

2013 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	58.5	6	NAKAJIMA RACING	21
2	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	42	7	DANDELION RACING	14
3	TEAM IMPUL	37.5	8	REAL RACING	4
4	MUGEN	32.5	9	KONDO RACING	3.5
5	INGING MOTORSPORT	21			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2013 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/14	Rd.02 オートボリス 6/2	Rd.03 富士 7/14	Rd.04 もてぎ 8/4	Rd.05 韓国 8/25	Rd.06 SUGO 9/29	Rd.07 鈴鹿 11/10	Total	
1	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR12E	5	6	6	1		6	9*	4*	37
2	2	A.ロッチェラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	—	11*	10	8		8	—	—	37
3	8	L.デュバル	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	—	8	6*	6		11*	—	—	31
4	1	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	4	(12)	1	11*		(R)	(R)	8	24
5	19	J.P.デ・オリベラ	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRV8K	3	5	3	5		(R)	3	(17)	19
6	20	松田 次生	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRV8K	8	4	(16)	(13)		4	2.5	(16)	18.5
7	40	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	11*	(R)	4	(R)		(R)	(10)	(9)	15
8	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	6	(R)	(14)	4		1	(R)	4	15
9	38	平手 晃平	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRV8K	(12)	(R)	8	(15)		(R)	2	1	11
10	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRV8K	(10)	(10)	2	3		5	(R)	(15)	10
11	7	平川 亮	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	1	2	(11)	2		(R)	1.5	2.5	9
12	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR12E	(16)	(R)	(10)	(10)		2	4	(11)	6
13	8	A.カルダレッリ	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRV8K	2	—	—	—		—	(R)	2	4
14	3	安田 裕信	KONDO RACING	トヨタRV8K	(14)	(9)	(12)	(R)		3	0.5	(13)	3.5
15	10	塚越 広大	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(9)	3	(9)	(9)		(R)	(R)	(R)	3
16	2	J.ロンター	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRV8K	(11)	—	—	—		—	1	1.5	2.5
17	11	中山 友貴	HP REAL RACING	ホンダHR12E	(18)	1	(R)	(11)		(R)	(11)	(12)	1
18	15	佐藤 琢磨	TEAM 無限	ホンダHR12E	(15)	—	—	—		(11)	(9)	0.5	0.5
41	武藤 英紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR12E	(13)	(R)	(13)	(12)	(12)		(10)	(12)	(10)	0
62	嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRV8K	(17)	(11)	(R)	(16)	(16)		(9)	(14)	(14)	0
18	R.ブラッドレー	KCMG	トヨタRV8K	(19)	(R)	(R)	(14)	(14)		(R)	(13)	(18)	0
15	小林 崇志	TEAM 無限	ホンダHR12E	—	(R)	(15)	(R)	(R)		—	—	—	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●1大会2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF13、タイヤはブリヂストンのワンメイク。

1996-2017 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2014

TEAM
DRIVER

2014 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	79.5	6	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	14
2	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	46	7	TEAM 無限	12.5
3	P.MU/CERUMO-INGING	45.5	8	HP REAL RACING	10
4	Lenovo TEAM IMPUL	39.5	9	NAKAJIMA RACING	4
5	KONDO RACING	22			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2014 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/13	Rd.02 富士 5/18	Rd.03 富士 7/13	Rd.04 もてぎ 8/24	Rd.05 オートボリス 9/14	Rd.06 SUGO 9/28	Rd.07 鈴鹿 11/9	Total		
1	37	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	3	4	3	10	2	3	8	4	9*	46
2	19	J.P.デ・オバイ	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRI4A	2	6*	4	(R)	11*	6	(R)	8	2.5	39.5
3	36	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	5*	2.5	6*	3	—	10	(R)	4*	4	34.5
4	8	L.デュバル	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	10	3	2.5	—	5	(15)	6	(11)	3	29.5
5	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO-INGING	トヨタRI4A	6	(R)	(11)	5	8	1	3	2	1	26
6	3	J.ロシター	KONDO RACING	トヨタRI4A	8	1.5	(17)	1	1	4	5	1.5	(10)	22
7	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO-INGING	トヨタRI4A	(13)	2	1	6	(13)	8	(9)	2.5	(R)	19.5
8	7	平川 亮	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	5	(R)	0.5	8	(10)	(13)	1	(16)	2	16.5
9	1	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	(11)	(R)	2	4	(15)	3*	3*	1	1.5	14.5
10	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	(9)	(R)	(15)	(12)	(9)	(9)	10	(12)	(9)	10
11	10	塚越 広大	HP REAL RACING	ホンダHR-414E	(14)	(NS)	(9)	(R)	3	5	(R)	0.5	(13)	8.5
12	36*	A.カルダレリ	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	—	—	—	1(R)*	6	—	—	—	—	7
13	20	N.カーティケヤン	Lenovo TEAM IMPUL	トヨタRI4A	(R)	1	1.5	2	(R)	(17)	(11)	(10)	0.5	5
14	41	武藤 英紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	(10)	(10)	(12)	(11)	4	(10)	(12)	(13)	(12)	4
15	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(R)	(9)	(14)	(9)	(16)	(12)	4	(9)	(15)	4
16	11	V.リウツツ	HP REAL RACING	ホンダHR-414E	1	0.5	(10)	(R)	(14)	(R)	(R)	(15)	(11)	1.5
34	伊沢 拓也	DRAGO CORSE	ホンダHR-414E	—	—	—	—	—	—	(R)	(14)	(14)	0	
32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(R)	(R)	(NS)	(R)	(11)	(R)	(10)	(R)	(16)	0	
2	中山 友貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	(12)	(12)	(18)	(13)	(12)	(14)	(14)	(R)	(17)	0	
18	中山 雄一	KCMG	トヨタRI4A	(R)	(13)	(16)	(10)	(R)	(16)	(13)	(R)	(18)	0	
62	嵯峨 宏紀	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	トヨタRI4A	(R)	(11)	(13)	(R)	(17)	(11)	(R)	(R)	(19)	0	

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず、—は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2-5-2-1-5-1-0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者に別に3点が与えられる。●マシンはSF14、タイヤはブリヂストンのファンメイク。
*A.カルダレリはRd.3にNo.8 KYGNUS SUNOCO Team LeMansで出場。

2015

TEAM
DRIVER

2015 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	PETRONAS TEAM TOM'S	80.5	7	NAKAJIMA RACING	7
2	P.MU/CERUMO-INGING	56	8	KONDO RACING	5
3	LENOVO TEAM IMPUL	37	9	REAL RACING	4.5
4	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	33	10	DRAGO CORSE	2.5
5	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	25	11	KCMG	1.5
6	TEAM 無限	21			

●得点は各チームに所属するドライバーのポイントの合計。●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2015 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/19	Rd.02 岡山 5/24	Rd.03 富士 7/19	Rd.04 もてぎ 8/23	Rd.05 オートボリス 9/13	Rd.06 SUGO 10/18	Rd.07 鈴鹿 11/8	Total	
1	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO-INGING	トヨタRI4A	4	11*	6	11*	9*	4	4	2.5	51.5
2	1	中嶋 一貴	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	8	—	8	8	10	5	2.5	4	45.5
3	2	A.ロッテラー	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	10	1	4	5	(11)	11*	9*	(R)	40
4	19	J.P.デ・オバイ	LENOVO TEAM IMPUL	トヨタRI4A	5	4	10	6	4	2	(R)	3	34
5	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	1(15)*	5	(12)	1	2	8	(14)	9*	26
6	8	小林 可夢偉	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	(9)	8	(10)	(17)	6	3	3	(9)	20
7	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	1	6	1	3	(10)	6	2	(R)	19
8	7	平川 亮	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	トヨタRI4A	(12)	(9)	3	2	5	1	(10)	2	13
9	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO-INGING	トヨタRI4A	(17)	(R)	5	(18)	1	(17)	1	0.5	7.5
10	64	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	3	(12)	(R)	4	(9)	(12)	(R)	(10)	7
11	41	N.カーティケヤン	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	6	(10)	(R)	(9)	(14)	(13)	(12)	(14)	6
12	3	J.ロシター	KONDO RACING	トヨタRI4A	(16)	(R)	2	(12)	3	(14)	(R)	(R)	5
13	11	伊沢 拓也	REAL RACING	ホンダHR-414E	2	2	(11)	(10)	(12)	(R)	0.5	(15)	4.5
14	20	A.カルダレリ	LENOVO TEAM IMPUL	トヨタRI4A	(11)	3	19*	(11)	(15)	(16)	(R)	(12)	4
15	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE	ホンダHR-414E	(R)	(R)	(16)	(14)	(13)	(11)	1.5	1	2.5
16	18	中山 雄一	KCMG	トヨタRI4A	(13)	(R)	(15)	(16)	(19)	(10)	(R)	1.5	1.5
10	塚越 広大	REAL RACING	ホンダHR-414E	(NS)	(14)	(13)	(R)	(17)	(9)	(9)	(11)	0	
4	W.ブラー	KONDO RACING	トヨタRI4A	(14)	(13)	(14)	(13)	(18)	(15)	(13)	(13)	0	
65	B.バゲット	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(10)	(11)	(R)	(15)	(16)	(18)	(11)	(R)	0	
1	大嶋 和也	PETRONAS TEAM TOM'S	トヨタRI4A	—	(15)	—	—	—	—	—	—	0	

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=スタートできず、—は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1位~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●2レース制は、各レース1位~8位まで5-4-3-2-5-2-1-5-1-0.5点。ポールポジションにも1点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者に別に3点が与えられる。●マシンはSF14、タイヤはブリヂストンのファンメイク。

1996-2017 DRIVER & TEAM POINT RANKING

2016

TEAM

DRIVER

2016 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	P.MU/CERUMO・INGING	54	6	TEAM 無限	14.5
2	VANTELIN TEAM TOM'S	51	7	REAL RACING	14.5
3	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	42	8	KONDO RACING	12
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	36.5	9	DRAGO CORSE	8
5	NAKAJIMA RACING	15	10	SUNOCO TEAM LEMANS	6

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。 ●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2016 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/24	Rd.02 岡山 5/29	Rd.03 富士 7/17	Rd.04 筑波 8/21	Rd.05 岡山 9/10	Rd.06 SUGO 9/25	Rd.07 鈴鹿 10/30	Total		
1	2	国本 雄資	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRi4A	8	1.5	(R)	5	4	5	(15)	8	1.5	33
2	36	A.ロッテラー	VANTELIN TEAM TOM'S	トヨタRi4A	2	0.5	5	8	(12)	2.5	4	4	4	30
3	20	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	トヨタRi4A	(14)	(13)	6	11*	(13)	(9)	11*	(18)	0.5	28.5
4	41	S.バンドーン	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	6	(12)	1*	3	5	1	3	(17)	8	27
5	1	石浦 宏明	P.MU/CERUMO・INGING	トヨタRi4A	(11)	6*	3	6	1	3	(16)	4*	4*	27
6	37	中嶋 一貴	VANTELIN TEAM TOM'S	トヨタRi4A	(12)	(17)	8	2	1(R)*	4	5	2	(16)	22
7	16	山本 尚貴	TEAM 無限	ホンダHR-414E	11*	2	(R)	1	(10)	1.5	(14)	(19)	(R)	15.5
8	19	J.P.デ・オバイヤ	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	トヨタRi4A	(10)	(19)	10	(R)	0.5	2	(R)	0.5	2.5	15.5
9	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	ホンダHR-414E	(9)	2.5	(13)	(R)	2.5	1(16)*	6	2.5	(R)	14.5
10	3	J.ロスター	KONDO RACING	トヨタRi4A	3	(9)	4	4	(9)	(10)	1	(12)	(15)	12
11	10	塚越 広大	REAL RACING	ホンダHR-414E	4	4	1	(12)	2	(11)	(11)	(11)	(12)	11
12	64	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	(R)	1	(R)	(10)	1.5	(12)	8	(10)	(10)	10.5
13	34	小暮 卓史	DRAGO CORSE	ホンダHR-414E	5	(15)	(12)	(11)	(11)	(14)	2	1	(9)	8
14	7	Nカーテケヤン	SUNOCO TEAM LEMANS	トヨタRi4A	(R)	(16)	2	(R)	3	(R)	(12)	(15)	(14)	5
15	65	B.バグット	NAKAJIMA RACING	ホンダHR-414E	1	(14)	(14)	(R)	(14)	(18)	(9)	1.5	2	4.5
16	11	伊沢 拓也	REAL RACING	ホンダHR-414E	(8)	3	(11)	(14)	(16)	0.5	(13)	(16)	(R)	3.5
17	8	小林 可夢偉	SUNOCO TEAM LEMANS	トヨタRi4A	(16)	(18)	(10)	(9)	(18)	(17)	(17)	(9)	1	1
18	中山 雄一	KCMG	トヨタRi4A	(13)	(10)	(9)	(15)	(17)	(13)	(R)	(14)	(11)	0	0
4	W.ブラー	KONDO RACING	トヨタRi4A	(15)	(11)	(R)	(13)	(15)	(15)	(10)	(13)	(13)	0	0

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア、NS=出走できず。-は不出場。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF14、タイヤは横浜ゴムのワンメイク。

2017

TEAM

DRIVER

2017 チーム部門ポイントランキング

Pos.	Team	Total	Pos.	Team	Total
1	P.MU/CERUMO・INGING	47.5	6	KCMG	16.5
2	TEAM MUGEN	43.5	7	KONDO RACING	12.5
3	VANTELIN TEAM TOM'S	41	8	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	6
4	SUNOCO TEAM LEMANS	34.5	9	REAL RACING	3
5	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	27.5	10	TCS NAKAJIMA RACING	2

●得点は各チームに所属するドライバーのポイント合計。 ●1チームに2台以上の車両が所属する場合は上位2台分が得点対象となる。
●チームポイントにはポールポジションの得点は加算されない。

2017 ドライバー部門ポイントランキング

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Rd.01 鈴鹿 4/23	Rd.02 岡山 5/28	Rd.03 富士 7/9	Rd.04 もてぎ 8/20	Rd.05 オートポリス 9/10	Rd.06 SUGO 9/24	Rd.07 鈴鹿 10/22	Total	
1	2	石浦 宏明	P.MU / CERUMO・INGING	TOYOTA Ri4A	5	0.5	5*	10	5	3		33.5	
2	15	P.ガスリー	TEAM MUGEN	Honda HR-417E	(10)	(19)	1	4	10	8		33	
3	7	F.ローゼンクワイスト	SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA Ri4A	(11)	(12)	2.5	8	6	4		28.5	
4	19	関口 雄飛	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA Ri4A	(12)	5*	5	5	(16)	(10)	10	25	
5	37	中嶋 一貴	VANTELIN TEAM TOMS	TOYOTA Ri4A	11*	(9)	(18)	2	(11)	3	6	22	
6	36	A.ロッテラー	VANTELIN TEAM TOMS	TOYOTA Ri4A	4	5	3	6	2	(R)	(10)	1*	21
7	18	小林 可夢偉	KCMG	TOYOTA Ri4A	(9)	2.5	2	(15)	8	2	2	16.5	
8	1	国本 雄資	P.MU / CERUMO・INGING	TOYOTA Ri4A	6	(10)	(9)	1(R)*	(15)	4	5	16	
9	16	山本 尚貴	TEAM MUGEN	Honda HR-417E	8	2	0.5	(R)	(13)	(R)	(18)	10.5	
10	3	N.キャンディ	KONDO RACING	TOYOTA Ri4A	(17)	3	(11)	(R)	4	(R)	1(19)*	8	
11	4	山下 健太	KONDO RACING	TOYOTA Ri4A	(14)	1	1.5	(R)	4*	(13)	(11)	6.5	
12	8	大嶋 和也	SUNOCO TEAM LEMANS	TOYOTA Ri4A	(R)	(15)	(12)	(12)	(10)	6	(15)	6	
13	41	伊沢 拓也	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	Honda HR-417E	1	(14)	(R)	3	(R)	(15)	1	5	
14	20	J.マーデンボロー	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL	TOYOTA Ri4A	(18)	1.5	(17)	1	(14)	1	(9)	4.5	
15	10	塚越 広大	REAL RACING	Honda HR-417E	3	(11)	(16)	(9)	(9)	(9)	(16)	3	
16	64	中嶋 大祐	TCS NAKAJIMA RACING	Honda HR-417E	2	(16)	(14)	(11)	(12)	(11)	(17)	2	
17	40	野尻 智紀	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	Honda HR-417E	(16)	(13)	(10)	(10)	1	1(14)*	(12)	2	
50		小暮 卓史	B-Max Racing team	Honda HR-417E	(15)	(18)	(15)	(13)	(17)	(12)	(14)	0	
65		Nカーテケヤン	TCS NAKAJIMA RACING	Honda HR-417E	(13)	(17)	(13)	(14)	(R)	(R)	(13)	0	

●各レースの数字は得点。太字は優勝。●()は入賞者以外の結果を表す。数字=順位、R=リタイア。●*はポールポジション。●得点は各レース1~8位まで10-8-6-5-4-3-2-1点。ポールポジションにも1点。
●2レース制は、各レース1~8位まで5-4-3-2.5-2-1.5-1-0.5点。●Rd.7鈴鹿大会に限り、各レースの勝者には別に3点が与えられる。●マシンはSF14、タイヤは横浜ゴムのワンメイク。
※Rd.7鈴鹿大会は予選のみ実施、決勝は雨の影響で中止。

1996-2017 CHAMPIONS

Formula Nippon
SUPER FORMULA

歴代チャンピオン

[ドライバー／チーム]

1996

ドライバー



ラルフ・シューマッハー (ドイツ)
X-JAPAN Racing Team LeMans

チーム



X-JAPAN Racing Team LeMans
ラルフ・シューマッハー / 服部尚貴

1997

ドライバー



ペドロ・デ・ロサ (スペイン)
SHIONOGI TEAM NOVA

チーム



SHIONOGI TEAM NOVA
ペドロ・デ・ロサ / 飯田章

1998

ドライバー



本山 哲 (日本)
LEMONed Racing Team LeMans

チーム



LEMONed Racing Team LeMans
N.フォンタナ / 本山 哲

1999

ドライバー



トム・コロネル (オランダ)
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム



PIAA NAKAJIMA RACING
トム・コロネル / 光貞秀俊

2000

ドライバー



高木 虎之介 (日本)
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム



PIAA NAKAJIMA RACING
高木虎之介 / 松田次生

2001

ドライバー



本山 哲 (日本)
excite TEAM IMPUL

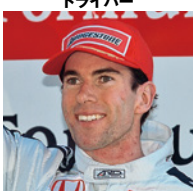
チーム



TEAM 5ZIGEN
服部尚貴 / ミハエル・クルム


2002

ドライバー



ラルフ・ファーマン (イギリス)
PIAA NAKAJIMA RACING

チーム



PIAA NAKAJIMA RACING
ラルフ・ファーマン / 松田次生

2003

ドライバー



本山 哲 (日本)
TEAM IMPUL


チーム



TEAM IMPUL
本山哲 / ブノワ・トレルイエ


2004

ドライバー



リチャード・ドリアン (イギリス)
DoCoMo TEAM DANDELION RACING


チーム



mobilecast TEAM IMPUL
ブノワ・トレルイエ / 井出有治


2005

ドライバー



本山 哲 (日本)
mobilecast IMPUL/arting IMPUL


チーム



mobilecast IMPUL/arting IMPUL
ブノワ・トレルイエ / 井出有治 / 本山哲


2006

ドライバー



ブノワ・トレルイエ (フランス)
mobilecast TEAM IMPUL

チーム



mobilecast TEAM IMPUL
ブノワ・トレルイエ / 松田次生

2007

ドライバー



松田 次生 (日本)
mobilecast TEAM IMPUL

チーム



mobilecast TEAM IMPUL
ブノワ・トレルイエ / 松田次生

Formula Nippon
SUPER FORMULA

歴代チャンピオン

[ドライバー／チーム]

2008

ドライバー
松田 次生(日本)
LAWSON TEAM IMPUL

チーム
LAWSON TEAM IMPUL
松田次生 / フノワ・トレルイエ



2009

ドライバー
ロイク・デュバル(フランス)
NAKAJIMA RACING

チーム
NAKAJIMA RACING
ロイク・デュバル / 小暮卓史



2010

ドライバー
ジョアオバロ・デオリベイラ(ブラジル)
Mobil 1 TEAM IMPUL

チーム
Mobil 1 TEAM IMPUL
ジャン・バオロ・デオリベイラ / 平手晃平



2011

ドライバー
アンドレ・ロツテラー(ドイツ)
PETRONAS TEAM TOM'S

チーム
PETRONAS TEAM TOM'S
アンドレ・ロツテラー(井口卓人) / 中嶋一貴



2012

ドライバー
中嶋 一貴(日本)
PETRONAS TEAM TOM'S

チーム
DOCOMO TEAM DANDELION RACING
伊沢拓也 / 塚越広大



2013

ドライバー
山本 尚貴(日本)
TEAM無限

チーム
PETRONAS TEAM TOM'S
中嶋一貴 / アンドレ・ロツテラー(ジェームス・ロシター)



2014

ドライバー
中嶋 一貴(日本)
PETRONAS TEAM TOM'S

チーム
PETRONAS TEAM TOM'S
アンドレ・ロツテラー(アンドレア・カルダレリ) / 中嶋一貴



2015

ドライバー
石浦 宏明(日本)
P.MU/CERUMO-INGING


チーム
PETRONAS TEAM TOM'S
中嶋一貴(大嶋和也) / アンドレ・ロツテラー



2016

ドライバー
国本 雄資(日本)
P.MU/CERUMO-INGING

チーム
P.MU/CERUMO-INGING
石浦宏明 / 国本雄資



2017

ドライバー
石浦 宏明(日本)
P.MU/CERUMO-INGING

チーム
P.MU/CERUMO-INGING
国本 雄資 / 石浦 宏明



Formula NIPPON 1996-2012 SUPER FORMULA 2013-2017

- ★シリーズ戦のみを対象とし、10～13年のJAF GP 富士スプリントカップの成績は含まない。
- ★FN時代のシリーズ戦の大会数は、96～03年＝各10大会、04～07年＝各9大会、08～09年＝各8大会、10～12年＝各7大会で、全153大会。
- ★SF時代のシリーズ戦の大会数は、各年とも全7大会だが、13年第5戦韓国大会は開催予定時期の約1カ月前に中止となっているため、統計から完全に除外。よって13～17年のSFの総大会数は34。
- ★96～17年の計22シーズンにおけるシリーズ戦の総大会数は187とする。
- ★98年第7戦と17年最終戦（2レース制）は決勝中止、11年第5戦は予選・決勝とも中止。
- ★08年第5～7戦と10～16年の各最終戦、14年第2戦、16年第5戦、17年第2戦が2レース制で実施されたため、決勝レースの実施総数は197（決勝中止の98年第7戦と17年最終戦＝2レース制、予選・決勝とも中止の11年第5戦は含まず）。決勝出走等の統計に関しては、第1レースと第2レースを原則として個別同等に扱う。
- ★08年第5～7戦の第2レースのグリッドは、第1レースの決勝結果による上位8台リバーシブルのため、「予選」としては取り扱わない（ポールポジションやポール・トゥ・ウィン、連続ポール等の統計対象とはしない）。10～17年各最終戦と14年第2戦、16年第5戦、17年第2戦の予選に関しては、第1レース、第2レースを個別に統計対象とする。予選の実施総数は197（予選中止の1戦含まず。決勝中止の場合の予選は統計に含む）。
- ★通常予選の実施後にスペシャルステージ（SS：上位、あるいは全車による単独アタック方式）を実施した場合は、SS1位がポールポジション。Q1～Q3ノックアウト方式の場合は、Q3の1位がポールポジションとなるが、10～16年最終戦と14年第2戦ではQ1結果が第1レースの予選結果、Q3まで経た結果が第2レースの予選結果となっているため、それぞれ個別同等にポールポジションとして扱う。17年最終戦も当初は同様の規則で実施される予定だったが、荒天への対応でいくつかの状況を想定した細則を採用しての予選遂行となり、結果的にはQ1のみの実施で、各自のベストタイム＝第1レースの予選順位、セカンドタイム＝第2レースの予選順位となっている（いずれも統計対象）。
- ★16年第5戦と17年第2戦は第1レース（初日）、第2レース（2日目）に対しての予選がそれぞれ当日に実施されたので、これも統計上、個別同等にポールポジションとして扱う（第2レースの予選はQ1～Q2ノックアウト方式）。
- ★03年第5戦と04年第2、4、7戦は2ヒート制での実施（赤旗によるものではなく、あらかじめの2ヒート制）。いずれかのヒートに出走していれば「決勝出走」と判断する。ポールポジション、ポール・トゥ・ウィン等に関しては、予選セッションの1位を統計対象とする（第1ヒート＝実質的な予選レースの1位は統計対象としない）。ファステストラップは、原則として第2ヒート＝実質的な決勝レースを統計対象とする。
- ★06年第1戦、08年第7戦第2レース、16年第2戦はセーフティカー先導走行のみで決勝レースが決着したため、ファステストラップに関しては統計対象としない。なお06年第1戦と16年第2戦に関してはポール・トゥ・ウインの対象とする（08年第7戦第2レースはリバーシブルのため、ポール・トゥ・ウインの対象とはしない）。
- ★決勝失格者のファステストラップの有効性に関しては年代によって記録削除の方法等異なるが、ここでは原則無効とする。
- ★この記録を統計するにあたっては、JAF、JRP、ブリヂストンの各サイトおよび、オートスポーツ誌、レーシングオン誌等を参考にした。解釈に関しての相違点等がそれぞれにあるため、必ずしもそれらの統計とは数字等が一致しない場合もある。

優勝回数

1	本山 哲	27回
2	A.ロッテラー	24回
3	L.デュバル	12回
4	高木虎之介	11回
	B.トレルイエ	11回
6	J.P.デ・オリベイラ	10回
7	中嶋一貴	9回
8	R.ファーマン	7回
	松田次生	7回
	小暮卓史	7回
11	P.デ・ラ・ロサ	6回
12	服部尚貴	5回
	脇阪寿一	5回
14	R.ライアン	4回
	石浦宏明	4回
	関口雄飛	4回
17	R.シューマッハー	3回
	N.フォンタナ	3回
	影山正美	3回
	T.コロネル	3回
	井出有治	3回
	伊沢拓也	3回
	山本尚貴	3回
24	金石勝智	2回
	影山正彦	2回
	光貞秀俊	2回
	平手晃平	2回
	国本雄資	2回
	S.バンドーン	2回
	P.ガスリー	2回
31	星野一義	1回
	黒澤琢弥	1回
	金石年弘	1回
	R.クインタレリ	1回
	荒 聖治	1回
	松浦孝亮	1回
	大嶋和也	1回
	塚越広大	1回
	野尻智紀	1回

インバル：本山 哲

ドライバーズチャンピオン獲得回数

1	本山 哲	4回(98、01、03、05年)
2	松田次生	2回(07、08年)
	中嶋一貴	2回(12、14年)
	石浦宏明	2回(15、17年)
5	R.シューマッハー	1回(96年)
	P.デ・ラ・ロサ	1回(97年)
	T.コロネル	1回(99年)
	高木虎之介	1回(00年)
	R.ファーマン	1回(02年)
	R.ライアン	1回(04年)
	B.トレルイエ	1回(06年)
	L.デュバル	1回(09年)
	J.P.デ・オリベイラ	1回(10年)
	A.ロッテラー	1回(11年)
	山本尚貴	1回(13年)
	国本雄資	1回(16年)



◀22シーズンで16人の王者が生まれている。日本人7名、外国人9名だが、タイトル総数は日本勢13：来日勢9と日本勢やや優位。もちろんこれには、外国人勢にF1参戦等による卒業が多かった影響もあるだろう。最多4度を誇る本山には連覇がなく、07～08年の松田がFN～SFにおける現状唯一の連覇。最年少王者はシューマッハーで、戴冠時21歳4カ月弱。最年長での王座獲得は昨年(17年)の石浦で、戴冠決定時36歳6カ月。

ナカジマ：小暮卓史



決勝出走回数

1	小暮卓史	126回
2	本山 哲	125回
3	A.ロッテラー	123回
4	松田次生	116回
5	立川祐路	100回

▲決勝出走というのは記録として最も曖昧な部分が多く、統計誤差が生じやすい部門であることをご承知おきいただきたい。赤旗再スタートに不参加の場合、最初のスタートに参加していれば「出走」と判断。また、フォーメーションラップ中や発進前のマシントラブル発生、スピン等による離脱に関しては、正式スタート後にコースインしていない限り「不出走」。それらを基準に可能な範囲の確認をしたなかでの上位5人。昨年、小暮が本山を抜いたものと見られる。

インバル：本山 哲



▲39人が優勝者リストに名を刻んでおり、現状は7勝でトップ10という位置づけになっている（なお星野、服部、黒澤、高木については全日本F3000での優勝経験があり、星野に関してはF3000以前のF2等でも優勝経験があるが、それらは統計に含まれていない）。

ポールポジション獲得回数

1	本山 哲	20回
2	小暮卓史	15回
3	高木虎之介	14回
4	松田次生	13回
5	A.ロッテラー	11回
6	脇阪寿一	9回
	J-P.デ・オリベイラ	9回
8	B.トレルイエ	8回
	L.デュバル	8回
	山本尚貴	8回
11	R.ライアン	7回
	石浦宏明	7回
13	R.ファーマン	6回
14	土屋武士	5回
	中嶋一貴	5回
16	P.デ・ラ・ロサ	4回
	T.コロネル	4回
18	服部尚貴	3回
	伊沢拓也	3回
	関口雄飛	3回
21	M.クルム	2回
	R.シューマッハー	2回
	黒澤琢弥	2回
	影山正美	2回
	道上 龍	2回
	井出有治	2回
	大嶋和也	2回
	塚越広大	2回
	A.カルダレリ	2回
	野尻智紀	2回
31	鈴木利男	1回
	星野一義	1回
	金石勝智	1回
	N.フォンタナ	1回
	影山正彦	1回
	野田英樹	1回
	光貞秀俊	1回
	P.ダンブレック	1回
	金石年弘	1回
	平手晃平	1回
	S.バンドーン	1回
	国本雄資	1回
	山下健太	1回
	N.キャンディ	1回
	J.マーデンポロー	1回

インバル：本山 哲



▲45人がFN～SFで予選1位という栄誉に輝いている。統計対象は予選1位という意味でのポールポジションなので、03～04年の一部レース、2ヒート制の場合の第1ヒート1位はカウントされない（予選1位の方をカウント）。どちらかというと参戦年数が長い日本勢が上位を占める傾向にあるが、優勝回数はそうならないところが興味深いところ。つまり、本山や中嶋一貴以外の日本勢は、ポールの数ほど勝っていない傾向にある。



インバル：本山 哲

決勝ファステストラップ獲得回数

1	本山 哲	20回
2	J-P.デ・オリベイラ	15回
3	脇阪寿一	10回
	小暮卓史	10回
	A.ロッテラー	10回
6	L.デュバル	9回
7	野田英樹	6回
	松田次生	6回
9	R.ライアン	5回
	B.トレルイエ	5回
	中嶋一貴	5回
	石浦宏明	5回

▲上位12人（5回以上）。優勝よりもポールやファステストの数が多く傾向の脇阪、小暮がチャンピオンにはなれず、3部門とも首位だが、なかでも優勝数が最も多い本山は4度王座に就いていることが象徴的ではある。レース後半に追いつけて出ることが多い原則のファステストは、優勝数より多くならない方が理想的といえるのだろう。本山の記録傾向は見事な王者型。

ポール・トゥ・ウイン達成回数

1	本山 哲	10回
2	高木虎之介	8回
3	J-P.デ・オリベイラ	7回
	A.ロッテラー	7回
5	小暮卓史	5回
	L.デュバル	5回
7	P.デ・ラ・ロサ	4回
	B.トレルイエ	4回
	松田次生	4回
10	R.ファーマン	3回
	山本尚貴	3回
	石浦宏明	3回
	中嶋一貴	3回

▲上位13人（3回以上）。レース中の順位変動には関係なく、ポールポジション＝予選1位と優勝を同時に記録した、という解釈になる（第1ヒート＝予選レースの結果は無視）。高木はチャンピオンとなった00年にこれを5回も達成。97年のデ・ラ・ロサ、08年の松田も各4回と圧倒的な強さを誇った。なお、トレルイエ（06年第1戦）と石浦（16年第2戦）には、セーフティカー先導走行のみのレースが含まれる。18年参戦選手のうち、歴代トップ13以外では伊沢拓也と関口雄飛が各2回、塚越広大が1回。



ナカジマ：高木虎之介

連続ポールポジション

1	松田次生	6回（08年第1～6戦）
2	R.ライアン	4回（04年第2～5戦）
	小暮卓史	4回（06年第5～8戦）
4	高木虎之介	3回（96年第4～6戦／00年第5～7戦）
	T.コロネル	3回（99年第6～8戦）
	本山 哲	3回（01年第2～4戦）
	脇阪寿一	3回（01年第6～8戦）
	土屋武士	3回（02年第6～8戦）
	小暮卓史	3回（07年第7～9戦）

▲予選1位という意味での連続ポール（リバースポールは除外して考える）。3連続以上を記載しているが、該当10例はいずれも同一シーズン内の記録。08年の松田は、あと2戦というところで全戦ポール達成を阻まれた。高木は3回連続を96年と00年に2度マークしている。



インバル：松田次生



インバル：本山 哲

連続優勝

1	高木虎之介	6連勝（00年第4～9戦）
2	本山 哲	4連勝（02年第10戦～03年第3戦）
3	R.ファーマン	3連勝（01年第9戦～02年第1戦）
	松田次生	3連勝（08年第1～3戦）
	A.ロッテラー	3連勝（11年第6戦～第7戦第2レース）

▲3連勝以上。本山とファーマンの記録はシーズン跨ぎのもの。あまり連勝はできない接戦のシリーズだけに、ここでも00年の高木のケタ外れの強さが光る。



インバル：ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ

PP+WIN+FL=ハットトリック達成回数

1	J-P.デ・オリベイラ	4回
2	L.デュバル	3回
3	高木虎之介	2回
	本山 哲	2回
	B.トレルイエ	2回
	A.ロッテラー	2回

▲上位6人（複数回記録者）。ポール・トゥ・ウインに加えて決勝ファステストラップも記録した完全勝利である。全体として少ない印象だが、初期のフォーミュラ・ニッポンには決勝ファステストラップ樹立者に高級腕時計が贈呈されていた時期もあったため、上位圏外でもそれを狙いにいったドライバーがいたことも影響しているか？ オリベイラは14年に2度達成して通算回数トップに躍り出た。1回達成者は9人で、黒澤琢弥、P.デ・ラ・ロサ、影山正美、脇阪寿一、R.ファーマン、小暮卓史、松田次生、石浦宏明、関口雄飛。

年少初優勝

1	R.シューマッハー	20歳10カ月12日(96年第2戦)
2	松田次生	20歳11カ月3日(00年第3戦)
3	N.フォンタナ	21歳4カ月6日(96年第3戦)
4	P.ガスリー	21歳6カ月13日(17年第4戦)
5	平手晃平	22歳3カ月19日(08年第5戦第2レース)



チームルマン：ラルフ・シューマッハー

▲各自の初優勝のみを対象とした5傑。シューマッハーと松田は実に僅差だった。高木虎之介は95年の全日本F3000でトップフォーミュラ初優勝を果たしており、当時21歳と6カ月弱。実質的にはガスリー、平手より上位になる。なお、日数の端数の数え方は、月毎の誕生日を基点にした決勝日までの日数で、決勝日を含むものとした(冊子「History of Formula NIPPON 1996-2012」の作成時は、決勝日を含まない「完全経過日数」で記載したため、1日ずつの違いが生じる。その後、より一般的な記載法に準じて変更した)。

▼各自の最終優勝のみを対象とした5傑。左項の年少初優勝部門では昨季、ガスリーが歴代4位となる勝利を飾っているが、その一方、近年は高齢優勝も目立っており、昨季は石浦が36歳、ロッテラーが35歳での優勝をそれぞれ達成した。石浦は今年優勝すれば、本山を超えて歴代2位となる。星野の偉業には、最大限の敬意を払いたい(日数の端数については「年少初優勝」部門と同じ)。



インバル：星野一義

年長最終優勝

1	星野一義	48歳9カ月27日(96年第1戦)
2	本山 哲	36歳8カ月14日(07年第9戦)
3	石浦宏明	36歳2カ月16日(17年第3戦)
4	A.ロッテラー	35歳6カ月8日(17年第2戦第1レース)
5	J-P.デ・オリベイラ	35歳0カ月4日(16年第3戦)

チーム別優勝回数

1	インバル	60回
2	ナカジマ	42回
3	トムス	31回
4	チームルマン	16回
5	ダンディライアン	14回
6	ノバ	10回
7	セルモ・インギング	6回
8	スーパーアグリ~ARTA	5回
	無限	5回
10	5ZIGEN	4回
11	TEAM22	2回
12	インギング	1回
	KONDO	1回

▲「チーム」という定義付けは実に難しく、エントラント名と実質的なチーム母体が異なる場合をどうするか、などの問題がある。ARTAの一時期の勝利、およびTEAM22の全2勝は、チームルマンがメンテナンスを実行していた時期のものだが、それらはARTA、TEAM22の勝利としてカウントしている。03年の金石年弘(Forum eng. ARTA Team LeMans)の勝利はチームルマンとしてカウント。また、セルモとの合併以前のインギングの勝利は別扱いとした。セルモ・インギングとしては15年が初優勝。インバルは96年から毎年1勝以上を継続していたが、13年に途切れた(17年連続でストップ)。06年からの参戦でありながらすでに31勝を挙げて歴代3位となっているトムスの躍進は特筆もの(16年が唯一の年間0勝)。



インバルの星野一義監督(左)

チームタイトル獲得回数

1	インバル	7回(03、04、05、06、07、08、10年)
2	ナカジマ	4回(99、00、02、09年)
	トムス	4回(11、13、14、15年)
4	チームルマン	2回(96、98年)
	セルモ・インギング	2回(16、17年)
6	ノバ	1回(97年)
	5ZIGEN	1回(01年)
	ダンディライアン	1回(12年)

▲インバルは03~08年に6連覇を達成。22シーズン中、17シーズンがドライバー&チームの2冠達成というかたちになっている。

チーム別ドライバースチャンピオン輩出回数

1	インバル	7回(01、03、05、06、07、08、10年)
2	ナカジマ	4回(99、00、02、09年)
3	トムス	3回(11、12、14年)
	セルモ・インギング	3回(15、16、17年)
5	チームルマン	2回(96、98年)
6	ノバ	1回(97年)
	ダンディライアン	1回(04年)
	無限	1回(13年)

◀タイトルが“割れた”のは01年、04年、12年、13年、15年の5シーズン。ダンディライアンは現状各1回のタイトル獲得がそれぞれ別の年だった。

肖像権および知的所有権、著作物制作権について

SUPER FORMULA のエンタラントに帰属するすべての者（エンタラント代表、チーム監督、ドライバー、チームスタッフ、レースクイーンほか）はエンタラントの管理下に置かれ、SUPER FORMULA に参加することで発生する肖像権および知的所有権はすべてエンタラントに帰属します。但し、それらを用いて著作物を制作する、又は制作させる権利（著作物制作権）は全てその用途に関わらず全て株式会社日本レースプロモーション（JRP）に帰属します。詳しくは JRP までお問い合わせください。

SUPER FORMULA のロゴ使用について

SUPER FORMULA のロゴ使用に際しては、『SUPER FORMULA VISUAL IDENTITY Regulation (V.I. 規定)』を参照してください。SUPER FORMULA の各ロゴの使用権利はすべて JRP にあり、許可なくこれを使用することを禁止します。詳しくは JRP にお問い合わせください。

会社概要

会社名	株式会社日本レースプロモーション (JAPAN RACE PROMOTION INC.)
設立	1995年
資本金	6000万円
所在地	東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル
電話番号	03-3237-0131
FAX 番号	03-3237-0135
公式サイト	http://www.superformula.net/

主な事業内容：自動車競技会の運営に関する業務、自動車競技会のプロモーション、自動車競技会のスポンサー営業に関する業務、自動車競技会の PR に関する代理業務、自動車競技会／同映像のデータベース制作・管理・販売、モータースポーツに関連する調査、マーケティング業務、報道写真・ビデオ・フィルム等の制作、配信及び販売

沿革

1995年	株式会社日本レースプロモーション設立。
1996年	「全日本F3000選手権シリーズ」にかわり、「全日本選手権フォーミュラ・ニッポン」シリーズがスタート。フジテレビ地上波放送がスタート。(～2009年)
1997年	タイヤを株式会社ブリヂストンのワンメイクとする。J SPORTSでレースの生中継放送がスタート。
1998年	株式会社フジテレビジョンが資本参加。
2003年	ワンメイクシャシー“LOLA B351”を導入。
2006年	シャシーを“FN06 (LOLA B06/51)”に変更。 本田技研工業株式会社、トヨタ自動車株式会社がV型8気筒3ℓの専用エンジン供給を開始。 若手育成事業として「Formula Challenge Japan (FCJ)」の運営・プロモートを開始。(～2013年6月)
2009年	シャシーを“FN09 (SWIFT 017.n)”に変更。 エンジンをV型8気筒3.4ℓに変更すると同時に、オーバーテイクシステムを採用。
2010年	BSフジでレースダイジェスト番組の放送スタート。(2015年、「スーパーフォーミュラGo On!」に改名)
2011年	ファミリー層を対象としたプロモーションイベント「Enjoy Kids」を、9月に宮城県名取市、11月に栃木県宇都宮市で開催。 名取市でのイベントは東日本大震災の復興を願って開催。(2012年、「Smile Kids」に改名)
2013年	シリーズ名称を「全日本選手権スーパーフォーミュラ」に変更。(“スーパーフォーミュラ”の名称はファンからの公募)
2014年	ダラーラ社製シャシーを使用した新マシン“SF14”を導入。 パワーユニットをターボ過給・直列4気筒2ℓダイレクトインジェクションエンジンとする。 エンジンの開発・供給は本田技研工業株式会社とトヨタ自動車株式会社が担当。 日立オートモティブシステムズ株式会社、スカパーJSAT株式会社が新たにプロモーションパートナーとなる。
2016年	横浜ゴム株式会社がオフィシャルタイヤサプライヤーとなり、ヨコハマタイヤのワンメイクとなる。 選手権名称を「全日本スーパーフォーミュラ選手権」に改称。 スカパーJSAT株式会社に代わり、ソニー株式会社が新たなプロモーションパートナーとなる。 4月、フジテレビでドライバーがMCを務めるバラエティ番組「超速GO音」の放送がスタート。(～2016年10月)
2017年	4月、BSフジで日曜決勝レースの生中継放送がスタート。